

全学共通科目／全学共通カリキュラム言語B連続企画

世界を知ろう！

2021年度 講演会筆録

(ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語)

全学共通科目／全学共通カリキュラム言語B連続企画

世界を知ろう!

2021年度 講演会筆録

世界を知ろう！ 2021年度 講演会筆録

目次

◎ドイツ語講演会

2021年連邦議会選挙から考えるドイツの現在 4

日時：2021年12月20日（月）17時10分～18時50分

講師：川喜田 敦子氏

（東京大学大学院総合文化研究科准教授、東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター長）

司会：坂本 真一

◎フランス語講演会

日本語とフランス語から広がる世界 24

日時：2021年10月18日（月）17時15分～18時30分

講師：熊本 カロリーヌ氏（フランス政府留学局・日本支局広報担当）

司会：関 未玲

◎スペイン語講演会

スペイン語から広がった世界 36 ～バスクを知ろう

日時：2021年10月25日（月）18時00分～19時30分

講師：土肥野 秀尚氏（立教大学兼任講師）

司会：松本 旬子

◎中国語講演会

華流エンタメは面白いⅡ 54

日時：2021年11月13日（土）14時00分～15時30分

発表者：大和 真子さん（観光学部交流文化学科2年次）

工藤 夕和さん（現代心理学部心理学科2年次）

中根 瑠南さん（観光学部観光学科1年次）

司会・発表：森平 崇文

◎朝鮮語講演会

韓国留学中の先輩と語る会 68

日時：2021年12月22日（水）17時30分～19時00分

発表者：細川 杏那さん（経営学部経営学科4年次）

岩下 皐月さん（異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科2年次）

可知 愛さん（経済学部経済政策学科4年次）

司会：石坂 浩一

企画：佐々木 正徳

世界を知ろう！～ドイツ語講演会～

2021年連邦議会選挙から考える ドイツの現在

日時：2021年12月20日（月）17時10分～18時50分
開催方法：Zoomによるオンラインと対面のミックス開催

講師：**川喜田 敦子** 氏（東京大学大学院総合文化研究科准教授、東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター長）
東京大学大学院総合文化研究科（地域文化研究専攻）博士課程修了
博士（学術）

専門：ドイツ現代史、ドイツ地域研究

主要著書：『東欧からのドイツ人の追放 二〇世紀の住民移動の歴史のなかで』（白水社 2019）、
『ドイツの歴史教育』（白水社 2005、新装復刊版 2019）、
I・カーショー『ヒトラー（上）1889—1936 傲慢』（翻訳、白水社 2015）

司会：坂本 真一（ドイツ語教育研究室主任／外国語教育研究センター准教授）

川喜田 皆さん、こんにちは。東京大学の川喜田です。今日は、立教大学でドイツ語を勉強している学生さんのための講演会だと聞いています。せっかくドイツ語を勉強しているならば、今のドイツの風を感じてみようということで、最近のドイツの話題を持ってきました。国政選挙の話題です。今年ドイツは、4年に1度の国政選挙の年でした。9月に選挙があり、その後、2カ月間の連立交渉を経て、12月8日に新政権が成立したばかりだということは、皆さんも報道などでご存知かもしれません。

ドイツは、連邦議会選挙の時に、全世界からドイツ関係の専門家を選挙視察に招くのが慣例になっています。今回の連邦議会選挙では、私は、その視察研修に参加する機会を得ました。私の本当の専門はドイツの歴史であって政治ではないのですが、今日は、その視察の経験に基づいてお話をしたいと考えています。

今日の話の構成ですが、今回の選挙に関する分析をする前に、基礎知識として知っておきたいのは、ドイツの政治制度はどうなっているのかということです。具体的には、ドイツの議会制度、選挙制度、政党の特徴について、大事なことだけかいつまんでご説明します。それが一つ目の課題です。そのうえで、二つ目の課題としては、今回の連邦議会選挙の分析をしていきたいと思えます。有権者の支持率がどう推移したか、選挙結果がどうなったか、有権者の関心はどこにあったのか、などを考えていきましょう。そして三つ目の課題は、連邦議会選挙から見えてくる「ドイツの今」はどういうもので、



川喜田 敦子氏

それを知ることが、日本で暮らす私たちにどういうインプリケーションを持ちうるのか、ということです。

今日はこの三つの課題を皆さんと一緒に考えていきたいと思います¹。

基礎知識① ドイツの議会制度

川喜田 まずは最初の課題からです。選挙分析に入る前に、ドイツの政治制度がどうなっているのかについて基礎知識を得ておこう、という部分です。

議会制度の話から始めましょう。ドイツの国会は二院制です。上院、すなわち日本でいえば参議院にあたるのが「連邦参議院」です。下院、すなわち日本でいえば衆議院にあたるのが「連邦議会」です。順にひとつずつ見ていきましょう。

《連邦参議院》

まずは上院です。皆さんはドイツ語を履修しているということですので、ドイツ語を交えていきましょう。上院は Bundesrat (連邦参議院)、所在地は首都ベルリンです。

ドイツは連邦制の国です。全部で 16 州からなります。Bundesrat は、その 16 州の代表によって構成されます。つまり、Bundesrat は、国民によって直接選ばれるわけではなく、州の首相や大臣など各州政府の構成員が代表として出席するということです。

《連邦議会》

これに対して、国民による選挙が行われるのは、下院にあたる Bundestag (連邦議会) です (写真 1 参照)。Bundestag も所在地はベルリンです。

Bundestag の建物は、戦前から国会として使われていました。ナチ時代の「国会炎上事件」はご存知ですよね？ ヒトラーが政権をとってから約 1 カ月後、1933 年 2 月 27 日に国会が炎上しました。それを機に、共産党の国会議員が議席を剥奪され、「全権委任法」という三権分立をゆるがす異様な法律が制定され、ドイツは独裁体制の成立に向かっていくことになりました。あの時に燃えた国会の建物がこれです。

戦後、ドイツは東西に分断されますよね？ 西ドイツの時代には、Bundestag は西ドイツの首都であった



写真 1 連邦議会 出典：Wikimedia Commons

1 本講演は、ドイツ学術交流会の主催する連邦議会選挙視察研修 (DAAD-Wahlbeobachterreise 2021) の枠内で行われた講演、パネル等を通じて得た情報に基づいて構想したものです。講演時に示した図表等については記録には掲載しておりませんが、脚注の情報からご確認いただければ幸いです。



写真 2 連邦議会のガラスのドーム
出典：Wikimedia Commons



写真 3 連邦議会の議場
出典：Wikimedia Commons

ボンに置かれていましたが、東西ドイツの統一後、首都がベルリンに戻ったことで、かつての国会の建物が再び Bundestag の建物として使われるようになって今にいたります。

中央に見えているガラスのドームは、東西ドイツ統一後に Bundestag が入ることになった時に、政治の「透明性」の象徴として新たに取り付けられたものです。結構大きくて、中から見ると、写真 2 のような感じです。一般の人も入れるようになっていて、ベルリンの観光名所のひとつです。

ちなみに、Bundestag の議場の様子もお見せしておきましょう（写真 3 参照）。Bundestag の議席の定数は 598、任期は 4 年です。この Bundestag の 4 年に 1 度の選挙が、今年の秋に行われたわけです。

基礎知識② ドイツの選挙制度

川喜田 続いて、ドイツの選挙制度を見ていきましょう。

《選挙制度》

選挙権を持つのは、投票日に成年（18 歳）に達しているドイツ国籍者です。このあたりは日本と同じです。

連邦議会選挙は、小選挙区制と比例代表制の合わせ技です。定数 1 名の小選挙区が 299 あります。連邦議会の議席の定数が 598 ですから、その半数ということです。

写真 4 は投票用紙です。ずいぶん大きい、というか長いですね。日本も衆議院議員選挙がありましたので皆さんもご存知かと思いますが、日本の投票用紙はとても小さいですね。比べると全然違いま



写真 4 投票用紙
（著者撮影）

す。連邦議会の投票用紙の模式図（省略）を見てみましょう。「Sie haben zwei Stimmen.（あなたは2票持っています）」と書かれており、黒いリストと青いリストのそれぞれについて、一つずつ×を付けるように、という指示があります。

左側に黒字で書かれているのが「第1票」です。これは、小選挙区の候補者のリストです。投票したい人に×を付けます。右側の青字で書かれているのが「第2票」です。こちらは比例代表制です。政党の名前がリストになっていて、入れたい政党に×を付けます。

議席配分の決め方としては、第2票が連邦全域で集計され、その得票率にしたがって、各政党に議席が比例配分されます。すなわち、各党の議席数は比例代表制で決まるということです。

ただし、その議席に具体的に誰が座るかという点では、優先されるのは小選挙区の当選者です。小選挙区は定数の半数ですので、残りの半数は、各政党が州ごとにあらかじめ準備していた候補者名簿の上位から当選となります。

《投票風景》

ドイツの投票風景も写真で見えておきましょう²。ベルリンに行って驚いたのは、日本の感覚からすると、とても小さな投票所があちこちにたくさん設けられていることです。私が見学した投票所も、投票用紙に書き込む場所が2人分しか設けられていませんでした。仕切りの裏で、先ほどお見せした投票用紙に書き込んだら、投票箱に投函します。

基礎知識③ ドイツの政党

川喜田 選挙分析に入る前に、皆さんには、もうひとつだけ覚えていただかないと残っています。それが、基礎知識の三つ目、ドイツの政党の種類と特徴です。

ドイツの政党の得票率の推移を示したグラフを見てみましょう³。西ドイツが成立した1949年の最初の連邦議会選挙から、東西ドイツが統一した1990年代を経て、前回2017年までの期間の得票率の推移です。

ドイツの政党にはイメージカラーがあって、この折れ線グラフもイメージカラーで描かれています。ですので、色で覚えると分かりやすいのではないかと思います。今日の私の話でも、政党は色で呼んでいきたいと思います。今日の話のためには、皆さんには、ここで政党を覚えていただかないとなりません。このグラフを写メしたり、情報を手元にメモしておいていただくとよいかもしれません。覚えていただきたい政党は5つです。

グラフからは、黒と赤の2党が、圧倒的に得票率が高いことが分かります。いずれも、西ドイツができたときからある政党です。黒が保守のCDU（キリスト教民主同盟）。皆さんもご存知の政治家の名前でいうならば、アンゲラ・メルケルの政党です。赤は革新のSPD（社会民主党）です。非

2 Wahlgang in Berlin. Foto: Wolfgang Kumm/DPA. <https://www.tagesspiegel.de/berlin/wahlen-in-berlin-so-klappt-dann-auch-im-wahllokal/14561106.html> (最終閲覧日 2021.12.23)

3 Bundestagswahlen seit 1949. <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html> (最終閲覧日 2021.12.23)

常に大雑把なイメージで話をすると、日本でいうならば、黒 CDU は保守で自民党、赤 SPD は革新で立憲民主党の位置にある政党だということになります。

そのほかに小政党がたくさんありますが、今日の話に出てくるのは3つです。日本での知名度が一番高いのは緑、すなわち緑の党でしょうか。80年代に市民運動からできた比較的新しい政党です。環境・人権・女性の同権・反核平和などをテーマとしています。

黄色は FDP という自由主義政党です。訳すと「自由民主党」で、日本の自民党と名前が一緒です。経済政策では黒 CDU に近いのですが、価値観としてはリベラルです。すなわち、人権やダイバーシティなどの問題、例えば同性愛に対する姿勢などについてはリベラルで、赤 SPD と連立を組んだこともあります。つまり、名前は自民党と一緒にですが、価値観の面では、自民党よりもリベラルだといえるでしょう。

もうひとつ、できたばかりの新しい党で、急速に伸びているのが水色の AfD です。日本では、「ドイツのための選択肢」と訳されている右派・極右政党です。2013年に結成され、前回2017年の連邦議会選挙では第3党に躍進して、ドイツ国内外で懸念されています。

この5つの政党とそのおおまかな性格が分かっていると今日の話も楽しめるでしょう。おおよその見取り図としては、黒 CDU と黄色 FDP が右に位置します。保守的な政党だということです。赤 SPD と緑の党は左です。革新的な政党だということです。水色は保守である黒 CDU よりもさらに右に位置する極右政党です。ドイツにはナチの歴史がありますので、極右的な主張に対しては極めて厳しい態度で臨むことになっており、既存の政党は、黒 CDU も含めて、水色 AfD とは絶対に連携しないという立場をとっています。

ドイツ連邦議会選挙 2021

川喜田 ドイツの議会制度、選挙制度、政党とその特徴が分かったところで、今回の連邦議会選挙の分析に入っていきます。まずは有権者の支持から見ていきたいと思います。

《連邦議会選挙 2021 における有権者の支持》

今回の選挙のポイントの一つ目は、メルケルへの支持です。図は、2005年にはじまる第1次メルケル政権から、2017年にはじまる第4次メルケル政権までの4期について、メルケルの支持率を折れ線グラフで示したものです⁴。支持率は平均するとおおよそ60%を上回っているようですが、それなりに上下した時期もありました。2010年頃にユーロ危機で低迷した時期がありました。また、2015年にはじまるヨーロッパのいわゆる「難民危機」で支持率が落ち込んだあとに、支持率の低迷が続いて引退時期の明言に追い込まれたわけですが、2020年以降、コロナ対応で最後は支持率がまた回復しました。

つまり、今回の選挙では、現職のメルケルは引退することが決まっていました。ただ、16年にわたっ

4 Politikerzufriedenheit: Angela Merkel. Zeitverlauf, in: ARD-DeutschlandTREND. April 2021. Eine repräsentative Studie im Auftrag der tagesthemen. <https://www.tagesschau.de/inland/deutschlandtrend-2579.pdf> (最終閲覧日 2021.12.23)

て高い支持率を誇り、ドイツの安定を支えたメルケルは、選挙前の段階で、まだ圧倒的に支持されていました。その中で、メルケルのあとを誰に任せるかを決めなければならない。今回はそういう選挙でした。

二つ目のポイントとして、では、メルケルのあとを継ぐ者として、誰が名乗りを上げたのかということですが、ドイツの場合、各政党が、「首相候補」を立てて選挙戦を戦います。すなわち、自分たちが勝ったらこの人を首相にする、と宣言して選挙戦に臨むわけです。

今回、首相になる可能性があると思われていたのは3人でした。図では、黒・赤・緑の3本の折れ線グラフで支持率が示されています⁵。政党のイメージカラーが使われているので見やすいのではないと思いますが、黒が保守のCDU、赤が革新のSPD、緑が緑の党です。支持率の動向を見ていただければお分かりになると思いますが、支持がぐるぐる入れ替わっています。波乱の選挙戦だったということです。

このグラフは2021年5月頃から始まっていますが、最初にぱっと人気が出たのは、「緑の党」の首相候補アンナレーナ・ベアボックでした。女性の候補者です。緑の党が小政党だということを考えると、30%近い支持率を得たというのは相当なことです。ただ、ベアボックは、経歴詐称疑惑が出て減速しました。

次に支持率でトップに立ったのは、黒すなわち保守CDUのアルミン・ラシェットでした。ただ、ドイツ西部で今年の7月に大洪水があって死者もたくさん出たのは覚えていますか？ ラシェットは洪水で大きな被害を出したノルトライン・ヴェストファーレン州の現職の州首相でした。ラシェットはこの洪水の対応で評判を落として人気低迷していきました。

ラシェットに代わって、選挙日が近づくにつれて、8月頃から最終的に支持率を伸ばしていったのは赤すなわち革新SPDのオーラフ・シオルツでした。失点のないシオルツが圧倒的に優位な状況で投票日を迎えたということです。

《選挙結果をどう見るか》

それでは、三つ目のポイント、結局、結果はどうなったのかを見ていきましょう⁶。まずは二大政党から見ていくと、ご覧のとおり、激戦でした。黒CDUが24.1%、赤SPDが25.7%です。二大政党が順当に票を集め、わずかに赤SPDが勝った、と見えます。

ただ、前回2017年の連邦議会選挙からの得票率の変化を見ると、赤SPDの勝利がもう少し明確に見えてきます。前回と比較したときの得票率の増減を示したグラフを見てみましょう⁷。黒CDUはマイナス8.8%、赤SPDはプラス5.3%とあります。つまり、この2党は最終的には僅差ですが、勢いが全然違ったということです。

もうひとつ見ておきたいのは、小政党の動向です。まずは順位で見ますと、緑の党が得票率

5 Präferenz der Befragten für die Kanzlerkandidaten, in Prozent, Schnitt der letzten 5 Umfragen, in: Joachim Bischoff/Björn Radke, Trumpfkarten im Wahlkampf – Richtungswahl? https://www.sozialismus.de/kommentare_analysen/detail/artikel/trumpfkarten-im-wahlkampf-richtungswahl/ (最終閲覧日 2021.12.23)

6 Vorl. Amtl. Ergebnis. <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html> (最終閲覧日 2021.12.23)

7 Gewinne und Verluste. <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html> (最終閲覧日 2021.12.23)

14.8%で第3党になりました。前回と比べてプラス5.7%は、一番の伸び幅です。ただ、一時期は、ベアボックを首相候補として擁して支持率30%に迫る勢いを見せていたことを考えれば、最終的に14.8%は、緑の党にとっては、正直少し期待外れだった模様です。

さらにもうひとつ見るべきは、前回2017年には第3党だった極右の水色AfDが、今回の選挙では得票を2.2%減らし、順位も第5党まで後退したことです。これはAfDとしては大きな敗北で、ドイツとしてはほっとしたところだと思います。

そうはいいながらも、今回、大きな衝撃を与えたのはこの地図です⁸。これは、小選挙区（投票用紙の左側）でどの政党が勝ったかを色分けして示した地図です。定員1名の小選挙区で勝つのは、普通に考えれば、二大政党のどちらかのはずですね？つまり、黒か赤のどちらかになるはずですが、ところが、真っ青な地域があります。これは、極右政党AfDが小選挙区で勝った地域です。なぜ、極右のAfDがやたらに強い地域があるのでしょうか？この地域はどのような特色を持った地域なのでしょう？それを考えてみましょう。

冷戦下、1990年に統一されるまで、ドイツが東西に分断されていたことはご存知ですね？次の地図が示しているのは、今なお残る東西の給与格差です⁹。旧東ドイツと旧西ドイツでは、平均して年間7,440ユーロ（調整後3,600ユーロ）の給与差があるというデータが示されています。さらに次の地図は、2011年の段階での失業率を示したものです¹⁰。ここから分かるのは、ドイツの経済は南が強いこと、そして、旧東西ドイツを比べると、旧東ドイツ地域の失業率が顕著に高いことです。

この情報を、小選挙区の結果の地図とあわせると、極右の水色AfDが強い支持を集める地域は、旧東ドイツ地域、すなわち経済状況が悪い地域の一部だということになります。東西ドイツの統一後、極右勢力は、そういう地域を狙って、勢力拡大に力を入れました。今回の連邦議会選挙で、AfDにとっては不本意な結果に終わったとはいいいながら、AfDは得票率10%を確保し、二大政党を押しよけて、小選挙区でこれだけの議席を獲得しました。極右勢力の定着という無視できない懸念があることが分かる地図です。

《ドイツの有権者は何に関心を持っているのか》

各党の得票率についてはいったんここまでとして、今回の選挙で、ドイツの有権者が何に関心を持っていたのかを見ていきましょう。

これは、選挙に向けた有権者の関心の移り変わりを示した図です¹¹。2018年に最も高い関心を集めていたのは、ピンクの線で示された「移民・難民」でした。2015年にはじまるヨーロッパのいわゆる「難民危機」の影響が尾を引いていたことが分かります。

8 Gewinner-Partei nach Wahlkreis nach Erststimmen-Anteil pro Wahlkreis. <https://www.dw.com/de/die-bundestagswahl-in-zahlen-ein-geteiltes-land/a-59338459> (最終閲覧日 2021.12.23)

9 Ost-West-Lohnlücke: 3.600 Euro weniger, trotz vergleichbarer Arbeit. <https://www.presseportal.de/pm/128884/4719736> (最終閲覧日 2021.12.23)

10 Arbeitslosenquote sinkt auf 3,9 Prozent. <https://www.baden-wuerttemberg.de/de/service/presse/pressemitteilung/pid/arbeitslosenquote-sinkt-auf-39-prozent/> (最終閲覧日 2021.12.23)

11 Antworten der Umfrageteilnehmer auf die Frage nach dem derzeit wichtigsten Problem in Deutschland. https://www.sozialismus.de/nc/vorherige_hefte_archiv/kommentare_analysen/detail/artikel/finish-im-wahlkampf-die-spd-holt-auf/ (最終閲覧日 2021.12.23)

それと入れ替わるように、2020年春に圧倒的な関心を集めはじめたのが、オレンジの線で示された「コロナ対応」です。ドイツで初めてロックダウンが行われた時期に急激に関心が伸びました。その後、一貫して高い関心を集め続けていましたが、2021年の途中から、ワクチン接種の広がりなどもあって関心が落ち着いていきました。

よく見てみると、最後の最後、選挙の直前に、コロナに対する関心を緑の線で示された「環境問題」への関心が上回ったことが分かります。環境への関心は、今回の連邦議会選挙のひとつの鍵でした。ドイツは「環境大国」といわれますが、特にここ3～4年を振り返ってみると、Fridays For Futureの世界的な大規模ストライキがあった2019年3月頃から環境意識が明確に高まって、その後、新型コロナウイルス感染症の拡大とともにいったんは落ち込みを見せませんが、コロナへの関心が低下してくると、逆に環境への関心が盛り返して、最終的には最大の関心事となって投票日を迎えたことが分かります。

このあたりがドイツの有権者の関心事であるとして、ではどの領域で、どの党が、どのくらい期待されているのでしょうか。それを示したのがこの図です¹²。黒・赤・緑の棒グラフが見えますが、これはそれぞれ、黒（保守 CDU）・赤（革新 SPD）・緑（緑の党）への期待の高さを示しています。

ひとつずつ見ていくと、「Klimaschutz（気候保護）」すなわち温暖化防止対策などの領域では、一番期待できそうなのは緑の党だと判断している人が多いことが分かります。

「Corona（コロナ対策）」については、保守の黒 CDU に期待した人が多いですね。2021年までの第4次メルケル政権は、保守の黒 CDU と革新の赤 SPD の大連立政権でした。政府のコロナ対策がそれなりに成功したとみなされていたので、政権与党に対する信頼が表れていて、与党の中心である黒 CDU、ジュニアパートナーである赤 SPD が順当に評価されています。

「Soziale Gerechtigkeit（社会的公正）」という領域もあります。社会的公正とは、平等だ、公正だと思える社会をどう作るかということです。社会保障、生活水準の確保、教育や労働における機会の平等などを含む領域と考えておけばよいでしょう。赤 SPD（社会民主党）は労働者の生活を守るための党として作られたという歴史的経緯から、「社会的公正」といえば、赤 SPD が連想されます。それがグラフにも表れています。この社会的公正という領域は、世論調査をするとそれほど目立った関心領域としては立ち現れてこないのですが、2017年の別の調査では、ドイツ国民の92%が「社会的に公正である」という価値を「重要」と判断しており、タウンミーティングなどをしたときに具体的に質問が出てくるのも、実は、社会的公正にかかわる問題だと聞いています。

改めて復習ですが、今回の選挙では赤 SPD が勝ちました。メルケルの下で、このところ保守の黒 CDU が優勢でしたが、赤 SPD は社会的公正の実現という点で信頼されており、政権与党ということでコロナ対策についても一定の信頼を寄せられて得票を伸ばし、第1党となりました。また、環境問題に対する関心の高さに支えられて票を伸ばした緑の党が、小政党の中ではトップの得票で第3党となりました。

赤と緑は仲がよいのですが、赤 SPD の 25.7%と、緑の党の 14.8%を足しても過半数には届きま

12 Parteikompetenzen im Bereich... <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html>
(最終閲覧日 2021.12.23)

せん。安定した政権をつくるためには、連邦議会の議席の過半数を押さえている必要がありますので、もうひとつ黄色 FDP を足して、赤・緑・黄色の3党の連立政権が成立することになりました。

新政権の首相は赤 SPD の首相候補だったショルツです。外務大臣が緑の党の首相候補だったベアボックです。自由主義政党の黄色 FDP にとって最も大事なポストは財務大臣です。財務大臣ポストは、黄色 FDP の党首であるクリスティアン・リントナーがとりました。緑の党にとって最も大事な気候保護は、「気候保護と経済」担当大臣というかたちで、緑の党から大臣が出ました。

連邦議会選挙から見たドイツ

川喜田 それでは、以下、今回の連邦議会選挙から見たドイツの姿を3つの観点からご紹介して、そこから日本へのインプリケーションもあわせて考えていくことにしましょう。



写真5 無料コロナ検査所 (著者撮影)

《ドイツのコロナ対策はどうなっているのか》

一つ目のポイントは、「ドイツのコロナ対策はどうなっているのか」という点です。ドイツでは、2020年3月22日にはじまった第1回以降、何度かロックダウンが行われましたが、連邦議会選挙が行われた2021年9月は、ワクチン接種が進み、感染が少し収まっていた時期でした。自由な街歩きをする時間はほとんどありませんでしたので、写真5は移動中にバスの中から撮ったものですが、

「Testzentrum (コロナ検査所)」を見かけました。「Kostenloser Corona-Schnelltest」と書かれた看板の写真(省略)もあわせてお見せしていますが、検査所でのコロナ検査は無料で、「Schnelltest」と呼ばれ、すぐに結果の出る抗原検査が行われていました。徹底的な検査がドイツの戦略だったということです。

そのうえで、コロナ禍のドイツで人間の行動をどう管理しているかといえば、条件を満たした人間に国内外の移動や、飲食店の利用などを許可しています。条件とは何かといえば、例えば、「3G」という原則があります。これは、「geimpft, genesen oder getestet」のことです。つまり、2回のワクチンを終えているか (geimpft)、罹患して回復したか (genesen)、そうでない場合、検査して陰性証明が必要 (getestet) だということです。

ドイツは連邦制ですので、こうした規制は州によって異なります。9月の渡航段階では3G (ワクチン証明書、罹患証明、陰性証明書) が原則でしたが、今は「geimpft oder genesen」を要求し、3Gよりも厳格な2Gを適用する州が増えたようです。

ちなみに、ワクチン接種を終えると、薬局でワクチン証明を出してもらえますが、そこに記載されているQRコードを指定のアプリに読み込むと、電子証明になって、必要なときに見せることができます。お見せしている例(省略)は、Corona-Warn-Appという連邦政府が奨励しているアプリの

ひとつです。

このように、ドイツの初期の戦略は、折に触れてロックダウンを行いながら、徹底的な検査をすることでした。その後、ワクチン接種と電子証明がいきわたると、3G、2Gの原則を導入しました。そうした全体的な枠組みが機能している分だけ、個々人に対する行動規制そのものは緩い印象があります。2021年9月にベルリンに行ったときには、飲食店も営業していましたし、建物の中と乗物（公共交通機関）の中ではマスクが必須ですが、路上ではマスクをしなくてもよいことになっていました。

ドイツでは、マスクをしなくてはならないという規制を含めて、個人に対する行動規制を「自由の侵害」ととらえて、嫌がる人が多いように思います。ベルリンから南に150kmほど行ったところにあるハレ市で、小選挙区の候補者と話をしたときに、「自由」を重んじる自由主義政党である黄色FDPの候補者が、自分たちが頑張ったから、ハレ市内ではマスクをせずに町を歩いてよいことになった、と誇らしげに言っていました。私はコメントはしませんでした。感覚の違いが大きいとつくづく思いました。

ドイツは、検査の広がりにしても、ワクチン接種がいきわたる速さにしても、電子証明についても、コロナ対策が制度化されて徹底してとられている点については、日本の比ではありません。他方で、「個人の自由を重んじる」ことを重視する中で、実際、人は動きますし、感染者も出ます。今年の11月には、きわめて大規模な感染の波が来て、今どうにか峠を越えたところです。

日本は、徹底的な検査も実現できず、接種のタイミングも遅れました。ワクチン接種を行き届かせるだけでもずいぶん混乱しましたし、ワクチン証明の電子化は今日からやっと始まるようですね。逆に、日本の特徴としては、特に外国籍者に対して厳しい入国規制をしいていることです。今は、その分だけオミクロン株の影響が小さく、感染状況が沈静化した状況を保っています。

ただ、日本のこの政策には、実は問題が潜んでいるように思われます。大学関係者のあいだで憂慮されているのは、留学生の受け入れが厳しく抑制されていることです。日本から海外へ留学生は送っています。しかし、海外から日本への留学生はほとんど受け入れていません。本来、留学生の送り出しと受け入れは双方向的なものであるべきなので、これ自体が問題ですが、より大きな問題は、韓国や台湾は留学生を受け入れているために、日本に来ることを希望していた海外からの留学生が、目的地を韓国や台湾に切り替える動きが出ていることです。各国が留学生を受け入れるメリットは、将来的に、自国をよく知り、自国に好意的な知識層（エリート）を国外に作り出すことです。日本から別の国に留学生が流れるということは、潜在的に将来、知日家になったであろう層が失われていくということです。コロナの影響が出始めて、次の春で2年になります。留学生の大幅な受け入れ抑制をこれ以上続けると、すべての国で、知日家がいらない空白の世代が生まれます。将来、皆さんが社会の中核になっていく時代に、皆さんと同世代にはどこの国にも知日家がいらないとして、日本はそれで困らないのか、という疑問が出てくるわけです。

コロナ対策は、国ごとに考え方が出ます。現に、日本とドイツを比べてみると、全然違うことが分かりますし、全然違う効果と悪影響をそれぞれの国で生んでいます。一概に、どういうやり方が「良い・悪い」ではありません。大事なものは、考えられる対策のそれぞれにどういうメリット・デメリットがあるかをしっかりと理解したうえで「選ぶ」ことです。選ぶにあたって、留学生の受け入れの例で申し上げたかったのは、今日の決断の影響は、明日出るだけではなく、何年も先に、皆さんの世代に

とって重大な問題として跳ね返ってくる可能性があるということです。入国規制を厳しくすれば、今日明日の感染者数は抑制できます。でも、将来的にそれが例えば知日家の減少というカタチで、日本にとって外交的にも企業が国際展開するうえでも厳しい環境を生むとして、それと向き合うのは皆さんの世代です。今日の決断が引き起こす結果は時差を持っていろいろな表れ方をするという事です。私たちは有権者です。日本のコロナ対策を、総合的に見てどこに落ち着かせるのがよいかを考えていかないとなりません。

《環境問題への高い関心》

二つ目のポイントとして、今回の連邦議会選挙で、有権者が最も明確に関心を示したのは環境問題すなわち気候変動への対策だった、という点を取りあげてみたいと思います。

ドイツの有権者の関心の推移はすでに見ました。では、実際、最終的に投票したときに何を重視したか、という調査の結果もあわせて見ておきましょう¹³。グラフでは、環境、コロナ、年金、難民、社会的公正、教育の各領域が示されていますが、有権者のほぼ半数が、気候変動に対する対策をどうするかという問題を念頭に置いて投票したといっています。驚くような数値です。

環境といえば緑の党、というドイツでの位置付けについてはすでに確認しましたね？ 最終的には少し減速しましたが、緑の党はすべての政党の中で、前回 2017 年の連邦議会選挙と比べて、得票率の伸びが最も大きかった政党です。緑の党の躍進を支えたのは何かといえば、Fridays For Future の動きに見られるような、環境と「Nachhaltigkeit (サステナビリティ)」に対する世界的な関心の高まりです。その影響が、ドイツでも見られたということです。

写真 6 は、バスで移動中に撮ったものですが、窓の外の電光掲示板に表示が出ています。「Demo im Zentrum ab 12 Uhr (12 時から町の中心部でデモがある)」ので、通りがいくつか閉鎖になりますよ、という警告です。連邦議会選挙の投票日は、9月の最終日曜日でしたが、この写真を撮った

日は、その直前の金曜日でした。金曜日、すなわち、Fridays For Future のデモの日です。この日は、ドイツの大都市では全国的にデモが行われていて、ベルリンのデモには、グレタ・トゥーンベリが来ていたそうです。

グレタ・トゥーンベリは 2003 年生まれの 18 歳です。皆さんと同じ世代が、環境に大きな関心を持って、デモや集会をして、大規模に動いています。ドイツの若い世代の環境意識の高さには圧倒されるものがあります。彼らが問題にしているのも、先ほどと同じ話で、今日の決断の長期的な影響は、若い世代にこそ及んで



写真 6 デモの実施を知らせる電光掲示板 (著者撮影)

13 Die wichtigsten Probleme. <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html>
(最終閲覧日 2021.12.23)

くるのであって、それでは困ると思うのであれば、誰よりも動くべきは若い世代だという議論です。人間は地球の資源を無計画に使ってきました。それでは地球環境にダメージを与えるということが明らかになってからも、結局において私たちは、今日の生活の豊かさのために、必要な変化を起こせずにいます。どこの国の政治家も、現在の生活水準を落とす決定をすれば、短期的に有権者の支持を失うことが分かっていますから、将来的に悪影響があることを誰もが分かっているけれども十分な動きがとれずにいます。現在の快適さ、現在の権力の維持のために後の世代に問題を送っていくという構造を、若い世代が問題にし始めているのが今の世界です。若者が政治参加、ドイツ語でいうならば「Partizipation」を始めているのです。

もちろん、世界中でデモや集会に参加している高校生や大学生の誰もが、そんなに高い政治的意識や感覚を持っているわけではありません。Fridays For Futureの始まりは、金曜日は学校をサボってデモに行こうよ、という話だったわけですから、皆で街に繰り出してわいわい騒ぐという話でもあります。実際に写真を見ると結構楽しそうにやっている様子が見えませんか¹⁴？今、「Partizipation（政治参加）」という言葉を出しましたが、それをもじって、「Partie-Zipation」という言葉もいわれるようになっていのだそうです。ドイツ語の「Partie」というのは、英語でいうならば「Party」のことです。皆で集まってパーティーをするようにデモや集会に遊びに行こうよ、という感覚です。

お堅い政治意識であるか、遊び感覚でのデモ参加であるのかはともかくとして、ドイツで環境への関心を支えているのは若い層です。グラフは、各党の支持者に占める年代ごとの割合を示したものです¹⁵。緑の党は、30歳以下の世代が最大の支持層になっていることが分かります。二大政党の黒CDUや赤SPDとは対照的な構造であることが分かりますか？黒と赤はほとんど見分けがつかないほどに似ていますが、高年齢層ほど支持が高くなっています。緑の党は真逆ですね？緑の党の首相候補のベアボックが若くて女性なのも特徴的です（写真7参照）。緑の党は、もともと、1980年代に若者の市民運動からできてきた政党です。緑の党を初期に支えた世代はすでに現役を引退していますが、今でも、若い世代の感覚を一番とらえられているのが緑の党ということになります。

ちょっと真面目な話をしましょう。民主主義においては国民が主権をもちます。私は歴史学が専門



写真7 緑の党の首相候補ベアボックの選挙看板（著者撮影）

14 Fridays for Future demonstriert zum letzten Mal vor dem globalen Klimastreik. Foto: Kay Nietfeld. <https://taz.de/Fridays-for-Future-in-Berlin/!5625893/>（最終閲覧日 2021.12.23）； Ein sechsjähriger Demonstrant in Berlin. <https://taz.de/Kommentar-Schulstreiks-und-die-Politik/!5578317/>（最終閲覧日 2021.12.23）

15 Wer wählte die Grünen; Wer wählte die CDU/CSU; Wer wählte die SPD. <https://www.zdf.de/nachrichten/thema/bundestagswahl-120.html>（最終閲覧日 2021.12.23）

ですので歴史の話をするならば、民主主義においては国民が主権を持つということ、私たちは、歴史の授業であるならば、フランス革命を通じて学びます。フランス革命というのは、政治的な決定に参加する権利をもたなかった市民が政治に参加する権利をもぎ取っていく動きです。リンカンのゲティスバーグ演説「government of the people, by the people, for the people（人民の人民による人民のための政治）」のメッセージも同じです。フランス革命やリンカンの演説をなぜ、遠い日本で今の私たちが学ぶのかといえば、「市民が政治に参加する」ことが、今日の民主主義の政治体制を成立させる根幹の原理だからです。

日本では「政治参加」というのは、何か特別な行動であったり、それどころか何か危ないものであったりするように受け止められている節があるように思います。これに関しては、私は逆だと思っています。市民が政治に参加しようとしなくて、それこそが危ない行為だと私は思います。なぜならば、国民が政治に参加することなくして、民主主義は維持されえないからです。Fridays For Future は、日本では大きな動きにはなっていません。Fridays For Future に加わらなくてはならないということではありません。でも、もし、日本における Fridays For Future への関心の低さが、日本の市民の — 特に若者の — 政治への関心の低さ、政治にかかわることに対する心理的な距離感と拒否感を反映しているのだとするならば、それは、日本の民主主義の将来にとってあまり喜ぶべき事態ではないといえるでしょう。

《進む社会のダイバーシティ》



写真8 カランバ・ディアビ氏
出典：Wikimedia Commons

最後に、三つ目のポイントについてお話ししたいと思います。それは、ドイツの社会におけるダイバーシティ（多様性）の実現です。

今回の選挙で印象的だったのは、ドイツの政治の世界で、「ダイバーシティ」が目に見える形で実現してきているのを実感したことでした。例えば移民、女性など、マイノリティになりうる要素を持っている候補者が多かったということです。

そのひとりが、カランバ・ディアビ氏（写真8参照）です。ディアビ氏は、ハレ選挙区の赤 SPD の候補者です。ハレ市は、旧東ドイツ地域です。ハレ市の位置するザクセン・アンハルト州は、水色 AfD が猛威を振るう、あの真っ青だった地域の一部を含みます。かつて、東ドイツは、西ドイツとは全く違う外交関係を持って、第三世界の発展途上国の支援に力を入れ、ア

フリカからの留学生を受け入れていました。ディアビ氏は、そのひとりとして、セネガルから東ドイツに留学してきて、2013年にアフリカ出身者としてはドイツで初めて連邦議会議員となった方です。今回の連邦議会選挙で最も重要と考える点についてコメントしてもらいました。ドイツ語を聞いてみましょうか。

Ich bin Karamba Diaby. Ich bin der Bundeshauskandidat für die SPD für diesen

Wahlkreis 72. Das wichtigste Thema für diesen Wahlkampf für mich ist das Thema Mindestlohn. Dass wir einen Mindestlohn von zwölf Euro mindestens einführen, damit jede Person, die arbeiten geht, mit dem Geld leben kann, ist wichtig. Das ist Frage des Respektes.

【和訳】 Karamba Diaby です。ドイツ社会民主党 (SPD) の連邦議会議員候補です。今回の選挙戦で私が最重要と考えるテーマは、最低賃金 (Mindeslohn) です。最低賃金を 12 ユーロにし、すべての人が自分の働いて稼いだお金で生きていけるようにすること、それが重要です。

インタビューでは、今回の連邦議会選挙で最も重要と考える点は何か、と聞いたのですが、「Mindeslohn (最低賃金)」が大事だという返答が返ってきました。ドイツでは、「Prekärarbeit (不安定就労)」がきわめて大きな問題になっていて、2015年に Mindeslohn、すなわち時給を最低でもどれだけ払わなければならないかという設定が導入されました。導入当時は 8.50 Euro、2021年7月の段階で 9.60 Euro まで上がってきていましたが、それを 12 Euro にすることを目指そうという主張です。12 Euro という SPD の主張は、他政党と比べても高いほうに位置します。

ディアビ氏がここで話したのは、SPD の主張です。ドイツは、アフリカに植民地を持っていた時期が短いので、例えばフランスと比較すると、黒人マイノリティの数は多くありません。ドイツは、ユダヤ人差別には敏感です。ナチ時代に大変な体制犯罪を引き起こしたからです。その分、黒人差別は問題視されることが少なかったのですが、厳然と存在してきました。ディアビ氏はその意味でマイノリティですが、話を聞いていると、黒人の利益代表をしているわけではなく、れっきとした SPD の顔のひとりとして活動しています。結局、ハレ選挙区 (小選挙区) はディアビ氏が取りました。

もう一人ご紹介したいのは、ハレではなくベルリンの政治家で、緑の党ベルリン支部のバハール・ハガニプーア氏 (写真9参照) です。視察中に、ダイバーシティに関するパネルディスカッションが行われたときに、パネリストのひとりとして参加していた方です。このパネルディスカッションでは、移民・難民の問題と並んで、ジェンダーの問題が話題に上りました。ハガニプーア氏は、アジア系マイノリティであると同時に、ジェンダーの問題にも取り組んでいる方です。

皆さんは、「ジェンダーギャップ指数」というのはご存知でしょうか？ 世界経済フォーラムが毎年発表しているもので、男女格差 (ジェンダーギャップ) が、小さければ小さいほど 1、大きければ大きいほど 0 に近づく指数で表されています。2021年の数値では、参加 156 개국中、世界 1 位 (最も男女格差が小さい) はアイスランド、ドイツは 11 位、日本は 120 位でした¹⁶。120 位というのも相当な数字ですが、「政治」の領域での限りなくゼロに近い日本の状況は見えますか？ 政治の領域



写真9 バハール・ハガニプーア氏
出典：Wikimedia Commons

では日本は全 156 カ国中 147 位です。

ドイツの政治領域でのジェンダーギャップ指数は世界で 10 位ですので、男女格差は小さいほうです。2017 年の連邦議会の議員に占める各党の女性議員の比率は、お見せしているグラフのとおりで¹⁷、女性の比率が最も高いのは緑の党です。緑の党は、党内のすべての委員会で女性比率を少なくとも半々にするという方針を掲げています。それ以外の政党は、だいぶ温度差はありますが、黒 CDU は、2025 年までに党幹部の男女比を 1 : 1 にするという方針を出しています。赤 SPD は、党内の役職や委員会等の男女比について、男女のいずれかが少ないほうが最低でも 40% になるようにするという方針です。

日本と比べて何が違うのかといえば、「ダイバーシティを実現することが必要だ」という合意が、保守党である黒 CDU まで含めて出来上がっているということです。この合意に参加していないのは、ドイツでは「極右」とみなされて、すべての既成政党から排除されている水色 AfD だけです。

ジェンダーギャップ指数に象徴的に表れている日本と世界の政治の差。日本のジェンダーギャップ指数が壊滅的な状況にあるのは、今に始まったことではありません。日本は、中国よりも下、中東のシリアよりも下、アフリカのルワンダもモザンビークも日本よりはるかに上です。どうしたらよいのでしょうか、と思っていたら、ハガニプーア氏が日本に向けてメッセージをくださいました。

Mein Name ist Bahar Haghanipour. Ich kandidiere für das Parlament in Berlin, im Abgeordnetenhaus, für die Grünen. Demokratie ist immer wieder zu erkämpfen. Und der Aspekt, wie weit wir sind in der Gleichstellung für Frauen und für andere Gruppen in der Gesellschaft, ist immer ein Indikator dafür, wie weit wir mit der Demokratie sind. Deswegen lohnt es sich immer, dafür zu kämpfen, weil wir damit auch für Demokratie kämpfen.

【和訳】 Bahar Haghanipour です。ベルリン市議会に緑の党から立候補しています。私たちは民主主義（Demokratie）のために繰り返し戦わなければいけません。社会の中で女性やほかのさまざまなグループの平等（Gleichstellung）がどこまで実現しているかという問題は、常に、民主主義がどこまで実現しているかを示す指標となります。だからこそ、平等のために戦うことは常に価値あることなのです。

フランス革命で、人が自由であり、平等であり、互いに友愛で結ばれているということの重要性が宣言されたとき、「人」の中に、女性が入っていませんでした。資産をもたない労働者の男性も必ずしも「人」ではありませんでした。選挙に参加できる年齢も今よりもっと高く設定されていました。よき社会をつくるためには、皆が政治に参加する必要がある。これが民主主義の考え方です。フランス革命から 2 世紀以上の時が流れる中で、「皆」に含まれる範囲は広がってきました。もちろん自動

16 GGGI 2021. <https://www.bpw-japan.jp/japanese/gggi2015.html>（最終閲覧日 2021.12.23）

17 Frauen im Deutschen Bundestag. Anteil weiblicher Abgeordneter nach Parteien. <https://www.dw.com/de/parit%C3%A4tsgesetz-frauengruppe-im-bundestag-formiert-sich/a-47519478>（最終閲覧日 2021.12.23）

的に広がってきたわけではありません。戦って広げてきたのです。そうやって獲得してきた「民主主義」をどうやって引き受けていくのか。選挙というのは、民主主義によって動いているすべての社会において、主権者がそのことを改めて考え直すきっかけになります。

今日は、せっかく皆さんが勉強している「ドイツ語」、その「ドイツ」という窓から日本の外を覗いてみました。それを通じて、世界の課題、日本の私たちの課題がより明確に意識されたようであれば嬉しく思います。

坂本（司会） 川喜田先生、ありがとうございました。選挙があった9月の状況を視察時の写真とともに見る事ができる貴重な機会となりました。質疑応答の時間としたいと思います。

質問者① 大変示唆に富むお話をありがとうございました。原油価格の高騰などで、欧州で原子力をどう考えるかという動きがまた出ていていると聞いておりますが、それについてはどうお考えですか。また、恥づかしながら「Fridays For Future」は初めて聞きました。簡単に結構ですのもう少し説明していただければと思います。

川喜田 まずはエネルギーの問題ですよね。特に原子力がヨーロッパでどう考えられているかということですが、ドイツの基本的なスタンスについてはご存知でしょうか。ドイツは1998年に緑の党が初めて連立政権入りしました。当時、与党の中心は二大政党のうち赤SPDで、そのジュニアパートナーとして緑の党が入ったという連立の構成でした。その政権は原子力から「降りる」、原子力はもう使わないという決定をしました。歴史的な決定であったと思います。その後、紆余曲折、揺り戻しもあったのですが、結局ドイツではその方向性が一貫して進められております。原子力から降りる、しかも化石燃料に戻らないとなると、それはもはや再生可能エネルギーに行くしかないわけですが、コストが高いという非常に大きな課題があります。それをどうやって公的資金で支援し続け、そのセクターの自立をどう促していくかという議論がずっと行われており、基本的にはドイツはそこに向かって動いているということになります。もちろん、ドイツが自国内では原子力発電所を作らないと言ったとしても、実際のところは隣の原子力大国フランスから電力を輸入しているのではないかなど、いろいろな議論がありますが、基本的にはドイツは原子力を使わないという方向で動いています。

Fridays For Future は、何年か前に、グレタ・トゥーンベリの周辺で起こってきた運動です。要は、極めて若い世代、大学生どころか高校生が、環境破壊や地球温暖化に対する対策、ドイツで気候保護といわれる問題領域において、何らかのアクションを起こすべきだということを、政治に携わっている上の世代に対して言っていく、そういう大きな動きが生まれてきました。彼ら、彼女らはその運動にFridays For Future という名前を付けました。金曜にデモに行く。でも金曜は学校がありますよね。ですから、先ほど申し上げたように、学校をサボるとデモがセットになっているわけです。極めて先鋭な政治意識と、それと一緒にワイワイ騒ごうという考えも含めて、すべてを含み込んだ大きな動きとなって、世界中に広がったということです。日本もFridays For Future の動きはないわけではありません。けれども、先ほどご覧に入れたような大きい動きにはなっていませんし、今のご質問か

らするとおそらく、社会の中での知名度も比べものにならないくらい低いということだと思います。

質問者② 基礎的なところから説明していただけて理解しやすかったです。質問が2点あります。一つは先ほどお見せいただいたグラフで、2020年中盤に、難民問題への関心が高まっていた理由を知りたいです。もう一つは、ドイツの中で極右が危険視されているにもかかわらずAfDが一定の支持を得ているのはなぜでしょうか。

川喜田 一つ目のご質問はこのグラフのことだと思います。このグラフを見ると2020年に2回ほど、グラフが飛び上がっているところがあります。難民問題への関心が高まったのは、基本的には難民危機があった2015年、それから最も多く難民が入った2016年ですね。2017年頃から難民の流入が落ち着いてきましたので、それとともに関心が下がってきているのですけれども、稀に、難民にまつわる何か大きな動きがあると、その時に関心が集まるのでスッと上がることがあります。それが2020年はこの2回だったということになると思います。

もう一つの質問について。AfDがドイツに定着してしまった理由は単一原因ではないと思いますが、一つはすでに申し上げた通り、東西ドイツの統一以降、今にいたるまで、旧西ドイツと旧東ドイツの特に経済的格差がずっと残っています。もちろん全体としてみれば格差は縮小傾向にあるのでしょうけれども、まだ残っているということですね。それが旧東ドイツ地域では、既存の政党に対する不満を生んでいます。そうすると不満の受け皿が必要になるわけで、その受け皿は一つではありません。今日は話から抜いてしまったのですけれども、旧東ドイツ時代に「ドイツ社会主義統一党」という社会主義政党があり、東ドイツが崩壊した際、名前を変えてその後継政党ができました。その流れを汲んでいるのが「左派党」や「左翼党」と日本では一般に訳されている政党です。それが不満の受け皿として機能していたのですけれども、左翼党が一番左に位置する政党として不満の受け皿となっていたとするならば、今度は右端でAfDが不満の受け皿になっていく。大きく言えばそんな構図であると考えたうえで、今回、左翼党はかなり減りました。結局、既存の政党に対して不満を示す人たちというのは常に存在し、だいたいそれは10%ちょっとなのです。それがAfDに流れたり左翼党に流れたりしているということです。AfDはそういう形で不満の受け皿になっているということだと思います。

それから申し上げておくべき点としては、旧東ドイツ地域の中で、すべてが青くなったわけではないということですね。大きく言えば、東西ドイツが統一したあと、西にいた極右政党が東に乗り込み、支持の獲得に非常に力を入れたという経緯があります。それが根付いた地域でAfDが支持を集めてしまったということだと思います。

質問者③ AfDは旧東ドイツの歴史と関係していますか？ 私は、難民問題やナショナリズムと関連している印象を受けていたので、旧東ドイツの歴史とも関係しているのだなと思いました。

川喜田 旧東ドイツの歴史と直結しているという点では左翼党のほうかもしれません。ドイツが分断されていて、統一してもすぐに生活水準が同じになるわけではない。東ドイツ地域の経済がなかなか

追いついてこないという事情と非常に強く結びつき、その地域に既成政党に対する反対の動きが生まれてきているのだと思います。おっしゃる通り、AfD は反ユーロ、反ヨーロッパからはじまった政党ですけれども、反難民が票につながるということが分かり、その主張も強めてきています。あの政党は、白人の若い男性こそ非常につらい状況にあるのだと言います。実は視察で AfD の候補者にも会いました。ドイツとしても、世界から招いたゲストにあまり強烈な候補者を見せるわけにはいかず、AfD の中では穏健派の候補者を連れてきました。その候補者が言っていたのは、いわゆるドイツ人の若い男性が今、非常に抑圧された状況にある、救わなくてはいけないのは彼らだと主張するのですね。そういう意味で移民や難民の排斥という話につながるのですが、そういった主張が東ドイツの一部の特に男性に響いているのではないかと思います。

坂本（司会） コメントをいただいておりますので読み上げます。留学先の学生からで、「現在ボンに交換留学していますが、一部の博物館では 2G+(Geimpft, Genesen + 抗体検査) を要求されることがあり、もはやワクチン接種が日常生活の前提になり、ワクチン選択の自由が無いように感じました」

川喜田 情報の補足をありがとうございました。3G、2G には、いずれも 3G+、2G+ というさらに厳しい対応もあります。3G は「検査を受けて陰性証明書を持ってくればいい」という話をしましたけれども、3G は抗原検査でもいいのですが、抗原検査ではなく PCR 検査でないとダメというのが 3G+ です。2G は「接種をしたか、感染して治ったか」でいいのですが、2G+ はさらに陰性証明書を持っていかないとダメというものです。ただ、これは最近報道で読んだだけですけれども、2G+ の場合でも、ブースターと呼ばれる 3 回目の接種をした人は、一部の病院などを除いて、+ の部分の陰性証明書は免除してもらえるとというような、いろいろなバリエーションがあるようです。でも、全体としてはおっしゃる通り、ワクチンを接種することが事実上、必須として社会が組み立てられている印象を私も持っています。

坂本（司会） ドイツの接種率は 60～70% に達していましたでしょうか。

川喜田 正確な接種率は把握しておりませんが、かなり高いと思います。

坂本（司会） 次のコメントを読ませていただきます。「ドイツ国内では、商業施設に入るためにワクチン接種か罹患の証明が必須とのことですが、未接種者に対する同調圧力のようなものはありますか？」

川喜田 ワクチンを打ってくださいという要請を、同調圧力という言葉で語ることが適切であるかどうかは別の話だとして、3G、2G、しかも+という原則のうえで行動の自由が保障されるようになるということは、「打ってほしい」ということですよね。9月の段階では 3G だったものが 2G に移行し、検査だけではダメで、ワクチンを打ったか、かかって治ったかのどちらかしか、行動の自由を享受す

るための条件にならないということですから、打たないと行動を大きく制約されるという状況になっているといえます。

坂本（司会） 続いて読み上げます。「市民の政治参加に関して質問です。一つは、連邦議会選挙に対するドイツの若者の投票率についてご教示ください。もう一つは、若者の投票率の低さ、政治参加への距離感は、中等教育における政治教育の濃度がドイツと日本では大きく異なることに関係するのではないのでしょうか？ 三つ目は、ドイツの投票率の高さは郵便投票も関係しているのでしょうか？」

川喜田 ドイツの若者の投票率が、今回具体的にどれだけだったのかというデータは、私は今持っていません。ただ、若者に限らず、全体として、ドイツの国政選挙の投票率は、日本と比べて高いといえます。日本でも同じような時期に衆議院選挙がありましたけれども、あの時の若者の投票率と、ドイツでの1カ月前の連邦議会選挙での若者の投票率を比べると、ドイツのほうが高いと、ほぼ間違いなくいえるでしょう。

若者の政治参加が、学校教育における政治教育あるいは市民教育の、ドイツと日本の違いに関係しているのではないかという問いについては、私もその通りだと思います。ご質問者は「中等教育における政治教育」とおっしゃっているので、基本的に学校教育を念頭に置いていらっしゃると思います。学校教育における市民教育は、日本とドイツで大きく異なると思います。もう一つ私が強調しておきたいのは、ドイツでは学校外にも政治教育のための情報提供のシステムが非常に整っているということです。具体的には、連邦政治教育センターという有名な機関があります。そこにも視察に行き話をうかがったのですが、その機関では現代の政治、社会、そして現代史にかかわるトピックについて、読み物を出すなど日常的に情報提供をしています。選挙が近づくと選挙に向かってさまざまなアクションをしていくのです。もっとも有名なのは、日本語では政党マッチングと訳されているものではないでしょうか。国政選挙では、日本でも何年前前から、新聞社などが政党マッチングのサイトを提供するようになってきていると思いますが、あれは北欧から始まったものではないかと思います。ドイツでも比較的早い段階からとり入れられて、国政選挙や州レベルの選挙、おそらく欧州議会選挙でも、政党マッチングのサイトが作られます。つまり、「あなたはこういう問題に対してどう思いますか」という問いに対して答えを選んでいくと、「あなたの考えに一番合うのはこの政党でしょう」というのを教えてくれるアプリケーションがあったり、ポッドキャストがあったり、子ども向けのゲームがあったりと、いろいろな媒体で、政治に参加する時にどういう思考をすればいいのか、考え方の軸のようなものや政治的な争点のポイントについて教育したり情報提供したりというシステムが非常に整っています。それを必要と考えている社会であるということです。

それから郵便投票。これがドイツの投票率の高さにどう影響しているかという分析は私にはできませんけれども、郵便投票が非常に発達しているのは確かです。特に今回はコロナ禍でしたので、郵便投票した方が多くて、選挙区によって違いますが、40%から半分に迫るような郵便投票率の高さが話題になっていました。

坂本（司会） 二つ目の質問に私から言えることは、同僚と話をすることで、家庭の中でよく政治の話

をする、つまり親から子どもに対してそういう話題を提供してディスカッションすることが根付いている印象があります。それは、親が「私と同じ党に投票しなさい」という教育ではなくて「あなたはどのような社会を目指すのか、どのような党に票を入れるのか」ということを親から子に教えているように感じます。

川喜田 政治的な中立をどう考えるかということとも関係してくると思いますが、日本の場合は「政治的に中立であれ」といわれると、教室の中で政治的な話題を扱えなくなってしまう教員も多いのではないかと思います。ドイツでも、政治的には中立でなくてははいけません。つまり特定の政党に肩入れするような議論はしないわけですね。政治的な話題を語る時には、基本的にはミニマムコンセンサス。どの政党も合意できる場所で語る、そういう形で中立というものを考えます。あとは、考え方の筋を示したうえで、あなたはどう考えるのかを討論するなどといった政治の教育の在り方になっているのだと思います。

坂本（司会） 今年、初めて障がいを持つ人も投票できる仕組みをつくったと報道で耳にしました。それも投票率の高さに影響があるのではないかと思います。

本日の講演をきっかけに、ドイツの社会あるいは政治に興味を持ってくだされば幸いですし、そこを越えて日本とドイツの差や、ドイツから学べること、日本の社会に還元できることを皆さんご自身で考えていただければと思います。本日はありがとうございました。

世界を知ろう！～フランス語講演会～

日本語とフランス語から広がる世界

日時：2021年10月18日（月）17時15分～18時30分
開催方法：Zoomによるオンラインと対面のミックス開催
参加者：立教生91名

講師：熊本 カロリーヌ氏（フランス政府留学局・日本支局広報担当）
略歴：フランス Lycée Saint-Médard Notre-Dame La Riche 高校卒業、上智大学外国語学部フランス語学科を17年に卒業後、現職。

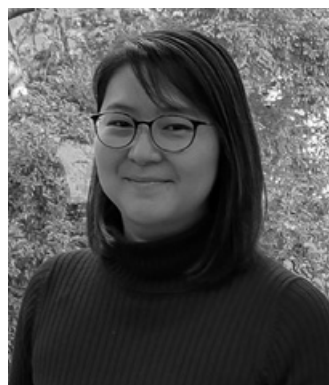
司会：関 未玲（フランス語教育研究室主任／外国語教育研究センター准教授）

関（司会） 本日は、対面授業が再開した初日にもかかわらず、多くの皆さまにお集まりいただきましてありがとうございます。本企画は、全カリフランス語の継続学習を目指す立教生、あるいは目指さないけれど興味を持っている、また今後興味を持つかもしれない立教生、もしかしたら講師の熊本さんを目指して日仏の懸け橋となってくれるかもしれない立教生を主たる対象とした企画となっています。

それでは、本日の講師、熊本カロリーヌさんをご紹介します。熊本さんは現在、フランス政府留学局にお勤めで、日本支局広報をご担当されています。フランスの Lycée Saint-Médard Notre-Dame La Riche 高校をご卒業後、上智大学外国語学部フランス語学科をご卒業され、2017年より現職に就かれています。本日の講演テーマは「フランス留学の魅力（フランス高等教育システム）」「語学学習（バイリンガルへの道）」「語学習得とキャリア」です。こちらの要望をすべて快く引き受けていただきました熊本さんに感謝を申し上げるとともに、本日は立教生だけに教えていただける有益な情報が多数と期待しております。それでは熊本さん、どうぞよろしくお願いいたします。

フランス高等教育システムとフランス留学の魅力

熊本 はじめまして、Campus France の熊本と申します。久しぶりの対面でのイベントで緊張していますが、皆さんにいろいろな情報をお伝えできたらと思います。まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。名前が熊本カロリーヌ。このような名前ですけれど100%日本人です。日本で生まれ育ち、一時期フランスで生活していましたが、完全なる日本人で、日本の国籍しか持っていません。10歳でフランス語圏のスイスに単身で留学した後、中学2年生の



熊本 カロリーヌ氏

時にフランスに転校しました。その後フランスの高校に進学し、卒業後は日本に帰国。上智大学外国語学部フランス語学科に入学して卒業し、今の仕事に就いています。

私はパリではなく、トゥールという、パリからTGV（高速鉄道）で1時間ほどの町に住んでいました。トゥールには、15世紀から16世紀の間フランスの首都として、フランスの王様が滞在していました。一番有名な王様はフランソワ1世で、レオナルド・ダ・ヴィンチをイタリアから呼び寄せ、芸術を擁護すると同時に、「フランス語」というものを制定しました。大きな河に挟まれた街で、写真①がロワール河です。私は橋を渡った北側に住んでいました。写真②は市庁の建物です。フランスにはこうした古い建物がいまだに残っており、それが市庁舎や県庁舎として使われています。



写真①ロワール河



写真②トゥールの市庁舎

さて、私が働いている Campus France をご存じの方は少ないかと思しますので、まず簡単にご紹介します。Campus France は、世界 124 か国に 255 のオフィスを構える公的機関です。フランス本国のヨーロッパ・外務省と高等教育・研究・イノベーション省の2つの省の傘下にある政府機関で、フランス留学のプロモーションを行っています。日本ではフランス大使館内に東京メインオフィス、アンスティチュ・フランセ関西・京都に関西オフィスを構えています。

主なミッションは、今申し上げた通り、フランス留学のプロモーションで、基本的に高等教育機関、つまり大学以上への留学のプロモーションを行っています。具体的には、こうしたセミナーに招いていただいて説明を行ったり、現在のような状況下ですとウェビナーを開催したりしています。留学に向けた準備のために個人的に相談したい方には、メール、電話、オンライン、それから対面でも個別相談を受け付けております。対面でしたら、東京では第2・第4木曜日の月2回実施しています。ホームページに申し込みフォームがありますので、そちらから送っていただければと思います。

Campus France のもうひとつの大きな業務が、国立大学への応募申請の窓口業務です。毎年秋口から、翌年の9月入学の応募申請を受け付けています。また、学生ビザの申請前の手続きを行っています。皆さんの中にはこれから留学に行く方がいらっしゃるかもしれません。留学へ行く際には、フランス大使館でビザ申請手続きを行う前に、Campus France を通してオンラインでビザ申請前の手続きを行っていただく必要があり、ビザセッションへ行っていただく必要があります。

Campus France は少数精鋭でさまざまなイベントを開催・運営しており、私も広報担当ではありますが、イベントの企画運営を行っています。直近では、10月29日・30日に欧州連合代表部と

ドイツ学術交流会との共催で、欧州留学オンラインフェアを開催いたします。これは10年前から毎年実施しているイベントで、昨年からオンラインで行っています。今年は特設サイトを設け、欧州から約150機関、フランスからは15校が参加しています。特設サイトでは、事前に学校のパンフレットなどの情報を収集でき、オンラインフェア当日は、学校のスタッフと直接個別相談をしたり、ライブチャットで質問したりできるようになっています。個別相談に関しては特設サイトでアカウントを作成して事前予約する必要があるのですが、ライブチャットは当日飛び入り参加も可能です。フランスに限らず欧州に留学したいと考えている方は、ぜひこのオンラインフェアに参加してみてください。

Campus France がメインで開催している定期的なイベントは、ほかにも2つあります。ひとつは、9月に留学される方向けのフランス留学準備セミナーで、現在はウェビナー形式で7～8月に開催しています。留学経験者や留学中の学生を招き、フランス到着後に必要な行政手続き、現地での生活、またコロナ禍に関する経験についてお話しいただけます。もうひとつは、秋口から始まる大学への応募申請に向けての応募手続きの説明会です。今年は9月29日に行い、その動画をYouTubeにアップしていますのでぜひご覧になってください。

資料に「留学するならフランス 5つの理由」と書きましたが、まず、留学するメリットについてお話しします。これは私の持論ですが、フランスに限らず留学は、自分の価値観や常識を広げられるきっかけになると思っています。日本にいと、日本で自分が知っている常識だけが普通だと思いがちですが、海外で違う文化や異なる考えを持つ人と触れ合うことで、視野が広がります。今回、関先生から「日本語とフランス語から広がる世界」というテーマをいただいたのですが、フランスに限らず、留学自体が世界を広げるとしています。その中でもフランスを選ぶ理由について、これから紹介したいと思います。

まず、フランスの高等教育に関してです。フランス政府は教育にとっても力を入れており、GDPの6.7%を教育に充てています。これは小・中・高と高等教育を含めた教育全体の数字にはなるのですが、日本が教育に充てているのは3.18%（2017年）ですから、フランスは日本の倍くらい教育にお金をかけていることとなります。フランスにはさまざまな教育機関があります。国立大学だけでなく、グランゼコールなど専門的な教育機関を多彩に備えており、それぞれの教育機関で、国が認めているディプロマ（学位）を取得できるようになっています。昨年は新型コロナウイルスの感染状況の影響により、対面、オンライン、ミックス型などさまざまな形態で授業が実施されましたが、今年9月からは国立大学および他の教育機関において、ほぼ100%対面授業に戻っています。

また、フランス語という言語自体にも魅力があると思っています。というのも、フランス語は歴史的にもヨーロッパで公用語として活用されてきた言語で、現在も国際機関などではフランス語が英語に次いで公用語として使用されています。現在、世界で2億7400万人が日常的にフランス語を使用しています。今年の東京オリンピックをご覧になった方の中にはフランス語と日本語でアナウンスされていることにお気づきになった方がいるかもしれませんが、IOCやFIFAなどスポーツ分野の国際機関でもフランス語が使用されています。もちろん国連でもフランス語が必須になっていますので、フランスに留学される方の中には将来的に国際機関に入りたいという方もいらっしゃいます。

地図を見ると、フランス本土に限らず、フランス語を使用している地域が世界中にあります。アフリカはフランスの植民地だった時代が長かったため、現在でもフランス語が公用語という国が多いです。アフリカの開発に日本の企業も数多く乗り出しています。語学留学もしくは MBA を取得するためにフランスに社員を派遣する企業が増えています。今年も、アフリカでのビジネスを増やすために、会社からフランスに派遣された方が6～10名ほどいらっしゃいました。つまり、フランス語はこれからも需要があるということです。英語だけではなくフランス語も身に付けることで、自分の可能性を大きく広げることができると思います。



写真③アングレーム

さらに、フランスの魅力はヨーロッパにもあります。フランスはヨーロッパの中心にあり、陸続きでさまざまな国と接しているため、多くの物流・人流があり、多彩な文化が入ってきます。現在はコロナ禍で難しいかもしれませんが、終息すれば、フランス留学中にいろいろな国に行くことができます。国境は7か国近く接しており、イギリスも海は挟んでいるものの電車で行けます。写真③は私が旅行した時に撮ったもので、アングレームという町です。それほど大きな町ではないのですが、建物に絵が描かれているんですね。この町では毎年、アングレーム国際漫画祭という国際的なコミックの祭典が開催され、日本の漫画家も多数招かれ受賞しています。この町では、壁や家の入口などあちこちにちょっとした絵が描かれていて、とても可愛らしいので、もし漫画が好きであれば留学中に足を運んでみてください。

リヨンの近くにあるペルーージュという町も、大変魅力的でした。石畳が敷かれた古い街並みで、街というより村なのですけれど、昔の要塞都市がそのまま残っているところです。昔の看板などが再利用されています。私は知り合いが住んでいるので行ったのですが、本当に時代ものの映画に出てきそうな村です。日本ではお目にかかれない街並みが見られるので、ぜひ行ってみてください。リヨンから45分～1時間くらいで行ける村です。

写真④はシュノンソーというお城です。私が住んでいたツールという街は、かつて首都だったため、多くのお城が残っています。「ロワール地方の城」で検索すればたくさん出てくると思います。その地方で最も有名なのはシャンボール城ですが、個人的にシュノンソー城のほうが好きだったので、写真はこちらを載せました。シャンボール城は男性的ながっしりした大きいお城ですが、シュノンソー城は昔、王女様がいたお城



写真④シュノンソー城 (Fotolia_87666207_XXL_ThomasLENNE)

なので、フェミニンできれいなお城です。このようにフランスはさまざまな歴史的文化的文化財があふれている国で、観光には事欠かないと言いますか、すべて回ろうと思ったら1年では足りないくらいです。

「フランス留学の魅力」の話に戻りますが、魅力のひとつが留学生にとってもやさしい制度が数多くある点です。そのひとつが社会保険です。海外留学生でも無料で加入することができ、プラスして相互保険に入れば、治療項目によっては大部分を保険でカバーできます。留学中の家賃も気になるところですが、条件を満たせば住宅補助を申請でき、家賃の最大30%支給してもらえます。借りる地域やアパートの規模によって支給額は変わってきます。

さらに、交通機関や文化施設の学割も充実しています。学割で映画館が7～9ユーロ。これはパリの料金ですね。日本円でいうと910円～1,170円で鑑賞できるということです。私が留学していた時は高校生だったのでもっと安く、5ユーロ(600～700円)ほどで、頻りに映画館に通っていたのですが、日本に帰ってきて映画料金の高さに驚いて足が遠のいてしまいました。フランスでは、教養を身に付けるという観点から、文化施設に関しては学生であれば安く享受できるようになっています。美術館や博物館も、学生は無料で入れる施設が多いです。

フランスの国鉄であるSNCFでは、26歳未満の方であればだれでも購入することができるCarte Jeuneというものがあり、年間49ユーロ払えば毎回切符を3割引きで購入できます。TGV Maxは、月々79ユーロ払うことで、TGVという日本でいう新幹線のような速い電車が乗り放題になります。同じ日に同じ駅に行くことはできないという条件はありますが、基本的に乗り放題で旅行などの際にはとても便利です。パスインターレイルは、ヨーロッパを旅行する際に使える電車の定期みたいなものです。

定期つなかりで話すと、パリのメトロなど交通手段の定期券は年間350ユーロで購入できます。日本とフランスでは、定期券の概念が少し違うのです。日本では、定期券は自宅の最寄り駅から学校の最寄り駅までの区間が乗降自由になり、それ以外は追加料金を払いますが、フランスのメトロの定期券はどの路線も乗り放題になります。昔は交通手段によって料金が分かれていましたが、現在はメトロ、バス、トラム、郊外に行く際の電車も全て乗り放題で、パリの周辺、イル＝ド＝フランス圏内であれば、移動は自由です。それが年間350ユーロ(約45,500円)です。日本だと定期券を半年分購入すると3～4万円かかるのに対して、フランスは同じくらいの金額で1年間すべて乗り放題ということです。私もフランスでは乗り放題だったので、日本に帰ってきて定期券がとても高く感じました。

次にフランス留学を選ぶ理由として挙げられるのが、フランスは世界でもトップ企業が集結する経済大国であることです。世界5位、欧州では2位の経済大国です。日本と生活水準が同じくらいで、企業間でのやり取りも多いです。例えば、関西国際空港の管理を行っている企業はいくつかありますが、ヴァンシ・エアポートというフランスの企業も管理に携わっています。逆に、トヨタや楽天など日本の有名企業もフランスに支社を置いています。ですから、将来的に日本の企業で働くとしても、フランスで留学した経験は役に立つことがあるはずで、フランスの価値観や考え方、交渉の仕方などを学べるという意味でフランスは留学先としていい国だと思います。

続いて、フランスの教育システムと奨学金についてお話しします。まず、先ほども紹介した通り、

フランスの高等教育システムには複数の教育機関があります。今日は大きな機関をふたつ紹介させていただきます。

まず、国立大学。フランスで総合大学というと、ほとんどが国立大学を指しています。総合大学というのは日本と同様、さまざまな学部、理系から文系まで多種多様な分野を網羅している教育機関のことです。一方、グランゼコールというのはナポレオン時代に作られた教育機関で、ある分野に特化したエリートを育成するための機関です。このふたつは、入学の仕方が若干違います。資料に「中等教育修養プラスバカロレアあるいは相当する資格を持っている人が入れる」とありますが、フランスではバカロレアという試験を高校卒業時に受験し、合格すると総合大学に入学する権利を取得します。私もバカロレアを受験しました。私が受験した際には、ジェネラルという総合コースであれば、理系、経済、文系の3つのコースに分かれており、それぞれの専門、つまり理系なら理数系の科目が問われる内容になっていました。経済を受験する人は高校から経済を勉強します。文系であれば文学や哲学が重視される試験になっています。日本のようなマークシートはなく、すべて筆記の記述式で、1日に2科目ほど、1科目あたり最大4時間ほどかけて行います。1週間かけてすべての試験を受けて、合格すれば大学に入れます。

グランゼコールは、バカロレアを取得したうえで、準備学級（プレパ）2年間を経て、グランゼコールの試験を受け、合格できたら、学士課程3年生からの入学になります。修了時は修士課程を修了する形になっています。ただ、近年は状況も変わってきており、多くのグランゼコールでバチェラー（学士課程）レベルのコースも提供されるようになってきたので、バカロレア受験と同時にグランゼコールを受験して入学するという方法も増えてきています。

国立大学とグランゼコールの大きな違いは、グランゼコールは修士課程止まりです。博士課程を提供するグランゼコールもあるのですが、基本的には博士課程は大学で行われます。ただ、昔は、国立大学はアカデミックな機関で、グランゼコールは実践的な学びができる機関と言われていましたが、近年それもどんどん変わってきてまして、国立大学でも研究に進むか、それともプロフェッショナル……就職して仕事をしていくためのコースかを選べるようになっていきます。

続いて学費に関して。グランゼコールと国立大学の違いとして挙げられるのが学費です。国立大学の博士課程は年間の学費が2,770ユーロ、日本円で言うと約40万円です。修士課程は3,770ユーロ（約50万円）。日本の学費に比べればかなり安いと思います。アメリカと比べても安いので、学費の安さでフランスへの留学を選ぶ方もいらっしゃいます。私立であるグランゼコールにあたる教育機関は、資料には例として10万ユーロからと書いたのですが、ピンからキリまであります。興味がある教育機関に問い合わせるとよいと思いますが、基本的に国立大学よりもお金がかかると理解していただければと思います。

また、フランス留学は英語でも可能です。フランス語ができないとフランス留学を諦めてしまいがちですが、英語のプログラムも多く、現在1700弱のプログラムが英語で提供されています。ただ、そのほとんどが修士課程レベルになっています。この「Programs taught in English」は、Campus Franceが管理しているカタログです。国立大学やグランゼコールを含めたフランスの教育機関で提供している英語のプログラムを、キーワードや学位レベルで検索できるようになっています。「フランス語には自信ないけれど、英語でフランス留学してみたい」という方は、このカタログ

で検索してみてください。英語のプログラムでも、フランス語の語学授業が付いてくることが多いので、専門的な勉強は英語で行い、せっかくだからフランス語も身に付けて帰るとい方が割といらっしゃると思います。英語とフランス語ができれば就職も有利になると思いますので、そういった選択もあることを知っていただければと思います。

留学はお金がかかるものですが、フランス政府は毎年奨学金を支給しており、今年も来年度の募集を行っております。例年、9月20日から11月20日まで募集しておりますので、頭の片隅に入れておいていただければと思います。応募は学士課程2年生からとなっております。修士課程に行かれる方、文系・理系どちらも募集しているのでぜひ試してみてください。英語のプログラムでも応募可能です。昔は奨学金というとエリートのイメージが強かったと思いますが、今は学歴など関係なく、審査では留学の計画が重視されます。「私はそんなに大した成績でもないし、有名な大学でもないから」と諦めないでほしいです。今は東大出身ではない方も毎年受かっています。留学計画がしっかりしていれば支給されるものですから、試して損はないので応募してみてください。ほかにもさまざまな奨学金をCampus Franceのカタログで紹介しています。「日本人」で検索していただければ、日本人が受給できる奨学金を見つけられます。ただ、紹介はしているのですが管理はしていませんので、詳細な応募方法や支給については各機関に直接問い合わせいただければと思います。

皆さんの中には「学位は必要ないが、フランス語を上達させたい」という方もいらっしゃるでしょう。語学留学も毎年多いです。学位を取得しないから留学に価値がないなんてことは全くなく、行くだけで本当に価値があります。語学留学でも学位取得でも、行きたいと思ったらぜひ行ってほしいです。語学留学を検討されている方は「Label Qualité FLE」のロゴを目印に語学学校を選択してみてください。このラベルは、政府からその質を認められた学校のみを与えられているものです。Webサイトから、地域名などで絞り込んで検索することができますのでぜひ活用してみてください。

続いて、留学に備えて「十分な語学を身に付けよう」。語学留学に行かれる方の中には、「私は語学留学に行くから日本でそんなに勉強しなくてもいいや」とゼロの状態で行く方もいらっしゃいます。それは、私たちはあまりおすすしません。ある程度、日本で基礎的な語学力を身に付けてからフランスに留学したほうがよいと思います。日本には、フランス政府の機関である「アンスティチュ・フランセ東京」と「アリアンス・フランセズ」という語学機関があり、北は札幌、南は那覇まで学校が存在しています。関東では東京と横浜に学校があります。大学で授業がありますのであまり必要ないかもしれませんが、大学生向けの短期セミナーや小さなアトリエなども行っているので、ぜひ参加してみてください。

こちらの機関は、語学学校だけでなく、フランス文化に触れていただくための機関にもなっているので、通常はいろいろなイベントを開催しています。現在はオンラインでイベントを行っていますが、コロナ禍が落ち着いたら、年間を通してさまざまなイベントがあります。音楽の日がある6月には多くのバンドを招いてどんちゃん騒ぎをすることもありますし、革命記念日である7月14日は、日本でいうパリ祭を開催します。フランスまで行くのはちょっと、という方は、ぜひアンスティチュ・フランセ東京に足を運んでいただき、こうしたイベントに触れてみてください。

語学学習とバイリンガルへの道

語学学習について、関先生から「どうしたらバイリンガルになれるのか」という質問がありました。ただ正直に申し上げますと、私自身はフランス語を日本語と同時に覚えたものですから、気付いたら両方でできていたというパターンで、コツコツと学んだということはないのです。むしろ日本に帰ってきたばかりの頃は、こんなふうに皆さんの前で喋るほどの日本語力はなく、逆に日本語のほうを勉強しました。それでも語学を学習するうえで共通する点はあると思いますので、今日はそういった部分でのコツをお伝えしたいと思います。これは Campus France に関係なく、個人としてのテクニックの紹介ですのであまり重く受け取らずにお聞きください。

まず、自分に合った学習方法を見つけることが重要であると私は考えています。私は漢字でもなんでも、ただ目で見て覚えるのではなく、書いて、書いて、書いて、覚えるタイプでした。人によっては耳で聞いて覚える人も、見て覚える人もいますから、自分がまずどうやって覚えるタイプなのかを知ることが大事だと思います。

それから、自分が好きなものを通して言語を学ぶというのもひとつのコツですね。私の場合は読書が好きでしたので、日本語の本を読んで漢字などを勉強しました。帰国当初は漢字が小学3年生レベルで止まっていたから、漢字が出てくたびに辞書を引き、1冊の文庫本を読むのに3ヶ月くらいかかりました。私は面倒くさがりなので調べるのが嫌で嫌で、だから必死に漢字を覚えるという方法でした。辞書で調べた漢字をノートに意味とともに書き出して、フランス語に訳したりもしました。わからないものは本当に全部調べました。本を読んでいてわからない単語があっても、コンテキストから意味を理解できる場合がありますよね。そのとき推測で読む方もいらっしゃると思うのですが、私は分からないものはすべて調べました。皆さん、電子辞書をお持ちだと思いますが、私としては、紙の辞書で調べるほうが面倒くさいから身になるという持論です。上智大学にいたときの先生の受け売りでもあるのですが、電子辞書で検索すると、上に書いてある意味だけで判断して下のほうを見ない方もいると思います。調べた言葉を一目ですべて見られる、という意味で、紙の辞書がいいと思いますし、調べるのが面倒くさいため何回も同じ単語を調べたくないという思いで必死になって勉強するという考えもあり、私は紙の辞書をすすめています。

フランスに留学していた時、日本語はほとんど勉強していませんでした。親との電話は週1回ほどで、親も何を言っているか分からないというくらいの日本語レベルになったのですが、それ



でも音楽、映画、アニメなど、好きなものを見て日本語に触れていたため、完全には失うことなく日本に帰ってきました。聞けば何を言っているかわかる程度の日本語力はキープできたということです。なので、もし音楽が好きなのであればフランス語の音楽を聴いてみたり、映画をフランス語で見たりするのもよいのではないのでしょうか。映画を見る際、はじめは日本語字幕にしてもいいですが、慣れてきたらフランス語字幕に切り替えて登場人物が何を言っているのかを文字で見る、というのも学習法としていいと思います。自分が楽しいと思える方法を見つけて勉強してもらえればなと思います。

交換留学を目指している方だと、語学力がそれなりに必要になると思いますが、DELF・DALF や TCF というフランスの公式な資格があります。これらの違いは、DELF・DALF は仏検のように級ごとに受験して、合格したら一生使える資格。TCF は TOEIC のように受験結果のスコアが出て、受験者のレベルが提示されます。TCF は受験後 2 年間の有効期限があり、期限を過ぎると証明書として使用することはできません。レベルは A1 から C2 まであり、日本の大学卒業後にフランスの高等教育機関へ進学したい場合は、最低でも B2 が必要になります。分野によっては C1 が求められる場合もあります。受験会場は、先ほども紹介したアンスティチュ・フランセ東京とアリアンス・フランセーズとなっております。また、各アンスティチュ・フランセでは受験の準備をするための講座も行っていますので、ぜひそちらも参加してみてください。対策をせずに一発で受験すると痛い目に遭ってしまいます。フランス語が少しできる人……おそらく私が最も上級レベルの DALF を受けても、対策なしでは受からないでしょう。資格向けの対策は講師に教えてもらうのが手取り早いと思います。

さて、留学の準備をする段階で、どこにあるどの大学がいいのか、どの大学にどういったプログラムがあるのか、それをどうやって探せばいいのか、という話になると思います。Campus France のホームページに、学士課程から博士課程までさまざまなプログラムを検索できるカタログを掲載していますので、そちらを活用してください。気になるキーワードや分野で検索すれば該当するプログラムがヒットします。フランスへの進学を検討されている方、これから検討するという方も、このサイトがあることを覚えていただければと思います。

そして留学を決めたらまずやっていただきたいのが、Campus France の Web サイトを見ていただくことです。すべての手続きに関して、Web サイトに説明とガイドを載せておりますので、まずそちらを見ていただいて、見てもわからないことがあれば遠慮なく Campus France にお電話ください。スケジュールなどもすべて載せています。

先ほど Campus France が行っている業務として紹介した、国立大学の応募申請窓口と学生ビザの申請前の手続き、2つの手続きを、こちらの Etudes en France というオンラインプラットフォームが担っております。窓口が2つありますが、ガイドを見ていただければ間違えずに手続きできると思います。

語学習得とキャリア

留学後について、France Alumni というフランス留学経験者のグローバルネットワークがあります。2019年にこのネットワークの会員数 5000 人達成記念パーティがありました。このイベントは

多くのフランス企業に協賛していただいて大使館公邸で行われ、留学経験者にさまざまなプレゼントが抽選で当たりました。ですから、France Alumni の公式サイトもぜひご覧ください。留学後のキャリアも心配ですよ。留学した後、どのように仕事を探せばいいのか、留学を就活にどう活かせばいいのか気になると思います。留学に行くと就活のタイミングが合わないと思われる学生もよくいらっしゃいますが、隣国イギリスで行われるロンドンキャリアフォーラムに足を運んでいただき、就活を始めるという方法があります。留学中でも就活を始めることは可能ですから、就活とタイミングが合わないからといって留学を諦めることはしないでいただきたいと思います。

France Alumni では、コロナ禍以前は日仏交流会など多彩なイベントを行っていました。今はこういう時期ですので対面イベントは自粛していますが、インスタグラムを始めて、過去の留学生の体験談も紹介しているので、ぜひ見てみてください。また、日本にあるフランス企業や、フランス留学経験者を求めている日本企業などを集めたキャリアフォーラムを、本来であれば 2020 年に開催予定でした。あいにくコロナ禍で頓挫し、まだ実現のめどは立っていませんが、こうしたイベントも開催していく予定です。France Alumni の会員になっていただければ情報を受けることができますので登録してみてください。

最後に、Campus France のリンクがこちらです。入国に関する最新情報やイベント告知は SNS を通して行っています。YouTube には、フランス到着後に必要な行政手続きの説明動画や過去のイベントの動画、さまざまなハウツーなども載せていますので見ていただければ幸いです。

質疑応答

関（司会） では、チャットの質問にも答えますけれども、まず対面からスタートさせていただきます。

質問者 経済学部 1 年の金子祐樹です。授業中に先生が「フランスは卒業するのが難しい」と言っていました。そこで、フランスの就職活動は日本と大きく違うのか気になっています。

熊本 卒業するのが難しいというのは、日本に比べたらそうですね。日本は受験の段階でふるい落とされるじゃないですか。フランスの国立大学は、先ほども申し上げた通り、バカロレアに合格していれば誰でも入れるのです。ですから、1 年から 2 年、2 年から 3 年に上がる際にふるいにかけられるということです。1 年次に 100 人いたとすると、2 年に上がるのはいいところ 70 人ほどで、3 年に上がる時には 30 人ほどしかいないという場合もあります。これは別に落第ということではなくて、なかには転科する人もいますし、学校を辞めてしまう人もいますし、もう 1 年やるという人もいます。フランスでは小学校から留年が珍しくなくて。ですからストレートに卒業するというのは日本に比べたら難しいかもしれません。

就職に関しては、フランスには日本でいう就職活動時期というものがありません。常に応募できます。企業が説明会をして、それを聞いて応募して……というよりは、自由にメールで応募するような感じ。志望理由書と履歴書を送って自分を売り込むのです。それから、日本企業は新人を自社で育成する風潮がありますが、フランスは割と経験重視。新卒に職業経験を求めるのは難しいと思

ますが、フランスの大学の場合、研究コースではなく就職コースに進めば、卒業要件が卒業論文ではなくインターンシップになります。3か月から半年間のインターンシップの報告書を提出して卒業するという流れがあり、インターンシップを重ねて本就職、という方が多いですね。学士課程を出てすぐに就職という例はあまりなく、皆さん修士課程まで行って就職することが多いです。

質問者 経済学部1年の小塚英次郎です。フランスに留学した場合、フランス語を話す機会はどれくらいありますか。

熊本 毎日です。ああ、英語で留学する場合ですね。フランスには海外留学生も多いので、キャンパス内は英語で事足りることもありますし、パリなどの都市では英語で通用しますけれども、小さな村や旅行先ではフランス語がメインですので、少しはフランス語ができないと厳しいかなと思います。挨拶とお礼という基本的なところであれば、相手も「努力してくれているのだな、では自分も英語はあまりできないけど頑張ってるぞ」という雰囲気にはなります。過去に、英語で留学したところ、留学先がパリだったので英語ですべて通用してしまったという方がいらっしゃいました。この方が後に話したところによると、せっかくフランスに留学したのにフランス語を学ばずに帰ってきたことを少し後悔した、と。ですから、できるだけフランス語も勉強していただければいいのではないのでしょうか。正直なところ、日本で就職するとき、フランス語だけでは少し押しが弱いです。でも英語とフランス語が身に付いていれば大きな武器になります。英語で留学する場合でも、フランス語で会話ができるレベルになれば、就職でアピールできると思います。

質問者 フランスに関わりのない企業でも、就活の際、フランス留学が有利に働くことがありますか？

熊本 あると思います。それはフランスにとどまらず、留学経験は、どの企業でも、たとえフランスに関わらない企業にも有利にはなります。アピールの仕方次第ですね。「留学に行ってきました」というだけでなく、そこで何を学んできたのかを就活でアピールできますね。どういうことを経験して、自分はどう思って、こういう考えに至って、その会社を受けたのかを説明でき、つなげられれば、その会社がフランスに関わっていなくても、もしかしたら将来的にあなたがいるからフランス語圏の事業に踏み出そうと考えるかもしれません。

質問者 私は英語を話せるようになるために、日常会話を英語で話すようにしていました。フランス語を身に付けるために、このようなやり方は有効でしょうか？

熊本 もちろん。ただ、英語は話せる人が多いので、日本で実践的に会話することができるかもしれませんが、フランス語になると一気に人口が減ってしまいますね。でも大学で留学生と友達になって教えてもらうのはとても有効だと思います。友達づくりが一番の近道ですね。私も日本語とフランス語を同時に学んだのですが、それはフランスの保育園でフランス人の保育士と一緒に遊ぶために語学が必要だったことが最も大きな理由だったと思います。

関(司会) ありがとうございました。それでは時間になりましたので閉会したいと思います。コロナ禍の中、講演会を引き受けていただき、本学にお越しいただいた熊本さんにお礼申し上げます。来年も引き続きこのような講演会を開催したいと思いますので、またお会いしましょう。

※このあと、会場に残った方の質問を受け付けていらっっしゃいましたが、ここでは省略しています。また、多数の質問をチャットでいただきましたが、当日取り上げる時間がなかった質問に対しては、後日熊本さんからご回答をいただきました。フランス語教育研究室までご連絡をいただければ、回答をお伝えさせていただきます。

世界を知ろう！～スペイン語講演会～

スペイン語から広がった世界 ～バスクを知ろう

日時：2021年10月25日（月）18時00分～19時30分
開催方法：Zoomによるオンライン開催

講師：土肥野 秀尚氏（立教大学兼任講師）

略歴：慶應義塾大学文学部人文社会学科西洋史学専攻卒業。マドリード自治大学大学院修士課程近世史修了。慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻西洋史学分野修士課程修了。慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻西洋史学分野博士課程在籍中。バスク大学近世史博士課程在籍中。東洋英和女学院大学非常勤講師。立教大学兼任講師。

司会：松本 句子（スペイン語教育研究室主任／外国語教育研究センター准教授）

松本（司会） 皆さん、こんばんは。スペイン語教育研究室的松本と申します。全カリ言語 B 連続企画「世界を知ろう！」スペイン語講演会にお越しいただき、ありがとうございます。早速ですが、今日の講演者である土肥野先生をご紹介させていただきます。土肥野先生は今年度から立教大学にて教鞭をとってくださっている兼任講師で、一番若手の先生です。実は私の教え子でもあるのですが、教え子が気づかぬ間に偉大な研究者になっていました。学生に近い、若い視点で、楽しい授業を展開してくださり、本当に心強く思っています。では、土肥野先生にマイクをお渡しします。



土肥野 秀尚氏

土肥野 ご紹介にあずかりました土肥野と申します。若手の研究者としてスペイン語を教えています。本日は講演に来てくださり、ありがとうございます。僕は、おそらくほとんどの皆さんと同じように、大学1年生の時に第2外国語としてスペイン語を始めたのですが、縁があって大学でスペイン語を教える立場になり、さらに今は近世スペイン史を研究しています。松本先生が紹介してくださったように、僕は現在、兼任講師として働きながら大学院で研究をしています。そのため、学部を出たばかりというか、学生と研究者のちょうど境界地点にいる感じで、まだ学生時代のことを思い出していると話することができますので、他の先生方からは聞くことができないような面白い話、これからの学生生活を過ごす上で役に立つ話

ができればと思っています。

本日の話の流れですが、「文化としてのスペイン語学習—大学4年間スペイン語を続けて—」「異

文化の学び方—スペインを旅して—」「バスクとの出会い—異文化の日常生活の中へ—」、この3つについて話そうと思います。

まず「文化としてのスペイン語学習」では、大学4年間スペイン語をどうやって続けたのか。勉強方法のほか、4年間続けた結果、言語をどのように捉えるようになったのかという、自分の言語観の変化などについて話し、これからスペイン語を続けようか迷っている学生たちの役に立つような話ができたらと思います。

2つ目は「異文化の学び方」。僕は大学2年生の夏に初めてスペインに行き、そこから春休みと夏休みは絶対に1カ月間はスペインを旅しようと決めたのです。旅を繰り返す中で、「次はもっといい旅にしよう」と考えるようになった。そこで僕が考えた異文化理解の方法や旅の仕方などについて、スペインを事例に話します。

3つ目は「バスクとの出会い」。僕はスペインの中でもバスク地方について研究をしているのですが、かなり閉鎖的なバスク社会を知るのが最初はとても難しく、そこにどうやって入っていったのか、また、なぜバスクを研究対象に選ぶことになったのかについても話そうと思います。

文化としてのスペイン語学習—大学4年間スペイン語を続けて—

土肥野 本日はスペイン語の講演会ですので、まずは僕が大学4年間でスペイン語をどうやって学んだのかについて話したいと思います。スペイン語ではなくても、母語と異なる言語を文化として学ぶとき……僕は小・中・高の英語教育で英語圏の文化を学べたとは全く思っていません。文化から切り離された英語教育だと思っているのですが、それとは異なる形で言語を勉強していくとどういったことが分かってくるのか。言語には、社会や文化や歴史を理解するための手助けとなる、多くの情報が潜んでいるということに気付けるようになっていく。そういうことについてお話しできたらと思います。

僕のスペイン語との出会いは、本当に適当でした。大学入学が決まり、第2外国語を選択する際に、親から「入門スペイン語」のような本を手渡されたのです。父は、スペイン語を話せるわけではないのですが、コロンビアやチリやアルゼンチンに出張に行ったことがあったので、スペイン語の本がたまたま家に1冊あったのです。僕はあまり深く考えることもなく「スペイン語でいいや」と第2外国語を選びました。ですから、きっかけは本当に特に何も考えず、でした。

大学1年生の時は週3コマが必修でした。皆さんは2コマかもしれませんが、僕の時代は1コマ多かったのです。さらに大学2年生までスペイン語は必修と言われていました。2年間の必修科目ですから、これは絶対に単位を落とすわけにはいかないということで、やらざるを得なかったという状況もありました。スペイン語検定や『スペイン語力養成ドリル』などの参考書を使い、仕方なくスペイン語を勉強していた面はあるのですが、いざ授業を受けてみると、僕のスペイン語の先生はスペイン文学の専門家でしたので、多くのスペイン文化や文学の話を知っていて、高校時代の英語の授業とは全く異なる新鮮な印象があり、少しずつ惹かれていった思い出があります。

先ほどご紹介した参考書以外に、僕は『耳が喜ぶスペイン語』という本を使ってスペイン語を音読

しました。この本にはスペイン語の文が書かれており、著者であるフリオさんの音声を聞きながら自分も繰り返す。なるべくスペイン人と同じ速度、リズムで言えるまで繰り返すという勉強法でした。50種類ほどの文章を、正の字でカウントしながら、各50～100回くらい音読していました。すると、スペイン語の先生が「どうやってスペイン語を勉強しているの?」と聞いてきて、その時に「著者のフリオは私と一緒にラジオをやっている人だよ」と教えてくれたのです。僕がその本を使って勉強している様子を、先生が写真に撮ってフリオさんに見せたところ、ご本人も喜んでくださって、「僕の本を気に入ってくれてありがとう、がんばれ」というようなメッセージをいただきました。フリオさんに直接会ったことはないのですが、大学1年生なのに著者の先生からそんなメッセージをもらえるなんて信じられないと感動した覚えがあります。

次に大学2年生の時の話です。1年次に文法を全部習ったので……スペイン語学科でもないのに、1年間で文法をすべて教わったのです。そして、2年次にスペイン語の長文読解という必修の授業が始まりました。この授業でどんなことを学んだかということ、スペインには「1927年の世代」というものがあります。スペインが中南米などの植民地を完全に失うのがキューバ戦争後の1898年で、そのあとスペインのアイデンティティの危機が起こったりしてスペインがどんどん落ち込む中で、1898年から文化活動を通してスペインとは何かを考え、盛り上げていこうという運動が始まるんですね。僕が大学2年次に受けた授業は「1927年の世代」と呼ばれる人たちの一人で、詩人で劇作家のフェデリコ・ガルシア・ロルカの人生を読む、というものでした。僕は文学部でしたが文学なんて全然読んだことがなく、はじめは授業内容にあまり興味がなかったのですが、読み進めるにつれて、だんだん面白いなあと思い始めました。

イギリスのカレッジを模範として、エリート層の養成のために、1919年にマドリードに設立された学生寮で、若いロルカは学びます。そこでは定期的に著名人による講演会や優れた音楽家によるコンサートなど、さまざまな文化活動が行われ、スペインの優秀な若手の知識人や文化人が多数輩出されます。スペインの文化史を研究する上では絶対に押さえておかななくてはならない学生寮です。ロルカは「ラ・バラカ」という学生劇団を作って監督になり、演劇を通して……当時のスペインは、ヨーロッパの中でも教育が行き届いておらず、識字率もとても低かったのですが、ロルカは教育が届いていない民衆たちの教化を目的に、スペイン各地の村を巡回して劇を見せていくということをしたのです。古典的なスペイン演劇の改革を行うとともに、教育家という面もあったわけですね。僕はこういうストーリーを読みながら、徐々に、スペインのいろいろな地を回ってみたいと思うようになりました。そして2年次の夏に初めてスペインに行くことになりました。

初めて訪れたのはサラマンカという町で、語学学校に3週間通いました。きっかけは先生に「行ってみたらどうですか?」と言われたからです。そう言われなかったら、もしかしたら行っていなかったかもしれない、そのくらい行動力のない学生でした。今はその時の先生の言葉に感謝しています。語学学校で何を学んだのかということ、スペイン語は全く話せるようにはなりませんでしたが、語学学校ではずっと「Abre la boca (口を開けて!)」と言い続けられました。自分では口を開けて話しているつもりだったので、「開けています」と言っていたのですが、スペイン人からすると全く開

けていなかったようで、その時に「言語はスポーツっぽい」と感じたんですね。どの言語を話すかによって、筋肉や体の使い方が全く異なるのだということに、そこで初めて気付きました。まあ当たり前のことではあるのですが、その時までには重要なことだという意識が全くありませんでした。結局、この3週間でスペイン語はあまり勉強できなかったものの、「口を開ける」というただそれだけを学んで、もう語学学校に行く必要はないと、なんだか思ってしまったのです。料金も高いですし。口を開けることを学んで、早口になったり、表情が豊かになったりしたなと感じています。



サラマンカの語学学校にて、左からトルコ人、先生、ベルギー人、中国人と私

大学3年生の時には、せっかくスペイン語をやっているのだから、違う国へ行って別のスペイン語にも触れてみようと考えました。ヨーロッパだけではなく中南米にも行っておかなければいけないと思い、パラグアイに行くことにしました。どうやって行こうかと考えた時、たまたま別の大学に、国際協力でパラグアイに行く団体があったので、連絡を取って頭を下げて「一緒に行かせていただけませんか」と。スペイン語の通訳などのお手伝いはします、という条件で同行させてもらうことになりました。そこでは、道直しや道づくりなどの道普請や学校建設、社会調査にも一緒に参加し、初めてプロの社会調査やフィールドワークを体験しました。ここで、やっぱりパラグアイのスペイン語が全然分からなかったのです。こうも違うのかと思いました。説明すると長くなりますので、今はパラグアイのスペイン語については話しませんが、グアラニー語という少数言葉も話されていて、その言語を話す人たちの家にホームステイさせてもらい、少数民族の少数言語に初めて触れた大学3年生でした。



パラグアイで国際協力。土を集めて土嚢袋に入れて敷き詰めて道を直す

大学3年生から4年生くらいには、スペイン語が身に付いてきて、別の言語を学習する余裕が生まれてきました。先ほどのようにグアラニー語に触れたり、パラグアイに行く前にブラジルに一人で寄ってポルトガル語に触れたりしたことで、別の言語への興味が生まれました。旅については後ほど詳しく話しますが、さまざまな場所を旅して各地の言語や方言を学んでいく中で、最終的には、多くの人と簡単に打ち解けるためには言語が重要だったのだと気付くわけですね。本当に当たり前のことなの

ですが、言語は旅をする際に必要な人間関係を築くのを容易にしてくれる、その国や地域に対する自分の興味や愛情を示すために重要な役割を果たすものだと感じるようになりました。

僕は、ひとつの地域にとどまって言語を勉強したわけではないので、いろんな地域の寄せ集めのようなスペイン語やバスク語を話すのです。でも、今思うとそれでよかったような気がしますし、それが21世紀のグローバル化を体現しているような気もしています。話を通じるのであれば、特定の地域のスペイン語を喋らなければいけないということはないと思いますし、日本語なまりを完全に切り除けなくても、別に気にしなくてもいいかと、社会言語学に関する本を読むうちに考えるようになりました。皆さんも旅をすると、いろいろな人にいろいろな言葉を教わるはず。そして自分がその単語を使うとき、「あ、あの人が教えてくれた単語だ」とか、「あそこで学んだ単語だ」と思い出さずでしょう。そんな思い出が詰まった自分だけの言語を見つけてみてください。

そう感じるようになった事例をひとつ紹介します。バスクにある歴史博物館の入場券を買った時、もちろん僕はバスク語で話すわけですね。すると入場券を売っている人が食いついてきて、「なぜバスク語を喋るの?」「なぜバスク語を勉強しているの?」と聞かれました。僕が「マドリードに住み、マドリードの大学院で勉強している」と言うと、「マドリードには日本の建築を研究しているバスク人の友人がいるから、会ってバスク語を勉強してみたら?」と。言語交換をしてみたらということで、その友人の連絡先を教えてくださいました。その人によると、僕のバスク語は都会では使われていない、農村のバスク語だったらいいのです。本物のバスク語っぽいと言われたのです。都会で話されているバスク語というのは、後ほど述べますが、人工的というか、バスク語を教えるために生み出された共通のバスク語であって、比較的新しい言語です。僕がその共通バスク語ではなく、農村で話されている本物に近いバスク語を話していたので、それだけで現地の人には「この人はバスクの深い部分まで入り込んで勉強している、旅している」とすぐに分かってしまう。そういった経験からも言語は重要だと考えるようになりました。

さて、大学3年次には「原典購読」という授業でスペイン内戦について読み、4年次は卒業論文のため論文や研究書などアカデミックなスペイン語に浸りました。人類学にも興味を持ち、近世スペインの家族史をテーマに、資料に記載した書籍なども読みながら卒業論文を作成しました。

異文化の学び方—スペインを旅して—

土肥野 ここまでは、僕が4年間でどのようにスペイン語を勉強したかについて話しました。ここからは、「異文化の学び方—スペインを旅して—」をテーマに話します。スペインはひとつの国ではありませんが、地理的な多様性があります。研究者の中には「地方」よりも小さい単位である「コマルカ(郡単位)」の重要性を強調して、「スペインは少なくとも400ある」と述べる人もいます。ここでは、スペインの地で僕がどのように土地のものに目を向け、その過程で旅の技術や異文化理解の技術と言えそうなものを自分なりに考えていったのか、についてお伝えしたいと思います。

スペインの各地を回りながらスペインの歴史を学んでいく中で、スペインを国単位ではなく、各地域を細かく見ていく必要性を痛感しました。皆さんも新聞などで見たことがあると思いますが、スベ

インでは独立問題が絶え間なく展開されています。19世紀におけるさまざまな国の国民形成プロセスの研究例とスペインの事例を比較してみると、スペインの場合は国民形成に失敗してしまったのではないかと。国民形成のために必要なメッセージを中央からしっかりと出すことができなかった、もしくは国民形成のために暴力を使ってしまったなどの理由があり、スペインは地域色が強いというか、逆に地域のアイデンティティを生み出すことにつながったのです。



ここでスペインの景観を紹介していきます。スペインの地理的・文化的多様性が強調されることが多いので、皆さんがイメージしやすいように、僕が旅で撮ってきた写真を紹介して、スペインの風景がどれほど地方ごとに違うのかというのを見てもらおうと思います。資料には「スペイン各地をチキテオする」と書きました。スペインの中でも僕が研究しているバスク地方特有の文化で、バルからバルへ、1杯飲んでまた次のバルに移ってはしごしていくことを「チキテオ」と言います。限られた時間でスペインのすべての地方について詳しく説明することはできませんが、チキテオするイメージで、各地方を次々に紹介していこうと思います。

イベリア半島は、形が右手の裏側とよく似ていますので、どこにあるかというのを説明するときに、僕はいつも右手を使って説明しています。では、スペインの地図を5つのグループに分けて説明しますね。まずは一番南のアンダルシア地方。次にバルセロナがあるカタルーニャ地方という、フランス国境に隣接する地中海側のところ。それから真ん中にあるカスティーリャ地方。ガリシア、アストゥリアス地方は北西部。そして、大西洋側のバスク、ナバーラ地方。こちらもフランス国境に隣接しています。この5つのグループをさらっとご紹介します。

まずは南部にある、アフリカに程近いアンダルシア地方。この地域はスペインの中で最後までイスラムが残り続けたエリアなので、その名残が見られます。また、地中海性気候で、オリーブ栽培やぶどう栽培が行われています。なんといっても暑いです。夏は気温が50度に達することもあり、春と秋はほとんどありません。ここではアンダルシア方言というものが話されます。後ほど方言についても話しますね。

次はバルセロナのあるカタルーニャ地方。バルセロナはスペインで最初に産業化が起こった地域です。織物産業ですね。産業化が起こる条件として必要だった資本の蓄積に重要な役割を果たしていたのが、ワインとブランデーの生産に使われるぶどうでした。そのためぶどう栽培が盛んに行われています。また、ローマ時代の遺跡や水道橋などが残されています。カタルーニャ語が話されます。

次はイベリア半島内陸部のカスティーリャ地方。簡単に言うと、茶色っぽくて荒涼とした風景が広

がっています。この地域は、イベリア半島にあったさまざまな王国を統一する際に中心になったエリアで、17世紀までは大きな力と経済力があつたのですが、危機が起こった17世紀以降は衰退しました。そのためモニュメントなどをみるなら17世紀までのものが中心になります。17世紀の危機が起きたことで、スペインの内陸部と、これまで紹介したような周辺部の経済構造の転換が起こります。つまり、危機が起きるまでは内陸部が強大な力を持っていたのですが、産業化が起こったのは周辺部だったのです。この経済構造は現代のスペインでも続いています。カスティーリャ地方のスペイン語が、大まかに言うと標準のスペイン語とされています。

続いて、イベリア半島北西部のガリシア、アストゥリアス地方。ここはカスティーリャ地方と全く違い、雨と緑が多い地方です。17世紀頃にトウモロコシ栽培が導入され人口が急増しました。小土地所有制もあってどんどん外に出て仕事を探しに行かないと生きていけないため、スペインのほかの地域に多くの労働力を供給した地域として知られています。特にガリシア人はスペインのどこにでもいました。あと中南米にも移民したため、中南米におけるスペイン人移民はガリシア人と呼ばれることがあります。

最後はバスク、ナバーラ地方。ガリシア、アストゥリアス地方と同様に、雨が多く緑が多いので「緑のスペイン」と呼ばれます。山岳地域では今でもバスク語が話されています。バスク語の言語系統はまだ不明です。この地域については、あとで詳しく話すので写真のイメージを目に焼き付けておいていただければと思います。

次に、「異文化理解と旅の技術」について話します。1980年代までは、資本主義／自由主義と、社会主義／共産主義のイデオロギー的な対立の時代でしたが、冷戦が終結すると、それまで表面化していなかった文化の違いによる問題が浮き彫りになり、今、世界のいたるところで「文化の政治化」と言える現象が起こっています。外交や経済においても文化を考慮しなければ、文化摩擦が生じてしまう時代にいます。グローバル化が進む現在、異文化理解の重要性が高まっていますが、文化というのは本当に不合理なもので、短期的に理解可能な表層の文化と、長期的に現地の人々に関わることなしには理解することが難しい深層の文化があります。特に後者は現地を訪れて、その地の文化に浸ることなくして理解するのはとても難しいです。せっかく高いお金を払って異国の地を旅するのだったら、なるべく多くの学びがある旅にしたいではないですか。そこで、ここでは大学時代に旅する中で、僕がどのように異文化の人々に混ざって異文化を理解していったかについて話したいと思います。

資料に『『プチ・人類学者』になって『旅の技術』を作り上げる』と書きましたが、僕は第2外国語でたまたまスペイン語を選び、スペインを旅することにしました。もちろん学生時代は貧乏で、何回も旅行できるわけもないので、「次はいつ行けるのだろう」と思いながら帰国するわけですね。ですから、行くなら短期間で多くのことが学べる方法を自分で考えなくてはと思いました。その際、参考にしたのが人類学者と民俗学者です。彼らはいろいろな場所を訪れていろいろなことに気付くことから、人類学者・民俗学者の「目」が欲しいと思ったのです。彼らが残した旅の記録から何か学べることはないかと、僕は彼らが生きた本を探し始めました。その時に参考にした本は多数ありますが、特に紹介したいものを資料に載せました。

『異文化理解』は異文化を理解する上でカギとなるヒントが詰まっている、異文化理解のためのマ

ニュアル本と呼べるもの。『カウンセリングの実際』は、カウンセラーたちがどのように人と接しているか書かれた本です。異文化とは関係ない本ですが、カウンセリングも他者と関わるという点では同じですから、それを職業にしている人たちの体験を読んでみようと思ったわけですね。おそらく異文化コミュニケーション学部でもそういうことを学ぶのではないかと思います。あと、見聞きして記録を残している人もいたので『民俗学の旅』も読みました。著者の宮本常一さんは本当にすごい人です。地球3周分くらい、日本を歩き回り、農村で見聞き調査をしたという話を読んで、僕もバスと電車だけでなく歩いて村を回ることが必要だなと思知らされました。

そして清水透先生の『ラテンアメリカ五〇〇年』は僕のバイブルのひとつです。40年間、メキシコ先住民の一家族を訪問し続けて、メキシコ先住民の生活が近代化していくオーラルヒストリーを描き出しています。リアルな歴史を描いています。この本を読んで、僕もスペインを何度も訪れよう、スペインと一生関わり続けよう決めました。お節介かもしれませんが、『異文化理解』と『ラテンアメリカ五〇〇年』は、スペイン語を学んでいるなら1回は読んでほしいと思います。僕は高校生から大学1年生まで本を読まないで過ごしました。本って威圧感があるというか、慣れていないと近寄りたがたい、手に取るのがまず難しいですよ。図書館や書店に行けばいいだけなのになぜか腰が重くなる。ですから、本を読むのが苦手という気持ちはとてもよく分かります。そもそも個人で黙読するのは近代的な本の読み方であり、それ以前は読める人が読み書きできない大勢に読み聞かせていた。本を読むのが苦手というのは、現代人にとってもそういうものなのだなと、大学1年生の時の僕を振り返ると思うことがあります。

さて、異文化を理解するための核になるような場所がそれぞれの国にあると思います。特に冠婚葬祭は、そこに来ている人を見ることによって、その人たちの社会関係というか親族関係がどのあたりまでか分かったりします。異文化理解のヒントが得られるような場所はその国によって違いますが、スペインではやはり「フィエスタ」かと思います。他の国を研究したい人は、その国ではどこがそういう場になっているのか考えてみてください。

スペインでは一人で旅していても、写真のように、フィエスタに行くと割と受け入れて、混ぜてく



大規模なフィエスタにはスペイン各地から多くの人が訪れる。スペイン各地の情報を集めやすく、その人たちが出身の町の祭りに招待してくれることがあった。スペイン人の「地元愛・地元自慢」は面白い。

れるのですね。結婚する前に行われる「デスペディーダ・デ・ソルテーロ（独身さよならパーティー）」に参加させてもらったこともあります。大規模な祭りになるとスペイン各地から祭り好きが集まるので、そういう人たちと話せたりして、スペイン全土回らなくても、フィエスタの中にスペイン全土が入っているような感覚がありました。フィエスタに行くだけでスペイン各地の情報が手に入ります。「他にどういう祭りに行っているの？」と質問すると、「次はいつ行われるこの祭りに行くから君も来るか？」と誘ってくれたり、その人の地元の祭りに招待してくれることもありました。スペイン人の地元愛や地元自慢はとても面白いのですが、それが外国人を地元の祭りに誘ってくれることに関係しているのかもしれませんが。フィエスタってふざけているように見えるのですが、意外とそこにいる人々と話してみると真面目なテーマが出てくることも多いです。フェミニズムや政治についても話せますし、意外と学びが多い場所です。

次はバルについて。バルは現地の人々の日常の中心です。僕は、都市だとなかなか難しいかもしれませんが、小さな町でバルの性格を分析することがあります。位置がどこにあるか……町の入口なのか、学校の近くなのか。営業時間は朝早いのか、昼に開けて夜遅くまでやっているのか。若者向けなのか、オーナーや従業員は移民なのか現地の人なのか。従業員やオーナーの友人が集まっている場合もあるので客層も見ます。そのほか、政治的なイデオロギーと関係しているか、バスク語が話される環境か、どんな新聞を置いているか、テレビがあるか、サッカーを見るために人々が集まる場所なのかなど、いろいろチェックします。気に入ったバルがあれば常連になります。常連になると、1度訪れただけでは起こらない、いいことも起こるわけですね。

例えばビルバオ・ラ・ビエハというところにあるバル「チョンドラ」は、オーナーは新バスク人、つまり母語がバスク語ではなく、ある程度大人になってからバスク語を勉強して話せるようになった人です。このオーナーと仲良くなって、普段はバスクの音楽を流している店ではないのですが、僕が行くと「君はバスク語を勉強しなさい」とわざわざバスク語の音楽に替えてくれたりするので。そうしてバスク語の勉強を手伝ってくれたり、常連の人にも知り合いができてさまざまな情報が得られたりします。「そんなにバスクについて知りたいなら、僕が住んでいる村はバスクの中のバスクだから一度おいで」と誘われたこともあります。どういうところに連れていかれたかは後ほど話します。バルではいろいろなことが起きます。

また、その土地のものを知っていると、その地でコミュニケーションをとるときに役に立ちます。自分がその土地に興味があることを示せますから。ただ、その土地のことを調べる際に、その土地の何を知ったらいいのか、何を見たらいいのか分からないときがあると思います。そういうときは民族博物館に行くのもいいと思いますし、図書館や書店や大学に行くのもおすすめです。地元の大学なら重要な本が揃っているので歴史コーナーを見てみるとか、書店で地元文化のコーナーの本を数冊眺めると、その街で知っておくべきヒントというか、例えば祭りがいつあるかが分かったりします。

ここで、フィールドをスペインにしてよかったと感じたことをいくつか紹介しておきましょう。まずはスペインの物価です。ヨーロッパの中では低いほうで、それでなければ学生時代に何度もスペインに行けなかったと思います。治安もそれほど悪くありません。最悪でもスリくらいですから、少し

冒険らしいことをしても大丈夫。それに、イスラムの影響かもしれませんが、ヨーロッパの中ではアジア人差別が比較的少ないです。あと、時間にゆとりがあるので、僕のような外国人でも相手にしてくれます。スペインだけを訪れていたら分からないかもしれませんが、他の地域でフィールドワークしている人の体験記を読むと、全く相手にしてくれずアポを取るのも難しいという話もあり、スペインにしてよかったと思いますね。相手にしてくれるというのは、スペイン語を話す機会が多く、さまざまな情報をもらえるということです。他の地域と比べると相対的に学びが多い場所と言えるかもしれません。また、スペインは友達思いの人が多いです。適当なことも多いですが、ただ、幸せに生きるということについては、スペイン人はかなり真面目です。僕はたまたまスペインをフィールドにしたのですが、こうしたことを理由に、スペインでよかったと思っています。

次に、スペインの諸言語と方言について話します。言語や方言は、現地の人々のアイデンティティと関係しています。「内の者」と「外の者」を分ける指標になるのですね。言語は旅をする上で必要となる人間関係を築くのを容易にします。先ほども言いましたが、自分が抱えている、その国や地域に対する興味や愛を示すために、言語は重要な役割を果たします。

例えば、僕は言語学者ではなく歴史を研究しているのですが、現地の人々と話すとき、人々は僕に歴史に関することよりも言語についていろいろと聞いてきます。言語がなければ会話はできないので、現地の人々は僕がどういう外国人なのかということについて、言語を頼りに判断していくわけですね。だから言語は本当に重要だと思います。すでにお話ししたように、スペインの地理的多様性は言語にも反映されており、スペインには公用語や方言が多々あります。方言の見つけ方は、旅をするときにバルで耳にすることもあれば、街角の広告や地元の新聞や雑誌を読んで何か違うなと気付くこともありますし、バルの名前に地元の言葉が使われていてヒントになったり、民族博物館も方言で書かれていたりもします。これに気付いた時に書店で方言について書かれた本を買い、それを読みながら旅してみる。するとバルで質問するネタにもなるのです。一応、本で読んだことを、現地の人々が本当にそう思っているかも確認しなきゃいけませんからね。僕はそうしていろいろな雑誌や本を読みながらスペインを旅していたのです。

バスクやカタルーニャ、ガリシアはそれぞれ公用語があるので、辞書を買って勉強しながら旅をして、バルで使ったりしました。カナリアを旅した時は、カナリアには特有の言語やアイデンティティ、独立運動があることに驚きましたね。カナリアには口笛言語というものがあるので、口笛言語ができる人を探してみました。こちらは口笛言語ができる男の子の動画です。「やあ、元気」「おはよう」「右足をあげて」「こちらこそ、ありがとう」という4つほどの単語を話してくれました。

外国でスペイン人同士集まったり、日本人同士が集まったりということはよくありますが、スペインでは、国内の別の都市に同郷人の文化センターを作ります。これがまた面白い。マドリードにはカナリア諸島出身者用の文化センター、セビリアにはアストゥリアス人の文化センター、ビトリアにもアストゥリアス人やガリシア人の文化センターがあって、これこそさまざまな王国の緩やかな統合体というか、近世スペイン史では複合君主制国家と言われますが、その名残があるように感じます。

僕は実はバスクには住んだことがなく、マドリードに1年住んでいました。当時、バスクに惹か



マドリードの地下鉄でバスク語の新聞を読んでいたら声をかけられ友達になった

があるんですよ。バルも同じ出身地の人が集まる場になっていることがあり、経営者もバスク人。そこに集まる人々と仲良くしながら、マドリードに住んでいるのにバスクの環境があることを楽しんでいました。少しバスクに住んでいるような感覚でしたね。

いろいろなイベントに参加してどんどん言語を使う、ということも意識していました。例えばバスクを周る時は常に辞書を片手に持って、人々が教えてくれる単語を覚えていきました。バスク語は独裁期に禁止され、一度、話者が減ってしまった言語なので、バスク語を盛り上げようという文化活動が実に多く、1週間くらいかけてバスクの町から町へマラソンをしてバトンを渡していくイベントに参加したこともあります。そういった中で知り合った学校の教員をしているバスク人から「うちの生徒は、バスク語は分かるけど、日常的にバスク語を使わない」という悩みを相談され、「君は外国人なのになぜバスク語を勉強しているのかを話してくれ」と頼まれて、小・中学校を訪れて話をしたこともあります。こうした経験を通して、僕はさらに言語や方言の重要性を再確認していきました。



バスクの小中校におけるバスク語によるミニ講演

バスクとの出会い—異文化の日常生活の中へ—

土肥野 スペインの各地を旅して、最終的に僕が研究対象としたのはバスク地方でした。初めてバスクを訪れたのは大学2年生の時ですが、サン・セバスティアンとビルバオという、みんなが行くような2つの都会しか行きませんでした。当時はそれでバスクに行ったと思っていたわけですね。その時はバスク語の知識が乏しく現地の人々と関わることもできませんでしたし、冷たいなあと思って好きになれませんでした。しかし、人類学や社会言語学を勉強していくうちに、バスク語をきちんと話せるようにならなくてはと思ったのです。

4年次に、バスク語を勉強しながら旅をすると決めてバスクに戻ると、以前は見られなかったバスクに出会えました。僕は外国人なので、当然、バスク語はできないと現地の人には思われてしまいます。すると、誰もバスク語を使ってくれないのですよ。バスク語を知っていてもバスク語を使ってくれないという問題、つまりバスク社会の言語的な問題のひとつである「バスク語の不可視化」が起きてしまうのですね。そういう状況の中でどのようにしてバスク語の環境を見つけていくか、作っていくかは、バスク語を勉強するためにとっても重要な問題です。また、僕は歴史を研究していますから、過去を想像しやすい場所をフィールドにしたいと思っていたのですが、スペインの中でバスク地方が、それに適した場所であると考えようになった理由についても話していきたいと思います。

大学4年生の頃に、スペイン語が他の言語と混ざらない程度には身に付いたので、バスク語を勉強し始めました。先ほど述べたように、見えないバスク語を探して試行錯誤しました。バスクだからバスク語を話されているわけではないのです。移民が多く、工場が建っているところは外国人が多いためバスク語はほとんど話されていません。そういうエリアにバスク語を探しに行っても見つかりませんから、バスク語に適したフィールドを探すためには、歴史的な知識もかなり重要になります。

吉田浩美先生が書いているバスク語の参考書を手に取って、自分で文法を勉強して旅に出る。調べたところ、アスコイティアとアスペイティアという場所ではよくバスク語が話されているということが分かり、バスクにあるサン・セバスティアンという町からバスに乗って、そこを目的地にして行きました。バスの運転手が終点だということを教えてくれず、僕しか乗客がいなかったのでおかしいなと思ったのですが、車庫まで着いてしまっ。運転手に「終点はどこですか？」と聞いたら、「過ぎていよ、なぜここにいるんだ？」と言われてしまい、その人の車でアスコイティアまで乗せてもらうというトラブルはあったのですが、無事に目的地に到着しました。

そこでバルに入って、バスク語を使って挨拶したり注文したり、できるだけ喋ってみました。はじめはぎこちないバスク語で間違いもあったので相手にされず、バルにいる人がバスク語を分からなかったりして、無駄に酒やコーヒーを頼んでしまい、結果的に1日に7軒ものバルに入ることになりました。でもバスクにいる間はできる限りバスク語を探そうと頑張りました。

例えば、バスターミナルで、町の中心に出るのはどう行けばいいのかをバスク語で聞く。バスク語で話しかけても、僕がバスク語が分からないと思われたら、すぐスペイン語に切り替えられてしまいます。でも、そこをなんとか、バスク語を勉強しているからバスク語で返してくれと伝えて、親切にバスク語で返してくれた人がいました。この人は「あとで何回も聞きたいから」と言ったら撮影も許

してくれました。

「町の中心に行きたいなら、徒歩なら 20 分くらいかかる。路面電車の線路沿いにずっと行けば着けるよ」と説明してくれました。それから、時間がある時にバスク語を読みたいと考え、行きつけのバルに交渉して不要な新聞を 1 カ月分もらったり、子どもが読まなくなったバスク語の本をもらったり、いろんな人の助けがあってバスク語を勉強しました。

さらに難しかったのは、共通バスク語だけでは駄目だったのです。僕が勉強していたのは共通バスク語でした。バスク語を教えていくための書き言葉は 1960 年代くらいに整備が始まり、共通バスク語はそれよりもあとに生み出されたかなり新しい言語です。ですから、都市やメディア、移民以外は、バスクでは方言を話し続けているのです。現地の人と話すと、もちろん僕の共通バスク語は理解してくれますが、相手の言っていることは全く理解できないという問題が発生します。方言が本当にすごくて、15 分離れた町に行くだけで全然違う方言を話しているのですね。あんなに小さい地域なのに町によって方言が変わるといのは面白いところだなあと思います。どのくらい違うかということ、少し話すだけで僕がどのあたりでバスク語を勉強したのかばれる。僕がどういう人間関係を持っているのかばれる可能性があるくらい、言語が全く違うんです。先ほど、バスクの博物館でチケットを買った時に起きたことについて話しましたが、どれだけバスクの農村のほうまで行って深いところまで見ているかがばれてしまう。特にバスク語を勉強する上では、方言はいろいろなことを相手に知らせるものだなと思いました。

なぜ方言が町によってこんなにも違うのかを考えながらバスクの歴史を勉強していくと、境界をめぐる問題というものがありました。木材や漁業権を巡って、町や地方で境界を巡る問題が絶え間なく起きていたのです。バスクを歩いてみると、モホンと呼ばれる境界の印となる石が数多くあります。こういうものや資料を見ていると、なるほど、と。僕がよく行くレケイティオとその隣のオングロアというふたつの港町は、何かあるたびにからかい合うのですよ。それも歴史的な問題が関係しているのですが、今では笑い話のように町同士でいじり合っているのです。また、移民先での同郷人のネットワーク形成も重要だと思います。何も情報がない移民先で、同じ言語を話す人同士が助け合える重要性があったのでしょうか。バスクの人々はどンドン外に出てネットワークを作っていました。移民という行動があったからこそ方言がさらに重要になったのではないかと考えています。

ここまで、バスク語を勉強する上での困難を話してきましたが、今からご紹介する祭りが、僕のバスク語習得における転換点になりました。「アンツアラック」と呼ばれるものです。「そんなにバスク語を勉強したいなら僕たちの仲間に入れればいい」と言ってくれた人がいました。コアドリージャといって、同じ学校の同じクラスで過ごしたほぼ同世代の人たちが、祭りがあるたびに集まったり、日常的に頻繁に会ったり、お揃いのシャツを作って祭りに参加したりします。僕にもこのシャツをくれました。

コアドリージャのメンバーにはそれぞれあだ名もあります。面白いことに、史料にもバスク人はあだ名で出てきたりします。親が持っているあだ名を子どもが継承することもありますし、僕は暴動を研究しているのですが、暴動に参加したバスク人は「ポカロパ（服が少ない）」というあだ名を付け

られていたりします。服が少なくて貧しいから暴動に参加したのかなと考えることもあります。あだ名をつけるという行為が歴史的に今でも続いているわけです。僕のコアドリージャの中で最も仲の良い人のあだ名は「京都」です。日本の京都。その人は日本に行ったこともなければ、日本に特別な関心があるわけでもないですが、なぜそのあだ名なのでしょう。その人は水を買わずにわざわざ噴水に水を飲みに行ったり、りんご酒も買わずに自分でりんごを採ってきて酒を作ったりするような、環境に気を遣う人です。つまり「京都」というのは、二酸化炭素を削減するなどの取り決めをした国際協定「京都議定書」から来ているのです。僕はその人のことをよく知っていたので笑ってしまいました。バスク人には面白いあだ名を持っている人がたくさんいます。さて、このコアドリージャの中に入ってバスク語や文化を学んだのですが、祭りの様子をお見せします。

映像に出てきた船に乗って「アンツァラック」が行われます。バスクは独立問題などがあり政治捕虜が多く、今でも問題になっています。僕の友人の知り合いや家族も捕虜になっています。バスクの祭りというのは、そういう人々を解放せよと言いながら行われるのです。

こうしたフィエスタには歴史的な流れがあり、さらに現地の人々と話すことで多くの情報が得られます。スペインにおいては異文化理解に重要な場なので、僕はさまざまな祭りに足を運びました。祭りに集まった祭り好きな人に、次はどの祭りに行くのがいいか教えてもらい、祭りを転々と回って、歴史を勉強したりさまざまな方言を学んだりしました。祭りに行くということはチキテオする(バルをはしごする)ということなので、その町のバルの大部分を知ることになったり、一緒に祭りに行った友達の友達をバルで紹介してもらったりと、面白いことが起きます。

大学2年生の時に初めてバスクに行った時は、ビーチがあるサン・セバスティアンとグッゲンハイム美術館があるビルバオという都会しか見なかったのですが、先ほど紹介した民俗学者、宮本常一の本に影響を受けて、大学4年生の時にはバスクを勉強するという目的で農村を歩き回りました。これが農村を歩き回って見た景色です。「カセリオ」と呼ばれるバスクの農家が点々とあります。500年の歴史がある農家も多く残っています。シンボルになるような木や、住民が会議した場所の石の跡も残っています。こういうものも歴史の想像に役立ちますね。話が戻ってしまうのですが、バルが重要な場所だという話をした際に登場した「チョンドラ」というバルで知り合った常連客がディマという村に住んでいて、その人が来いと言ってくれたのでバスに乗って村を訪ねました。その村のバルで、「ベルチョ」という、即興で歌を作って楽しむバスクの文化を生で見ることになります。その時の様子をお見せします。

「ヨコハマ」って聞こえました？ 僕のことを「横浜出身で、名前はヒデというんだ、みんな仲良くしてやってくれ」と即興歌を通して僕を紹介してくれたのです。こ



旅のときには常にバスク語辞書を手に（カバンに入れていません）（笑）

これから僕はベルチョに興味を持ち始めて、この人たちとも長い付き合いになり、バスクの文化を教えてもらいました。ほかに、バスクのすごいところは、考古学の発掘作業に住民が気軽に参加しているところです。僕のような外国人が発掘なんてやっていいのかと思うのですが、ウェルカムで、参加させてくれます。歴史学者というと紙の史料を読んで研究しているイメージがあると思いますが、やはり考古学の成果も重要です。ローマ時代ほど古いものでなくても、17～19世紀のものが見つかったりします。僕は考古学的な発掘にもできるだけ参加したいと思っているのですが、そういう機会をバスクで持つことができました。こうした作業をしながら現地の人と話して多くの情報が手に入りました。

村には「エルミタ」という小礼拝堂が多く点在しているのですが、エルミタを修復する人々がいるという話も聞きました。その人たちとどうやって知り合ったかという、先ほども出てきたバル、「チョンドラ」のオーナーの奥さんがオロスコという村の出身で、「オロスコはきれいだから行ってみたら」とすすめられ、バスに乗り1時間半くらいかけて行きました。オロスコに着いて最初に入ったバルで「何しに来たの？」と聞かれ、「歴史を研究していて、バスクの歴史のある町や村を回っている」と話すと、歴史に詳しい人を紹介してくれました。その人が「エルミタを修復しているから君もやってみたらどうだ」と修復作業に参加させてくれたのです。

僕はそれまでキリスト教や教会というものにあまり興味がなかったのですが、こういう経験を通して興味を持ち始めました。修復作業している町の人々は熱心なキリスト教徒というわけではなく、高校で歴史を教える先生だったり、ガソリンスタンドで働いている地元の住民が、自分の村の歴史的な遺産だからと、時間がある時にやって来て修復作業に参加します。その人たちが、エルミタは面白いぞと、僕を車に乗せてあちこち連れて行ってくれました。40～50という数のエルミタを見てきましたが、本当に面白いです。建築家がエルミタを案内してくれた時は、スペイン語で建築用語を使って説明するので完全に理解できたわけではないのですが、建築家の目も面白いなと思いました。建築家は「見る、あそこは何年後には崩れてしまう」と、すぐ気がきます。僕が見ても問題なさそうなのに、建築家にはそういうことに気付く目を持っている。歴史も一人で研究するだけでは理解できないことがあるのだと痛感しました。



小礼拝堂（エルミタ）の修復作業の風景

在野の郷土史研究家とも知り合いました。農村を回って知り合った人もいれば、文書館で知り合った人もいます。文書館にはだいたい人がいないのですが、たまに在野の歴史研究家、つまり高校や中学で歴史を教えてい

る先生が調べ物に來ています。そういうところで知り合って話を聞くと、歴史のツアーをやっていると言う。その人がガイドする日に僕もツアーに参加し、農家がどうやってりんご酒を作っていたかを教えてもらったり、さらにテーマや歴史に詳しい友人を紹介してもらったりしました。

歴史家と町を歩いて「ここに刃物を研いだ跡があるから、ここには皮なめし職人や靴職人が住んでいたことが分かる」などと教えてもらったこともありました。また、農村を散歩していて出会った人に車に乗せてもらい「チョンドラ」という木炭づくりの場所を見たり、川沿いを歩いている途中で水力を使う鍛冶場や水車、女性たちが洗濯していた場所を見つけたりしました。そういうものを目にしたことで、歴史を研究する上でバスクは過去を想像できる場所なのではないかと思い、研究の地をバスクに移したのです。



靴職人の家にある刃物の跡



木炭づくりの場チョンドラ

最後に、僕からのメッセージはおそらく他の先生も言っていることなのでお節介になるとは思いますが、まずは本を読んで自分のバイブルと言えるような1冊を見つけてください。何度も読み返して自分のモチベーションを上げられるような本です。

それから、教わる姿勢は少し忘れて、自分流の学び方を見つけてみてください。また、建築家の目、人類学者の目のように、研究者の「目」というものがあります。大学で4年間学べば、皆さんもそういった目を少しは持てるようになると思います。そういう目を持てば、遊びの中にも日常の中にも本当に多くの学びがあることに気がきます。

そして、当たり前ですけれども、歴史はどこにでもあります。僕たちの日常の大部分は歴史によって作られています。道はどうやってできているのだろうかなど、そういうことで構わないのでたまに考えてみてください。僕の学生にはいつも伝えていますがけれども、歴史アレルギーはなんとか解消してくださいね。では、これで僕の話は終わりになります。ありがとうございました。

松本(司会) ありがとうございました。盛りだくさんで、消化できないほどの情報をいただきました。少し時間がありますので、土肥野先生にお尋ねしたいことや、ご意見ご感想がありましたら、自由に発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

質問者 なぜバスク語を勉強しようと思ったのですか。

土肥野 特別な理由はないのですが、スペインを真摯に知ろうと思った時、バスク語もなくてはいけないと思ったのです。

松本（司会） ありがとうございます。今回、言葉を学んで人脈が広がって……という話をうかがいました。大学生に今すぐ役に立ちそうな本や、旅の仕方もヒントになったかと思います。学生の皆さんは、同じようなことをする必要はないと思いますけれども、ご自分なりの広がりを見せていただければと思います。

土肥野先生は、スペイン語はそれほどやる気がなかった、サラマンカもそこまで行く気がなかった、と。それがいつもいい方向に広がっていくようになったきっかけは何でしょうか。文学部になぜ進学したのかも伺いたいと思いました。要するに、高校生や大学生になったばかりの頃は受動的な学生だったのですよね。どんなスイッチがあってそれが変わったのか。そのきっかけがあったから、サラマンカやバスクに行って面白くなかったけれどまた行こうと思うような行動力につながったのかな、と思うのですが。

土肥野 大学生の時、授業で重要なことを教えてもらっていても、自分の日常と関係があるようには思えなかったのですね。いろいろな人と関わらないと、自分の問題として考えられないと思っていました。まずは旅をして、多様な問題を自分の目で見たり、移民と出会って話を聞いたりしないといけない。そして自分の言葉や事例として話せるようにならないと、授業で教わったことを納得して受け入れられない。モチベーションをもって大学の授業を受けるためには旅が重要だと考えたというのがありますね。授業を聞いているだけで大丈夫かなと不安になったというか。

松本（司会） 年齢でしょうか？ 真剣にとらえられるようになったのは。

土肥野 大学に入った時は、精神的にも大人ではなかったので、なんでこんなことをやらなきゃいけないのだろうというモヤモヤしたものがありました。スペインや異文化について話す時も、テレビで言われているようなステレオタイプの話は絶対にしたくないという批判的な心もあり、自分の体験を通してスペインを語れるようになりたいという気持ちがあったので、今回嫌いでも次回は好きになれるんじゃないかという感じで、忍耐強さをもって何回もスペインに行きました。

松本（司会） その忍耐強さがどこから降ってわいてきたのか分からないけれども、素晴らしい力になったのですね。

土肥野 おそらく部活でスポーツをやっていたからかなと思います。ハンドボールをやっていました。体育会系で厳しく、毎日ミスするたびにボコボコに言われる環境にあって、土日も自由な時間がとれなかったのですが、大学に入ったら急に解放感があって。それまでは言われたことをやり続けられ

いという日常だったのに、急に環境が変わったことで、自分が変わらなくてはいけないと思ったのか
もしれません。

松本 (司会) アラフォー、アラフィフという年齢になると、だんだんそういう記憶もなくなってしま
うので、学生と年齢の近い方のお話をうかがえたことは貴重な機会でした。実は本日、土肥野先生
のお誕生日でした。お誕生日に講演していただいてありがとうございました。皆さんもキャンパスで
土肥野先生を見かけたらぜひ声をかけてあげてください。

土肥野 僕は大学2年次に初めてスペインに行き、せっかくスペイン語を話すことをやり始めたの
だからその感覚を忘れたくないと考え、大学でスペイン語のネイティブの先生を探して、授業が終わ
るのを待って話しかけるという変わったことをしていました。ですから、皆さん、僕に話しかけてく
れるのは大歓迎です。ぜひ話しましょう。

松本 (司会) それでは、お時間になりましたので、「世界を知ろう！」スペイン語講演会を終了させ
ていただきます。皆さん最後までお聞きいただき、ありがとうございました。

世界を知ろう！～中国語講演会～

華流エンタメは面白いⅡ

日時：2021年11月13日（土）14時00分～15時30分
開催方法：Zoomによるオンライン開催

発表者：大和 真子さん（観光学部交流文化学科2年次）

工藤 夕和さん（現代心理学部心理学科2年次）

中根 瑠南さん（観光学部観光学科1年次）

司会・発表：森平 崇文（外国語教育研究センター教授）

森平(司会) 本日はお休みのところ、視聴していただきありがとうございます。この「世界を知ろう！」のイベントは、ドイツ語、フランス語、スペイン語、朝鮮語、中国語、5つの言語について、皆さんの語学学習の継続を促すことを目的に年1回開催しております。中国語におきましては、昨年度から「華流エンタメは面白い」をテーマとして、すでに中国語を勉強されている立教の先輩の皆さんより、ご自身の興味のある中国圏のエンタメ情報について発表していただくという会を開催しております。本日で2回目になります。本日は4人の方が発表することになっております。はじめに、観光学部の大和さんの発表です。

—華流エンタメ初心者でもハマる— 華流サバ番「創造営 2021」

大和 真子（観光学部交流文化学科）

大和 はじめまして、観光学部交流文化学科2年の大和真子です。中国語の学習歴は1年半くらいです。よろしくお願いします。

私は今回、「—華流エンタメ初心者でもハマる— 華流サバ（サバイバルオーディションの略）番『創造営 2021』」ということで、中国のアイドルオーディション番組「創造営 2021」についてプレゼンさせていただきます。

まず、「創造営 2021」とはどのような番組でしょうか。中国での原題は「創造営 2021」で、日本では“プデュ”と呼ばれる韓国のオーディション番組「PRODUCE101」の中国版リメイクです。中国のIT大手・騰訊（テンセント）が製作を手がけた「創造営」シリーズの4作品目となっています。動画プラットフォームアプリ



大和 真子さん

「腾讯视频」もしくは「WeTV」から無料で視聴することができます。特に WeTV は海外向けアプリなので、日本語字幕付きで視聴可能です。2021 年の 2 月から 4 月にかけて放送され、舞台は中国最南端の海南島。アイドルの男性練習生 90 人が一つの宿舍で共同生活を送りながら、11 人のデビューメンバーの枠を争います。順位は視聴者投票によって決まります。今回の「創造営 2021」が今までのものと大きく違ったのは、国際化をテーマにしていた点です。中国以外に、日本、タイ、ロシア、ウクライナ、アメリカの計 6 か国からも練習生が参加し、「国際男団」という国際ボーイズグループの結成を目指しました。“世界那么大我们一起闯（世界はこんなにも広い、一緒に切り拓こう）”というスローガンのもと、国籍や言語が違う 90 人がチームに分かれ、歌やダンスのパフォーマンス、作品作りに取り組みました。「創造営 2021」の主題歌「我们一起闯（ウォーメンイーチーチュアン）」のセリフの部分は、英語、日本語、タイ語、ロシア語でそれぞれ「僕たちはチームです」と言っています。サビの「バンバンバンバン」というパートも含めてキャッチーで胸に残る主題歌だと思います。2021 年 4 月 24 日、上位 11 人によるグループ「INTO1」が誕生し、現在中国を拠点に活動中です。

次に、「創造営 2021」で注目したポイントについてお話しします。まず一つめは、練習生の創造力に注目している点です。創造営には主題歌の 2 次創作という企画がありました。自由にチームを組み、主題歌「我们一起闯」の編曲、振付などのアレンジをすべてメンバーだけで行い、最終的にはメンバー同士で発表し合います。決められたことをこなすだけではなく、自由に自分たちのオリジナルを作り出す企画であるため、練習生たちのクリエイティブな一面や多彩な才能に触れることができます。これが「創造営 2021」の面白みの一つです。

2 次創作作品の一つである「Elec 创 nic」は「国风」と呼ばれる国風の文化と、電子音楽の融合をテーマにした曲です。編曲、振付、楽器の演奏まですべて練習生だけで行っており、鮮やかな韓服の衣装と華麗な中国舞踊にも注目です。2 次創作の作品はすべて YouTube にも載っています。それぞれのチームの個性が光る作品の数々は必見です。二つ目の注目ポイントは、見事なステージと魅惑の C-POP（Chinese Pops）です。各チームの歌、ダンスなどのパフォーマンスはもちろん、たった一度きりのステージだけのために作られた豪華なセットや、一人一人のために作られた衣装など、すべて非常に見応えのあるステージになっています。公演に使われている楽曲は C-POP が中心で、スライドの表に曲の一部をまとめたように、時代やジャンル、性別を問わず、さまざまな楽曲がよりポップにアレンジされているので聞きやすく、いろいろな C-POP に触れるきっかけになります。また、国際化をテーマとした今作品では、英語、日本語やタイ語の曲も課題曲となったため、中国人メンバーも外国語での歌唱にチャレンジしています。

三つ目は、国籍を超えた温かい交流です。「創造営 2021」の最も大きな特徴は、先ほども触れたように、海外からの練習生を多く迎え入れている点です。国際交流がテーマとなった今作品では、練習生個人よりも、仲間と一緒に努力して勝利を掴む、といったように友情にフォーカスしたつくりになっているのが印象的です。練習生たちは言葉の壁がありながらも、友人として、ライバルとして、チームメイトとして交流をしながら、少しずつお互いを理解し仲を深めていきます。中国人メンバーが海外メンバーに中国語や文化を教え、逆にダンスが得意な日本人メンバーが中国人メンバーを支える場面もあります。出演者の一人である俞更寅（ユウ・ガンイン）は、順位発表のスピーチで番組の魅力をこう語っています。「僕たち『創造営 2021』のすべての人は、エネルギーで、純粹で、

ここではセンターを争うのではなく、ある人はセンターを譲り、ある人は他の人により多くのパートを譲ります。僕にとってはこれがグループの魔法であり、創造営の魅力だと思っています」。このように、サバイバル番組というシビアな環境でありながら、出演者たちは仲が良く、この番組のスローガンである“世界那么大我们一起闯”を体現するように、仲間と励まし合い、思いやり、時には譲り合いながら皆で進んでいく様子が多くとりあげられています。過酷さやしんどさよりも、独特な温かい雰囲気包まれているため、見ていて楽しい気持ちになれる番組です。

以上、「創造営 2021」は独創的で豪華でハイレベル、さらにグローバルで温かい、ストレスフリーな、まったく新しいサバイバルオーディション番組だったと思います。

次に、この番組を通して出会い、今でも応援している、私の推しについて少し紹介します。

一人目は重慶出身、19歳の林墨（リン・モ）です。彼はとにかく歌とダンスなどのパフォーマンスに長けていて、なんでもさらっとこなすオールラウンダーです。内面も、天才肌でアーティストックな一面がありながらお調子者で、他のメンバーから「宇宙人」と例えられるほど奇想天外な発想の持ち主です。ただ、一度ステージの上に立つと観客の目を惹きつけて離さない、まさに“Born for Stage”、ステージのために生まれたと言えるような表現力が本当に魅力的です。今回の番組では見事6位でデビューして「INTO1」のメンバーとなることができました。

二人目は、浙江省出身、18歳の张星特（ジャン・シンタ）です。彼の魅力はなんといっても、その歌声と圧倒的な歌唱力です。疲れた日でも张星特の透き通った美しい歌声を聞くと、癒され、疲れも吹っ飛びます。「ステージの上で歌っている姿を見せる」という亡くなったおじいさんとの約束を果たすため奮闘します。他のメンバーから「うるさい」と怒られるほどやんちゃで無邪気な普段の姿と、その儂い歌声のギャップも魅力的です。デビューは叶いませんでしたが、たくさんのファンを獲得し、現在ソロの歌手として活躍中です。

私はほかにも、今でも応援し続けている推しが5～6人います。創造営の練習生90人の中には、皆さんのハートを射抜く1人がいるはず。推しの話す中国語や曲の歌詞を理解したいという気持ちは、今の中国語勉強の最大のモチベーションとなっています。

最後に、創造営の視聴方法を簡単に紹介します。本編を見るだけであれば、広告付きですが無料で視聴できます。スマホ、タブレットでアプリストアからWeTVアプリをダウンロードしてアカウントを作り、アプリ内で「創造営 2021」と検索するだけです。エピソード1は6時間くらいあり、長くて疲れてしまうので、飛ばしてエピソード2から見ることをおすすめします。広告なしで快適に見たいのであれば、VIP会員になることがおすすめです。支払いやキャンセルも日本のスマホゲームやApple Musicなどのサブスク（サブスクリプションの略）と同じような手順でできます。VIP会員になれば、宿舍や練習室の様子などバックステージを映したサブコンテンツも見られるようになります、楽しみの幅が広がります。

私はこの番組を視聴するまで、華流エンタメに一度も触れたことがなく、中国語の曲や歌も一度も聞いたことがありませんでした。しかしこの番組の視聴をきっかけに、「INTO1」と脱落してしまったメンバーを応援し始めたことで、中国のバラエティ番組やドラマなどを視聴するようになり、普段聞く音楽はもっぱらC-POPになりました。日本語字幕付きで見られるこの番組は、華流エンタメ初心者の方にもおすすめです。ぜひ皆さんも「創造営 2021」を視聴して、90人の青春を味わってみ

てください。ご清聴ありがとうございました。

森平（司会） 大和さん、発表ありがとうございます。とても分かりやすく魅力が伝わってくる発表だったと思います。中国のオーディション番組というのは、2004年ですか、「超級女声」という番組が大ヒットしたことから、毎年のように多くの局でさまざまなタイプのオーディション番組が作られています。ですからすでに17年以上の歴史があるわけです。これを追っていただけても21世紀の中国を論じられるのではないかという大きなテーマですけれども、今年の最新の情報を大和さんに紹介していただきました。

では質疑の時間に入らせていただきます。皆さんが質問を考えている間に、私から大和さんにお伺いしたいと思います。日本人のメンバーもいるということですが、彼らはどういった経緯で番組に参加しているのでしょうか。もともとアイドル活動していた人なのか、中国語を勉強していたのか、そういった細かい情報が気になったので、よかったら教えてください。

大和 もともとは日本のエイベックスで活動していたダンスの世界チャンピオンや、元ジャニーズJr.の人、それから日本版「PRODUCE101」に出ていた人などが参加していました。

森平（司会） では中国語はゼロの状態の人が多かったということなのですか。

大和 そうです。一人だけ、日中ハーフの人が少し中国語ができるくらいで、あとは全員ゼロの状態からスタートしていました。

森平（司会） ありがとうございます。質問が来ていますね。「『創造営 2021』をどのように知りましたか」。

大和 先ほどミュージックビデオを流した「我们一起闯」をたまたまYouTubeで見て、面白そうだなと思って見始めました。

森平（司会） 次の質問です。「大和さんは、以前からこういったアイドル番組に興味があったのか、それとも中国語学習をしながらこの番組やアイドルに興味を持ち始めたのですか？」

大和 もともとは、日本のアイドルではどちらかというと女性グループのほうが好きで、ジャニーズなどにはまったことがなく、日本版の「Produce 101 JAPAN」を春休みあたりに見て、その番組の合格者で結成された「JO1」を知っている程度です。男性アイドルを応援し始めたのはこれがきっかけです。

森平（司会） ありがとうございます。「初心者にもおすすめのC-POPがあったら教えてください」。

大和 おすすめの C-POP は、この番組がきっかけで知った Eric Chou (周兴哲) のラブソングです。聞きやすくおすすめです。

森平 (司会) それにしても、この番組に韓国の人に参加していないというのはすごく面白い現象ですね。理由はあるのですか？

大和 やはり国際情勢があって、韓国語の歌を歌うことが禁止だったりもしました。韓国の曲の日本語版を歌うのは大丈夫だったのですが、韓国語の曲はダメという決まりがあり、その関係で韓国人の参加はなかったのかなと思います。

森平 (司会) 中国も韓国のアイドル達をライバル視しているのでしょうか。大和さん、ありがとうございました。

韓国だけじゃない？中国コスメの魅力—小红书でみる中国化粧—

工藤 夕和 (現代心理学部心理学科)

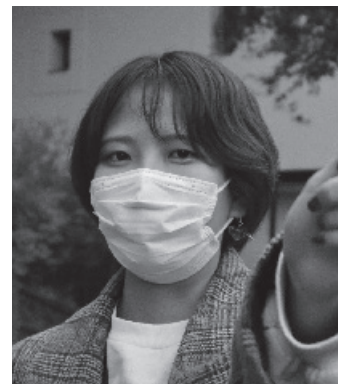
森平 (司会) 続きまして、現代心理学部の工藤さんから発表していただきます。発表内容はコスメのお話となっています。では工藤さん、簡単な挨拶からお願いします。

工藤 こんにちは。現代心理学部心理学科の工藤夕和です。私はアイドルやドラマは全く知らないのですが、コスメなどが好きなので、それをお伝えできたらと思います。

今日は「韓国だけじゃない？中国コスメの魅力—小红书でみる中国化粧—」の話をしていきたいと思います。まず本日のラインナップですが、「小红书について」「中華メイクの特徴について」「おすすめの中国コスメについて」をお話します。

小红书 (日本語：小紅書) とは、RED という別名もあります。一言でいうと中国版のインスタグラムです。中国ではツイッターの代わりに「微博」だったり、ラインの代わりに「微信」だったり、独自のものを使っているイメージがありますよね。小红书では、インスタグラム同様、ファッション、コスメ、美容、映画、メディア、グルメ情報などなど、生活に関する多くの情報を得ることができます。インスタグラムと少し違うのは、掲載されている商品をそのまま購入できるという点です。インスタグラムに Amazon の機能が付いた、少し画期的なものになっています。そのため PR などに多く活用されています。影響力のある人のことをインフルエンサーと呼びますが、中国人美女のインフルエンサーは网红と呼ばれます。本当にきれいで眼福な方が多いです。

次に中華メイクの特徴についてです。中華メイクはチャイボーグメイクとも呼ばれます。中国の「チャイナ」と「サイボーグ」を合わせた造語で、人間離れした美しさを表しています。中華メイク



工藤 夕和さん

と聞くと、赤色をふんだんに使ったゴージャスなイメージがあるかもしれませんが、トレンドによってどんどん進化しています。眉毛はふんわり書くというよりも自前を生かして強めに書きます。アイラインもはっきり書きます。そしてお肌はツヤ肌ではなくマット肌にすることが多いです。肌にツヤを仕込まない代わりに、ラメをおいてキラキラにさせます。チークは血色感が出るように鼻先にも入れます。ハイライトはキラキラしていて、鼻先と鼻の付け根、そして目頭にもしっかりおきます。シェーディングはしっかり入れる人が多いようです。

次に、おすすめ中国コスメブランドについてです。一番有名なのは ZEESEA（ズーシー）だと思うのですが、今回は割愛させていただきました。花西子（florasis：ファーシーズ）、Flower Knows（フラワーノーズ）、Joocyee（ジューシー）、CHIOTURE（チオチュア）についてご紹介していきます。

まず、花西子についてです。花西子は 2017 年に生まれた、中国の自然派コスメブランドです。「花で美しくなる」をコンセプトとしていて、中国のデパコス（デパートコスメの略）的位置にあります。中国のものは日本のものに比べて、品質が悪くて肌が荒れるのではと考える人もいると思うのですが、花西子のコスメは天然由来の成分で構成されています。フラワーエッセンスと漢方の成分が入っているため、お肌に優しいとされています。中国古来からの伝統を取り入れ、細部まで見事な彫刻がとてきれいです。上品で高級感あるデザインが人気です。百花シリーズの同心錠リップは、恋の縁起物として有名な同心錠をモチーフにしています。本物の錠の職人さんが作っているらしいです。末長く付き合えるパートナーと出会うように、という思いが込められています。百鳥朝鳳アイシャドウパレットは、9 色のアイシャドウパレットとなっていて、表面に細かい彫刻が施されています。一回使ったら崩れてしまうと思うと悲しいのですが、儂さがありますよね。粉が非常に細かいのが特徴で、アイシャドウだけでなく、チークやシェーディング、ハイライトにも使うことができます。このアイシャドウパレットを使った小红书の動画を見ていただくと本当にインスタグラムと変わらないですよ。小红书は、再生速度を 0.5 倍にしたり 2 倍にしたり、調節できるので便利です。

次に Flower Knows です。2016 年に生まれた、「かわいい」をコンセプトにしたファッションメイクブランドです。ゆめかわいい・乙女・ロマンチックをモチーフとしたたくさんのシリーズが話題です。

ユニコーンシリーズのデザインは、セーラームーンやカードキャプターさくらなどが好きな方は分かると思うのですが、女子の本能をくすぐられるような可愛さがあります。IZ*ONE のメンバーとして有名な宮脇咲良さんをブランド大使として起用しています。公式の写真やポスターが本当にかわいいので、よかったら見てみてください。Flower Knows の LoveBear シリーズは、アイシャドウ、リップ、シェーディング、チークがあって、どれもお菓子とレトロなテディベアをモチーフとしています。ほんのリチョコレートの香りがします。リトルエンジェルシリーズは誰が見てもかわいいパケ（パッケージの略）になっています。ホワイトエンジェルとブラックエンジェルがあり、「パケがかわいすぎる」と、ユニコーンシリーズとともに話題になりました。「天使のため息」や「守護天使」など、商品の名前もかわいいです。

次に Joocyee についてです。Joocyee は 2020 年に生まれた中国最新コスメブランドです。シリーズごとのコンセプトに凝っていて、統一性のあるデザインが大変人気です。写真は貝殻シリーズ

ですが、他にも琥珀シリーズなどがあります。紐付きの封筒のような箱に商品が入っていて、とてもかわいいです。

次にCHIOTURE についてです。CHIOTURE は上海で生まれて、2021年の7月に日本に上陸しました。肉球チークがSNSでバズっていたので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。「少女のような純真さ」や「個性を際立たせる」がコンセプトとなっています。中国国内でも大人気のブランドです。ゲーム機がモチーフになっているアイシャドウパレットは、ケースの表面がレゴブロックのようになっていますが、自分でカスタマイズすることができます。

中国ではありませんが、台湾コスメについてもご紹介します。これはheme（ヒーミー）というブランドで、台湾生まれのジェンダーレスコスメブランドとなっています。「彼」という意味のheと、「私」という意味のmeがくっついてこの名前になっています。落ち着いた色で誰にでも使いやすいブランドだと思います。6色パレットは、私が台湾に行ったときに買ったのですが、お気に入り毎日使っています。価格も安いのでおすすめです。マットが3色、シマーが2色、キラキラのラメが1色入っていて、とても使いやすいです。最近バズっていて、日本でもPLAZA やロフトなどで買うことができます。

いかがでしょうか。中国コスメは、見て楽しい、使って楽しい、という魅力にあふれています。小红书を使って中国語とメイクの勉強をしたり、中国のトレンドを追いかけてたりしてみたいでしょうか。自分へのご褒美や友達へのプレゼントなど、いろいろ探してみてください。少しでも参考になりましたら幸いです。ご清聴ありがとうございました。

森平（司会） 工藤さんの発表でした。ありがとうございます。皆さんが質問を考えている間に少し話をさせていただきますけれども、化粧というアジアでは韓国というふうになりましたし、日本の資生堂が中国でよく売れているという話があって、実際に私も中国の友人のために化粧水を買っていったことがあったのですが、もうそんな時代ではないのですね。2015年くらいから中国のコスメというものがこんなに出回っているんだということが、よく分かりました。情報をどんどん更新していかないと遅れてしまうということを感じた発表でした。それでは工藤さん、チャットのほうに質問が来ていますので、答えられるところからお願いします。「中国コスメは日本でも手に入りますか。」

工藤 はい。中国コスメはドン・キホーテにも売っていて、Amazon など通販サイトで手に入れることもできます。

森平（司会） そういう時代なのですね。私たちは中国の化粧品は全く眼中になくて、日本のものや韓国のものが中国で喜ばれるというふうに認識していたのですけれどね。質問です。「台湾のコスメの状況について教えてください。」

工藤 はい。中国コスメのブランドも多いのですが、「キャンメイク」などの日本のコスメでメイクしている人や、あとはシャネルなどのデパコスでメイクしている人もいます。

森平 (司会) RED (小红书) はいろんな使い方があってと思います。私の知り合いは、日本に住んでいる方ですけども、上海の外灘 (バンド) を行き交う人たちのファッションを見たいということで、ひたすら外灘のおしゃれな場所を歩く人だけを撮った動画を RED で見ていらっやいます。工藤さん、ありがとうございました。

五月天 (MAYDAY) と T-POP ~華流エンタメへの扉~

中根 瑠南 (観光学部観光学科)



中根 瑠南さん

森平 (司会) 続きまして、観光学部の中根さんに、今度は台湾の音楽 T-POP (Tai-Pop、台湾ポップ) についてご紹介いただこうと思います。中根さん、お願いします。

中根 こんにちは。観光学部観光学科の中根瑠南です。私は高校生の時に台湾に1年間留学していたので、その時に会ったアーティストたちをご紹介したいと思います。

今日は皆さんに、台湾の代表的なロックバンド「五月天 (Mayday)」を紹介します。

皆さんは台湾のアーティストと聞いて誰を思い浮かべますか？

私が最初にハマった台湾のアーティストは五月天でした。五月天は Mayday とも呼ばれています。メンバーの一人であるマサがネット上で使用していたハンドルネームをそのままバンド名に使用したそうです。彼らは中華圏におけるバンドの開拓者であり、アジアのスーパーバンドとも称されています。デビューして間もない頃は、台湾語による楽曲を多く輩出していました。そして世界で人気が出るにつれて、北京語での曲も作るようになりました。2012年の北京公演では20万人のチケットが即日完売するほどの人気ぶり。さらに日本では Mayday の代表曲や flumpool とのコラボ曲が詰まった『Mayday × 五月天 the best of 1999-2013』という日本版ベストアルバムも発売されています。

そんな世界で人気を誇る Mayday は、いつ結成されたのでしょうか。それは今から24年前の1997年まで遡ります。当時、師範大学附属中学という、日本でいう高校に通っていた、アシン、モンスター、そして当時のドラマーらの夢から始まりました。Mayday のこれまでの歴史は『どこでもドア』という曲に凝縮されています。曲中では「苗栗の子」「船乗りの子」「高雄の後輩」など、メンバーを表す歌詞や、「行天宮の裏」や「士林の外れ」のように、現在観光スポットになっている地名も登場します。また、彼らの思い出深い台湾の地名が歌詞の中に多く出てくるため、聖地巡礼のしおりにもなっています。

では、メンバーを紹介したいと思います。Mayday のリーダーでギター担当のモンスター。彼は周りが驚くほどの酒豪で有名です。ボーカルのアシンはグループの作詞作曲をしているだけでなく、ファッションブランドを立ち上げたり、本を出版したりと、多岐にわたって活動しています。ベースのマサ。彼は毒舌キャラで知られており、よくメンバーをいじっています。ドラム担当のミン。彼は

グループで一番の愛されキャラであり、よくメンバーからいじられています。そして最後にギター担当のストーン。彼は家族思いの優しいパパで、なんとコンサート中にプロポーズをしました。

このように5人で和気あいあいと活動を続ける Mayday は、日本とも交流があります。Mayday を最初に日本で紹介したのは、ビジュアル系ロックバンドで知られる GLAY でした。2001 年に行われた GLAY のコンサートに Mayday が出演しました。2011 年には flumpool と交流を開始しました。flumpool と Mayday のつながりはとても深く、家族ぐるみの付き合いで、互いのコンサートにもよく出演しています。さらにコラボ曲なども手がけています。その後、佐藤健さん主演のドラマ『ビター・ブラッド』の主題歌に抜擢されました。Mayday は日本でのコンサートも行っています。最近では 2019 年に大阪でコンサートが行われました。私も初めて彼らのコンサートに行きました。会場にはたくさんの方がいて、日本語だけでなく中国語もたくさん飛び交っていました。私はコンサート会場で、台湾から来ていた台湾人女性と交流しました。Mayday のコンサートには、中国や台湾など近隣諸国から来ている人がたくさんいたので、実際に中国語を聞いたり話したりする機会がたくさんあります。日本で行われたコンサートには翻訳が画面に映るので、中国語がわからなくても楽しむことができます。現在はコロナで日本公演を行うことは難しいのですが、もし彼らが日本に来た時にはぜひ行ってみてください。また、台湾や中国などでもコンサートを行っているので、旅行に行った際に彼らのコンサートに足を運んでみるのもおすすめです。

去年、彼らは台湾の台北市立体育館を貸し切って、ネット上で無料配信のコンサートを世界に向けて行いました。日本語字幕も付いています。全編は YouTube で見るできるので、興味のある方はぜひご覧ください。他にも、私がよく聞く台湾のアーティストを簡単にご紹介したいと思います。まず、「相信音楽」という、台湾を拠点にするレコーディング会社です。この会社名を YouTube で検索すると、所属している歌手の曲を聞くことができます。Mayday はもちろん、家家という歌手の「家家酒」なども有名です。Jay Chou (周杰倫) は若者を中心に中華圏で絶大な人気があり、恋愛の曲が豊富です。彼は歌手活動だけでなく、俳優や監督としても活躍しています。中国語と英語交じりのラップをカッコよく歌い上げる Nickthereal (周湯豪) は、台湾ドラマの「飛魚高校生」で使用された「帥到分手」が耳に残ります。努力家で知られる Jolin Tsai (蔡依林) は、日本の歌姫で台湾でも絶大な人気を誇る安室奈美恵さんとのコラボ曲を作っています。彼女はもともとダンスや歌が得意ではなかったそうです。しかし努力を重ね、台湾の歌姫へと変わりました。このことは台湾人の間でも知られており、努力家だと尊敬されています。最後に音楽番組の「Jungle voice」です。台湾アーティストによる歌手発掘番組で、こちらも YouTube で視聴可能です。審査員には台湾原住民出身の Jam Hsiao (蕭敬騰) が出演しています。同じ台湾原住民のプユマ族出身の歌手である林孟辰がプユマ語を交えて歌い上げる回など、ぜひ YouTube などでご覧いただけたらと思います。

その他、台湾のアーティストと曲を書いておきました。北京語だけでなく台湾語で歌われている曲もあるので、ぜひ聞いてみてください。台湾語の中には日本語の単語もあるので、よく聞いて探してみてください。T-POP は心に響く曲から、かっこいい中国語ラップまで幅広く揃っています。あなたにとってお気に入りの 1 曲が見つかりますように。ご清聴ありがとうございました。

森平 (司会) 中根さん、発表ありがとうございました。皆さんが知っているアーティストもいたでしょ

うし、今回初めて聞くというアーティストもいたと思います。先ほど大和さんが紹介してくださった番組もそうですし、今回の「Jungle vioce」もそうですけれども、本当に元気ですよ。日本のテレビ番組に比べると華やかですごく元気だなと、いつも中国系の番組を見ていると感じるところです。では質問を受け付けます。皆さんが質問を考えている間に、私から中根さんにお聞きしますけれども、2019年の五月天の大阪のコンサートでは、来場したお客さんは日本人と中国系の方でどのくらいの割合なのでしょう。やはり中国系の方のほうが多かったですか。

中根 そうですね。五月天の方たちは中国語でトークすることが多く、質問を投げかけると反応がすぐに返ってくるので、五月天も「あれ、もしかして今回は日本人よりも海外の方のほうが多い？」という様子でした。

森平（司会） ありがとうございます。「中根さんは T-POP が C-POP の括りにされることに抵抗はありますか。」という質問が来ています。いかがでしょうか。

中根 抵抗……そうですね、私自身としてはそれほど抵抗はありません。今回発表をするにあたって、私は C-POP の括りに入ると思っていたのですけれども、先生に T-POP という言葉を教えていただいたという感じです。

それから、個人的な感想としては、中国大陸で使われる中国語よりも、台湾で使われる中国語のほうが、日本人にとっては聞きやすいのかなという感想があります。使われている漢字も、簡体字ではなく繁体字なので、歌詞を字で見ながら想像できるかなと。

森平（司会） 中根さん、ありがとうございました。

現代中国の女性芸人 趙麗蓉から李雪琴まで

森平 崇文（外国語教育研究センター）

森平 私は3人の皆さまとかぶらないように、お笑いについてお話をさせていただきます。

立教大学外国語教育研究センターの森平崇文です。私は「現代中国の女性芸人 趙麗蓉から李雪琴まで」というテーマで発表させていただきます。

概要を説明いたします。1980年代から現在までの中国の女性芸人の特徴と現状を、5人の女性芸人の経歴と作品を中心に紹介をしていきたいと思っております。皆さんは中国の女性芸人と聞いて、誰を、あるいは何をイメージするのでしょうか。なんのイメージもない、という方が多いのではないかと思います。この発表を通じて、こんな面白い女性芸人がいるのだということを知っていただければと思います。では「女性芸人」とはどういう人を指すのかですが、この発表における定義は以下の3



森平 崇文

つになっております。まず、「広く笑芸に携わる女性パフォーマーの総称」。日本でイメージする、いわゆる女性芸人といった範囲を超える人も多いと思います。次に「表現の場はマスメディア、舞台、SNSを問わない」。さらに、「喜劇的役柄を演じるコメディエンヌも含む」。つまり俳優さんもコメディエンヌ的な演技をされる場合は喜劇芸人と広くとっていきたいと思っております。

中国における女性芸人なのですが、歴史的にどういう位置付けであったのかということです。中国の伝統演劇において、おてんばで時に年長者をもやり込める若い女性役が登場する演目は少なくありません。そういう時にはコメディエンヌ的な演技をする人がいたわけですが、さらに、中国東北地方の伝統芸能に「二人转（転）」というものがあるのですが、それは男女コンビで演じられます。女性役のほうが男性役のほうをやり込めたり、手玉にとったり、時には怒ったりといった設定が多い。そういうところでも女性芸人は活躍していたのです。つまり何が言いたいのかと申し上げますと、男性との関係性の中で喜劇的キャラクターを演じる、そういうタイプの女性芸人が多かった。あるいは歌や音楽の中に面白い仕草やせりふを入れる女性芸人、こういった人はいたのですけれども、喋りだけで笑わせる、あるいは同性間——女性と女性の関係性で笑わせる女性芸人というのはそれほど多くなかったと言えるのではないかと思います。

中国の女性芸人を語るうえで欠かせないテレビ番組があります。それが今紹介いたします、CCTV (China Central Television、中国中央電視台) の「春節聯歡晚会 (央视春晚、以下「春晚」と呼ぶ)」というものです。この番組は1983年に放送が開始されました。毎年、春節の大晦日に放送される特別番組で、現在まで続いております。国内だけではなく、世界各地に在住する華人にも中継され、今年の平均視聴率は23%でした。簡単に言いますと、中国版の紅白歌合戦というふうにお考えください。この番組は日本のように歌手だけではなくて、中国を代表するアナウンサー、芸人、歌手、俳優が一堂に会します。先ほど中根さんの発表に出てきました Jay Chou や、皆さんもご存知のカンフー映画のジャッキー・チェンといった台湾や香港のスターも、毎年ではありませんがこの番組に出演しています。さらにはオリンピックがあった年にはメダリスト、宇宙飛行士、それから各国の首脳たちが、録画ですけれどもメッセージを寄せたり、というふうには、各界の有名人も登場する非常に豪華なテレビ番組とお考えください。

実はこの番組と女性芸人はとても深い関係があります。歌や舞踊、マジック、雑技、武術、漫才などとともに、春晚の人気プログラムに「小品 (= コント)」があります。中国における小品というのは、アナウンサーや俳優、芸人が、その大晦日だけの組み合わせでコントを演じるという形態がとられております。現代中国におけるコントは、この番組の人気とともに、全国区のお笑いとなりました。ただし、ここが日本と違うところですが、コント専門の芸人はおりません。「二人転」などを出身とする芸人、あるいは映画や演劇界の俳優、さらには漫才師たちがコントを演じるという形態になっているわけです。ここから人気を得た女性たちが女性芸人へと変わっていくということです。

そのパイオニアといえる存在が趙麗蓉 (シャオ・リーロン) です。彼女は天津出身で、もともとは中国の華北地方の地方劇「評劇」の俳優でした。ただ評劇では彼女は主に脇役として活躍していました。大晦日に放送される春晚には1988年に初出演いたします。それ以降、亡くなる前年の1999年までに計8本の小品を演じました。ただこの小品では母親役が中心です。すでに60代でしたので、おばあさんやゴッドマザー的な役柄ですね。明るく朗らかな笑いが人気でした。彼女が成功したことに

よって、小品から次々と女性芸人が人気者になっていきます。

この趙麗蓉の次に出てきたのが、宋丹丹（ソン・タンタン）と蔡明（サイ・メイ）の2人です。2人とも北京出身です。年齢も1歳しか違いません。宋さんのほうは演劇、蔡さんのほうは映画の俳優でした。非常に共通点の多い2人と言えると思います。この2人が春晚に出演したのは1989年が最初。それ以降、常連となり、毎年1回コントを演じるようになりました。そこでの人気をもとに、2人はそれぞれ中国を代表するテレビのシチュエーションコメディ番組で主演を演じると、小品で人気を得て、シチュエーションコメディの主演を長くやっていく、というスタイルがこの2人の特徴です。若い頃から老け役を得意とし、中国を代表する2大コメディエンヌといえます。ただし宋さんのほうは、2009年以降、こういった番組でコントを演じるということはせず、ドラマや映画に出演したり、バラエティ番組のコメンテーターや審査員として出演したりという活動になっております。宋丹丹は、趙本山という、やはり中国を代表するお笑い芸人がいるのですが、彼との老夫婦のコント作品がいくつかありまして、いずれも爆笑ものです。ぜひ皆さんもYouTubeなどでご覧になってください。

このように第1世代の趙麗蓉、第2世代の宋丹丹と蔡明、いずれも春晚というテレビ番組でコントを演じることから有名になっていったと言えると思うのですが、そこに出てきたのが第3世代、賈玲（ジャ・リン）です。彼女は中国の湖北省出身で、中央戯劇学院の漫才コース1期生です。中央戯劇学院というのは、中国の国立の演劇大学です。2008年に春晚のコントに初めて出演したことで全国区へとなっています。彼女の特徴は、男女コンビで漫才をするほか、中国各局の春晚……春晚は、大晦日はCCTVですけれども、翌1月1日は中国各局で同じような番組が組まれるのです。そこでいろいろなパートナーと組み合わせを変えてコントを演じたり、さらに人気バラエティ番組や映画、ドラマに出演というふうに、宋丹丹や蔡明に代わる新世代の人気女性芸人の地位を確立しました。

非常に多彩な人で、彼女は今年の2月、自ら監督・脚本・主演を兼ねた映画『你好 李焕英』を製作し公開されています。この「李焕英」というのは実のお母さんのお名前を使っていて、2001年の主人公が1981年にタイムスリップし、自分の母親の若かりし時に会っていくという物語になっています。ご自身もお母さんを大学生の時に亡くされたと。その体験に基づいた自伝的な映画になっているそうです。残念ながら私はまだ見ておりません。

彼女の芸人としての評価というのはどういうところにあるのか、ということで、まとめておきました。これまでの人気女性芸人が俳優出身で、春節時期のみコントを演じたのに対し、賈玲ははじめから芸人志向で、他のバラエティ番組でもコントなどを演じています。彼女の作品内容なのですが、人気ドラマや社会現象のパロディをコントや漫才の中に取り入れ、さらに自分と同世代である1980年代生まれ以降の人間が共感できるお笑いを非常にうまく追求されているなど私は思っております。そして、これも彼女の特徴なのですが、バラエティやドラマでその場の空気を壊さず、協調性も兼ね備えています。ただその一方で、たくさんいる芸人あるいはタレントの中のその他大勢としてではなく、常にネタを回すなど場の中心にいると思っています。彼女の動画を少し見ると、一体何が面白いのだと思われるかもしれませんが、これからいろいろ面白いことが起こり、中国や韓国のアイドルグループに対する風刺というか、パロディも含まれているのが彼女の特徴です。彼女は1980年代生まれの人気女性芸人ですけれども、2020年ごろから急に出てきたのが次に紹介する人

です。

李雪琴という人です。彼女は 1995 年生まれ。遼寧省、つまり中国の東北地方の出身です。北京大学を卒業した後、教育学を学ぶためアメリカのニューヨーク大学に留学しますが、病気で留学を中断し帰国します。北京で友人らと会社を経営しながら SNS 上に動画を発表するという活動を続けている人です。特に彼女が有名になったのは、中国の検索エンジンである「百度」、Yahoo のようなもののなのですが、その CEO ら著名人に勝手に SNS 上で語りかけ、それに対して本人から返事をもらうといったようなことで人気を得たインフルエンサーとしてです。2020 年、テンセント動画で行われた人気番組「トークショー大会シーズン 3」に出場し 5 位になります。この頃になると、かなり注目を集めるようになります。そして今年、テレビの人気バラエティ番組「欢乐 喜劇人」に出演し、マスメディアにも進出して認知度を上げていくということです。これから皆さんには、彼女が、同じ北京大学の先輩である百度の CEO に勝手に語りかけていくところを見ていただきます。

動画を見ていただくと、勝手に有名人に「あなたは今年のお正月に、従業員たちに臨時ボーナス（お年玉）を支給すると聞いているけれども、自分で配るんですか？ それとも人工知能に配らせるんですか？」と問いかけた後、「よかったら私にもお年玉くれませんか」と、まあ非常に図々しいことを言っているわけですね。それに対して有名人たちが答える動画を出しているのが面白いと思います。彼女の現代性というのでしょうか、お笑いの特徴を簡単にまとめてみました。彼女は北京大学卒という、中国でも超のつくエリートなわけですがけれども、自身は陰キャ（陰気なキャラクターの略）で自虐的な語り口です。それは「躺平族（寝そべり族）」と言われる、彼女と同世代である 20 代の世代的特徴とも通底するキャラクターといえます。さらに彼女は他の芸人やタレントと絡むネタよりも、一人語りのほうが面白く、毒舌が売りです。ある意味やさぐれていますが、その矛先は主に自分自身やお母さん、家族に向けている。そういうところも今どきかなと思います。これから彼女が一人で語っているトークを聞いていただこうと思います。

「今日は本当にきれいですね」「さっきから笑っているあなた、出ていってください」「服を見て分かる通り、私はだいぶ膨れました」「車が来ても逃げません」

これはどういうことかと言うと、「私は人気が出てきたから、お母さんから『あなたは芸能界に入ったのだったら、男女の関係が乱れているから気を付けなさい』と言われた」と。それに対して「お母さん、実を言うと、だからこそ私は芸能界に入ったんだ」と答えたというネタになっております。彼女の自虐的な毒舌が垣間見られるのかなと思います。たくさんの作品が YouTube などにあがっておりますので、興味があったらご覧になってください。

では最後にまとめさせていただきます。中国の女性芸人は国民的人気番組におけるコントから誕生したと言えます。ただ 20 世紀までは、俳優出身の女性がコントを演じ、シチュエーションコメディで主演を果たし人気者となっていきました。つまり役柄上コメディエンヌを演じていますが、素で笑芸を披露することはありません。あくまでもキャラクターとして面白い役を演じるということでした。それが 21 世紀に入り、視聴者の中心となった 1980 年代～1990 年代生まれから、それぞれ賈玲、李雪琴といった女性芸人が登場します。2 人とも、妻、母、対男性といった従来の枠組みの中のお笑いから脱却し、個の立場から笑いで人気を博す 21 世紀的な女性芸人と言えるのではないかと思います。私の発表は以上です。ご清聴ありがとうございます。

外国語で笑えるというのは、実は外国語の勉強の中でも特に難しいということ、実際に皆さん感じるわけではないでしょうか。外国語のものを聞いて悲しむことはできるかもしれませんが、笑えるというのはすごく大変なことなのですね。ぜひ皆さんも中国語で笑えるようになっていただければと思います。

いろいろな国にいろいろな文化があります。ただやっぱり言葉ができないと面白さが半減してしまう。特にバーバルギャグ、言葉によるお笑いですね。サイト・ギャグ(sight gag)で体を使った笑い、くまだまさしの芸などを見れば、どこの国の人でも笑えると思いますが、言葉になると難しいものなのかなと思います。

李雪琴はこれからという感じですかね。ただ心配しているのは、今いろいろなテレビ番組に出ているので、さまざまな芸人やタレントと絡む芸が増えています。でも彼女の面白さはそこじゃないと私は思っています。そこが一代前の賈玲と違うところ。やっぱり彼女は一人で毒づいているところが面白いのかなと思います。女性のスタンダップコメディは、彼女の新しいところだと思います。最初はSNS上で有名人に語りかけて、あれは完全に当たり屋的な手法ですね。わざと事故を起こして燃え上がらせて注目を受けるというやり方で、非常に面白い人だと思っています。

先ほど紹介できなかったのですが、賈玲は中国の友達だと思っていたらと思います。一方、李雪琴にあたる人というのは、最近日本でもやさぐれ芸人というのでしょうか、ヒコロヒーや納言の薄幸、A マッソの加納、そういう人たちがいますけれども、李雪琴のように高学歴でしかも自虐的というのはなかなか日本でも見当たらず、そういう点でも面白いのかなと思っています。

森平(司会) 今回発表して下さった大和さん、工藤さん、中根さん、どうもありがとうございます。今、中国語を勉強している1年次生の方は、ぜひ中国語の学習を継続して、来年はこちらのほうで発表していただければと思います。今回の発表には、私も知らないようなことがたくさんありました。学生の皆さんのほうが詳しい分野が必ずあります。それだけ中国圏は変化が激しいところなのです。すぐにその分野の第一人者になれると思います。ですので、皆さんも自分の関心に沿った内容でかまいませんので、中国語圏のエンタメ情報を追いかけて、面白いものが見つかったらぜひ報告していただければと。報告の場としてこの「世界を知ろう！中国語講演会」が機能していければと思います。

世界を知ろう！～朝鮮語講演会～

韓国留学中の先輩と語る会

日時：2021年12月22日（水）17時30分～19時00分
開催方法：Zoomによるオンラインと対面のミックス開催

発表者：細川 杏那さん（経営学部経営学科4年次）

岩下 皐月さん（異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科2年次）

可知 愛さん（経済学部経済政策学科4年次）

司会：石坂 浩一（朝鮮語兼任講師）

企画：佐々木 正徳（朝鮮語教育研究室主任／外国語教育センター教授）

石坂（司会） 皆さん、こんばんは。朝鮮語の石坂です。本日はお集まりくださりましてありがとうございます。韓国はこのところ、また新型コロナウイルスの感染者が増えて大変らしいのですけれども、その中で一生懸命朝鮮語を勉強している先輩たちがいらっしゃいます。今年は、現在韓国に留学中の3人の先輩たちにお話をさせていただきます。最初に、朝鮮語教育研究室主任の佐々木先生からご挨拶をお願いします。

佐々木 アンニョンハセヨ。佐々木です。本日お話ししてくださる方、引き受けてくださりありがとうございます。朝鮮語を履修している皆さんの学習を促進し、語学力を伸ばすヒントになるような情報を提供する機会となるよう、毎年韓国からの留学生や韓国に留学した学生と語る会を開催しています。今年は、本来なら気軽に行けるはずの隣の韓国になかなか行けない中、苦勞して韓国に渡られたであろう先輩方に、現在のリアルな話を聞いたうえで質問などをしてもらえればと思います。

石坂（司会） はじめに、大学間協定で延世（ヨンセ）大学に留学している細川さん、よろしくお願ひします。

留学に行く価値 # 延世大学 # 大学間協定留学

細川 大学間協定で延世大学に留学している、経営学部経営学科4年次の細川杏那です。まずは留学前の話からします。私は大学4年次ですが、4年次の秋学期から休学しており、実質5年次です。2017年度に入学したあと、語学研修や日韓キャンプなどで韓国にかかわってきました。本来は2020年度に大学間協定留学で高麗大学に行く予定でしたが、1カ月だけ韓国で生活したところで新型コロナウイルスの感染が拡大したため、帰国することになり、留学が終わってしまうという経験をしました。そこで就職活動をする選択肢もあったのですが、諦めずに今年、延世大学への留学に挑戦しました。

その理由としては、日韓キャンプへの参加が大きかったと思います。日韓キャンプは立教大学のチャプレン室が主催している海外プログラムで、聖公会大学と立教大学の学生が集まり、さまざまなプログラムを行います。そこで戦後最悪の日韓関係という状態を目の当たりにして、考えることが多かったのです。例えばタクシーの運転手が、私が日本人であることを分かったうえで「日本は信じられない」と言ってきたり、「ボイコットジャパン」のステッカーを目にしたたりして、韓国が日本をどう思っているかを初めて感じました。そのような体験を通して、なぜ日韓関係が良くならないのだろう、韓国の人たちはどのような社会で生きているのだろう、韓国はどんな歴史を歩んできたのだろうということがとても気になり、実際に現地で暮らして学問として勉強してみたいという気持ちが芽生えました。



細川 杏那さん

では韓国のどの大学に行こうかと考えたとき、まずは勉強がしたい気持ちが強かったので、カリキュラムを見ながら質の高い勉強ができるかを確認しました。また、学業以外の遊びも充実させるため、交通アクセスの良さもチェックしました。

大学間協定校には、聖公会大学、梨花女子大学、延世大学、西江大学、高麗大学の5校があります。立地面を見ると、繁華街にある延世、梨花女子、西江は交通アクセスが便利ですが、高麗や聖公会は遊びの中心エリアからは少し離れています。勉強重視か交流重視かという観点では、延世はどちらかという勉強重視で、交流プログラムはあまり多くないため、自ら積極的に行動しないと韓国人と交流できる機会は少ないほうだと思います。一方、聖公会は学校の規模が小さく日本語学科もあり、交流が密にできるイメージがあります。

立地、語学、勉強、交流、寮に関して、周囲から聞いた情報をまとめました。

私の留学先である延世大学はシンチョンにあり、どこに行くにも行きやすい立地です。語学面では、交換留学生向けのプログラムが1級から6級まで用意されており、自分のレベルに合わせて語学の授業が受けられました。ただ、開講時間が午後4～6時で、疲れている時間帯ですし、夕方から遊びに行きたい時には少し困るかと思います。また、留学生向けに開講されている、韓国の社会や文化について軽く勉強するような授業はほとんど英語で行われていたので、英語が理解できないと厳しいと思います。

交流面では、言語やスポーツなどいろいろな交流プログラムが設けられていましたが、いずれも申請して初めて参加できるものであり、強制的にバディが組まされることはありませんでした。私は英語より朝鮮語で留学がしたかったので英語は全くできないのですが、何かと英語が必要な場面が多かったです。寮は大学内にあるためキャンパスへは行きやすいのですが、シンチョン駅からは徒歩15～20分ほど離れた場所にあります。比較的にきれいで広いです。ただ、キッチンやランドリールームが地下にあるのは少し不便を感じました。

次に、留学にあたってどんな準備をしたか。私は語学力向上のための留学というよりも、朝鮮語を

使って韓国の社会について勉強したいと思っていました。そのため語学力を上げる勉強とともに知識のインプットも頑張りました。語学の勉強に関しては、単語、文法、リスニング、リーディング、ライティングと分けて勉強しました。特に、講義を受けるために必要なリスニング力を鍛えたいと思い、毎日暇さえあれば韓国のラジオを聞き、時間がある時はアプリで韓国のニュースも見ました。また、授業で論文を読んだりレポートを書いたりする場合に備え、新聞記事の中から日本語版と朝鮮語版の両方がある記事を選び、日本語版の記事を朝鮮語に訳すこともしていました。

知識のインプットに関しては、韓国社会に関する本や社会学の理論に関する本を1冊ずつ購入し、ひたすら読み込みました。留学の準備だけでなく留学中もそうですが、情報収集はとても大事だと思います。特にコロナ禍では、次々と出てくる新しい情報をキャッチしてすぐ行動に移さなくてはならないので、さまざまなサービスやサイトを使いこなす技術が重要です。また、同時期に韓国に行く人々とコミュニケーションを図って情報を共有することも大事だと感じています。

留学中、私がかつとも頑張ったと自負しているのが勉強です。ここからは主に勉強面について話したいと思います。コロナ禍の影響で、1年間すべてオンライン授業でした。韓国と日本の違いは、1週間に同じ授業が2回ある場合があります。1限から9限まであり、1時間単位で区切られているのも特徴かと思います。韓国は履修登録が先着順のためとても大変で、早く申請しなければと焦るのですが、延世大学にはマイレージ制があります。所有しているマイレージを自分の裁量で受けたい授業に配分し、その配分量が多いほど申請が通りやすい仕組みになっています。以前、高麗大学に行ったときは先着順で落選したこともあったのですが、延世大学ではその心配はありませんでした。

実際にどんな授業を受けたかという点、春学期は社会学の基礎固めと文化面の勉強でした。社会学の基本理論を勉強できるものや、韓国映画に興味があったため映画中心の授業を履修しました。朝鮮語の授業は、月曜から金曜まで毎日2時間ずつありました。私は4級に割り当てられたのですが、内容が容易でレベルが合いませんでした。アメリカや台湾など韓国人以外の友達を作る交流の場としてはとても楽しかったというイメージです。

秋学期はもう少し本格的な勉強に入りました。前期に学んだ理論を通して実際の現象を分析したり、歴史の勉強をしたりしました。印象深かったのは「韓国社会論」という授業です。社会学で話題になるジェンダーや不平等といったテーマごとに毎回授業が行われるのですが、そのテーマの一つを担当し、現地の学生と2人でグループワークをして成果物を提出し発表しました。さらに発表して討論した内容を報告書にまとめるというところまで手掛けました。

勉強面で大変だったこと、辛かったことは、授業の準備です。授業を受けている時間はそこまで多くはないのですが、母国語ではない言語で勉強するため、事前に教科書や論文を読み込んでおくのにも時間がかかりました。なので、秋学期は土日のうち1日は遊び、残りはひたすら勉強するということが多かったように思います。TOPIK（韓国語能力試験）などの勉強ではあまり出てこない専門用語も多数登場し、難易度が上がりました。また、討論する授業では他の学生の意見を理解しながら自分の意見も整理して、どんどん変わっていく論点も把握するという同時進行が大変でした。感じたことは、「いい意味でも悪い意味でもドライ」。韓国には、一生懸命勉強していい大学に入り、いい



会社に就職するという風潮があるため、どうしてもいい成績をとりたい学生が多く、グループワークに参加しない人がいると、すぐにその人はいないものとして進める雰囲気がありました。日本のように「みんなで一緒に」という空気はないと感じました。

このように、つらいと思うことも少しはあったのですが、それ以上に得られたことのほうが多かったです。まず一つ目は韓国社会に対する理解。これは現地でも生活し勉強しながら、何が問題視されているのか、現地の学生は日韓の歴史をどう思っているのかなど、リアルな声を聞けたのが良かったです。また、刺激を受ける場面も多くありました。韓国の学生は社会に対する関心が高く、朝鮮語の授業ではアメリカやドイツなどさまざまな国の学生とも交流できたので、多様な価値観について学ぶことができました。そして、授業に真摯に取り組んだことで、自分の頭で考え抜く力が身に付いたと思っています。語学力向上を目的とはしていませんでしたが、自然とリスニング、リーディング、ライティングのスキルが向上し、10月に韓国で TOPIK を受験したところ 6 級に合格することができました。

続いて生活面についてお話しします。日用品、食料品、衣類などを買う場合、韓国では主にオンラインで購入します。ネットで注文したら翌朝には届いているイメージです。住居に関しては、私は 2 月から 6 月まで延世大学の寮に住み、7 月からは現在のシェアハウス、このあとは一人暮らしをする予定です。寮に入ると、コロナ禍の隔離期間に必要なものをすべて準備してくれて、しかも隔離で外に出られない間も現地の学生が手伝ってくれるので、とても楽でした。勉強に重点を置いていたものの、プライベートが充実しなかったわけではなく、ソウル以外の地域に旅行に行き、おいしいものもたくさん食べました。私が好きな韓国の脱出ゲームにも何度も足を運びました。

今回の留学をコロナ禍の面から振り返ると、勉強面では大きなメリットがあったと思います。動画

配信の授業なら自分の好きなタイミングで授業を受けられるので、遊びたいときは遊び、勉強するときは勉強するというように時間を自由に使えたのが良かったです。また、対面だと緊張する授業でも、非対面でチャットでのやり取りなら参加しやすい場合もあるかと思います。

一方、交流面ではデメリットが大きかったように思います。1年間、全面オンライン授業だったため、本来の大学生活……キャンパスに通って友達ができるといった経験はできず、残念でした。韓国ではコロナ禍の影響で、何時以降は何人以上集まってはいけないなどの制限があり、交流機会が作りづらい状況でした。とはいえ、留学生活の出会いをどう考えるかによっても違うのではないのでしょうか。コロナ禍でも、会う人は会うし、会わない人は会いません。コロナ禍に関係なく、韓国には勉強やそれ以外の活動で忙しい大学生が多いように感じます。どんな環境でも、自分から積極的に話しかけて仲良くなろうとするかどうか交流面を左右するように思います。また、英語圏から来ており朝鮮語も上手な留学生が多数いるので、そういう学生と仲良くするのも一つの交流かなと思います。

最後に私が伝えたいことは、時間とお金が出すなら留学は行く価値があるということです。留学にあたり、「4年次だし就職活動をしたほうがいいのだろうな」と悩んだこともありましたが、留学の目的や、留学後に進みたい方向や就職したい会社を自分の中で決めて、そのために留学中にどう行動するか、という目標や計画がないとダメだと思っていたのですが、行ってみたらそんなものはなくてもいいと思いました。意外と飛び込んだ先で「自分はこういうことに興味があったんだ」という発見があったりもするので、必ずしも留学後に進みたい道が明確でなくても、留学でやりたいことがしっかりしていれば留学に行く価値はあると思います。

また、留学前は、語学力や勉強についていけるかなど不安が大きいです。でも、私は留学前にTOPIKは受けたことがなかったものの、おそらく4級か5級レベルでそこまで高くなかったのですが、それでもなんとかやってきました。やはり、頑張るといって強い気持ちがあるかどうかだと思います。発表を終わります。ありがとうございました。

石坂 (司会) ありがとうございました。とてもよく勉強した雰囲気が伝わってきました。大学間協定で行く場合でも、語学力の向上なのか、それとも他の何かを目的として行くかという選択があります。細川さんは謙遜していましたが、留学に行く前に朝鮮語がかなりできていました。その上で、朝鮮語で勉強するという経験が伝わってきたと思います。次に、聖公会（ソンゴンフェ）大学に学部間協定で留学されている岩下さん。よろしくお願いたします。

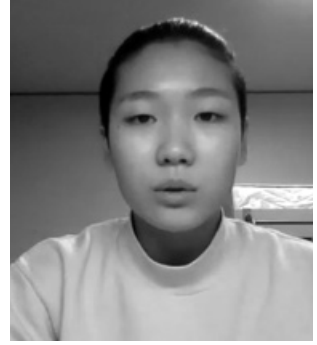
コロナ禍での留学 #聖公会大学 #学部間協定留学

岩下 異文化コミュニケーション学部2年次の岩下皐月と申します。よろしくお願いたします。私の留学方法は学部間協定で、聖公会大学に1年間の留学です。今は、韓国に来てから5カ月目です。

まず留学の動機についてお話しします。高校の時から朝鮮語をずっと勉強してきて、自然と韓国留学が目標になっていました。大学進学にあたり、韓国の大学に進学しようと思ったのですが両親に反対され、日本の大学に進学することを決めました。しかし、ずっと目標にしていた韓国留学を諦める

ことができず、海外留学研修が原則全員参加となっている異文化コミュニケーション学部を選びました。

高校の時は留学したいという気持ちだけだったので、具体的に何を学びたいかは大学に入ってから少しずつ考えていきました。朝鮮語を勉強し、ある程度のレベルに達したときに、日本でこれ以上の上達は難しいと思ったことがあり、そこで、現地で生活することで、韓国人の話す自然な朝鮮語を身に付けたいと思い、留学を決めました。先ほど先輩もおっしゃっていた通り、韓国人たちがどういう考えや思いを持っているかを感じるのには、日本にいながらでは難しいと思います。その国の人たちの考えを知るには現地に行くのが重要だと考え、韓国に留学しようと決めました。



岩下 皐月さん

留学して一番良かったことは、朝鮮語が上達したことです。留学前は、朝鮮語の読み書きや試験の問題を解く分には問題がなかったのですが、会話がとても苦手でした。間違えたら恥ずかしいとか、どう言えばいいかわからないという場面が多かったのですが、特に聖公会大学では周りに韓国人しかいないので、私が努力して朝鮮語を話すしか方法がなかったのですね。今でも話していて間違えることは多いです、言葉が出てこないこともあるのですが、5カ月が経ち、だんだんと間違いを気にせず積極的に話せるようになってきたかなと、自分で感じています。

二つ目は自立した生活が送れるようになったことです。韓国に来て初めて親元を離れて暮らしており、以前は恥ずかしながら家事全般をやったことがありませんでした。ですが、韓国に来てからは、料理、掃除、洗濯などすべて自分でやらなくてはならず、家事の大変さを痛感しています。お金も自分で管理しなくてははいけません。こういった点で留学はとてもいい経験になると思います。

三つ目は、今まで自分がいかに恵まれた環境で暮らしていたかということに気付けた点です。やりたいことや学びたいことを自由に学べる環境にいることはとても恵まれているのだと実感しました。韓国に来てから知り合った学生の中には、コロナ禍で日本への留学が中止になったという人が多く、大変な時期にもかかわらず学生を送り出す準備をしてくれた立教大学にも、海外からの学生を快く受け入れてくれた聖公会大学にも、感謝の気持ちを持つようになりました。留学する前も恵まれていると感じてはいたのですが、コロナ禍に留学したことで一層深く実感できたと思います。

次に留学に向けての準備について話します。学部間協定留学の場合、出国前の準備としてまず行うのが学部間申請です。申請が通ったら、留学先の大学に願書を提出します。すると入学許可証が届くので、それを持ってビザ申請をし、保険に加入して、最終的に出国という形になります。この出国許可証がなかなか届かず、ビザ申請期限の3日前に届いて、急いで準備をした記憶があります。しかも期末試験の期間と重なっていたため準備期間はとても忙しかったです。

続いて、コロナ禍の影響で発生した、それまで必要な費用や手続きについて話します。出国前にPCR検査が必要で、72時間以内の陰性証明が必要でした。ちょうど東京五輪が終了した時期と重なったこともあり、なかなか検査予約が取れず苦労しました。英語か朝鮮語での陰性証明が必要な

ので、その証明を発行するためにまた費用がかかり、合計 2 万円ほど必要でした。留学先の大学では学生寮での隔離ができなかったため、国が指定する隔離ホテルに泊まり、14 日間で約 14 万円の費用がかかりました。入国審査ゲートを通過したあとにすぐ隔離保護アプリをインストールしなくてはいけないので、この時に韓国で使える電話番号を用意しておく必要があります。私は出国前に日本で SIM カードを受け取れるサービスを契約しました。もちろん移動に公共交通機関は使えず、専用の防疫タクシーでホテルまで送ってもらいました。これも費用が 4000 円くらいかかりました。コロナ禍の影響で今まで以上に費用がかかることが多かったですね。

隔離生活について説明します。留学前に「隔離生活が辛い」という話を聞き心配していたのですが、私はもともと超が付くほどのインドア派のため、外出できず辛いと感じたことは全くありませんでした。まだレポート試験が残っていたので、隔離中にレポートを書いて時間をつぶしました。韓国ドラマを見ながら朝鮮語の勉強もして、それほど退屈せずに楽しい 14 日間を過ごしました。

具体的な話になりますが、隔離ホテルの部屋に入ったら基本的に外には出られません。一度、何気なくドアを開けてみたところ、ホテル全体に警報が鳴り響いて焦りました。隔離中は、ホテルに入った翌日と、退所の前日の 2 回、PCR 検査を受ける必要がありますが、この検査は無料でした。また、空港到着時にインストールした隔離保護アプリは、毎日、朝と夜の 2 回、体温、咳、のどの痛み、頭痛などの項目を記録しなければいけません。加えて、保健所からも毎日電話がかかってきて、アプリと同じ内容を口頭で聞かれ、朝鮮語で答える必要もありました。初めて電話がかかってきた時はとても驚き、怖かった記憶があります。食事は 1 日 3 回提供されるのですが、量が多めでした。赤い袋に入った料理が配布され、それを回収する形で受け取りました。ゴミは隔離者専用のバケツに入れて、3 日に一度回収されました。

隔離中に大変だったことはそれほど多くありませんでしたが、強いて挙げるなら、「電話が聞き取れない」「ご飯が食べきれない」「洗濯は手洗い」「デリバリーや通販ができない」の四つです。

まず「電話で何を言っているか聞き取れない」について、私は朝鮮語での電話が苦手で、その対応が難しかったです。音声が悪いうえ、韓国の人たちは早口で、全く聞き取れませんでした。しかもコロナ禍での入国だったため、重要な話を電話で確認されることもあり、適当に対応するわけにもいかず、苦労しました。解決方法は「分からないからもう一回言ってください」とはっきり言うことでした。そうするとゆっくり話してくれるので、どうにか乗り切りました。

次は個人的なことですが「ご飯が多くて食べきれない」。一日中部屋にいるのでお腹も空かないのですけれど、ゴミ回収が 3 日に一度なので生ゴミをなるべく出さないよう、必死に食べました。時間をかけて朝食を食べていたら昼食が届き、それを食べていたら夕食が届き……と、一日中ご飯を食べている気分です。室内でできる筋トレやエクササイズをして、最後のほうにはどうにか食べられるようになりました。

洗濯は頼むことができないので、粉末洗剤を持ち込み、自分で手洗いして部屋に干していました。また、私が滞っていたホテルでは会計済みの商品であればデリバリーや通販が可能だったのですが、注文や会計の際は本人認証が必要です。本人認証は外国人登録証を受け取ってからできないので、隔離中は利用できませんでした。食べたい物や飲みたい物があっても、2 週間は我慢しました。

でも一度、日本にいる時から知り合いだった韓国人の友人が、代わりに注文してホテルまで届けてくれたことがあり、その時は人生で1、2を争うほどうれしかったのを覚えています。韓国に知り合いを作っておくのは大事だと思います。

次に、隔離が終わったあとの生活と、不便だったことについて話します。隔離後に困ったのが、外国人登録証がない期間です。先ほども言った通り、外国人登録証がないとできないことが多くあります。デリバリーを頼むにも本人認証が必要です。入国後はなるべく早く、外国人登録証の申請をするための訪問予約を行う必要があるのですが、私が予約した時には早くも1カ月後の予約しか取れず、しかも申請してから受け取るまでに5週間もかかりました。そのため、留學生活のうち最初の約2カ月間は制限の多い生活を送りました。今、韓国でお店に入る時には必ずQRチェックインというものをしなくてははいけないのですけれども、これにも本人認証が必要なためできませんでした。デリバリーも、アプリやサイトの会員登録も、口座開設もできませんでした。買い物をするときは現金か日本のクレジットカードを使っていましたが、お店によっては日本のカードが使えないこともあり、困ることが多い時期でした。

韓国の新型コロナウイルスの感染状況も気になるのではないのでしょうか。韓国では11月初旬から急激に感染拡大が進みました。今、ソウルでは1日あたり2000～3000人の新規感染者数が出て、全国では5000人前後の感染者が出ています。聖公会大学でも感染者が何人か出ました。同じ寮に住んでいる人がコロナに感染したこともあり、寮内すべての人がPCR検査を受けに行くこともあり大変でした。

感染対策としては、基本的にはお店に入る時にはQRチェックインと検温が必要です。一般的にはコミュニケーションアプリ「カカオトーク」でQRチェックインするのですが、お店によっては電話をかけるだけで入ることもできます。飲食店や映画館、コンサートなどではワクチン接種証明書が必要な場合もあります。少し前までは韓国国内でワクチン接種した人のみ認められていたのですが、12月9日からは海外でワクチン接種した人にも接種証明書が発行されるようになり、私もすぐに申請に行き発行してもらいました。

感染状況によって、規制の内容が次々と変わっていくので、私も把握しきれていない部分があるのですが、現在発令されている最新の規制の内容は、私的な集まりは最大4人まで。それは全員がワクチン接種を済ませている場合で、未接種なら1人利用のみです。せっかく留学に来たのに友人と食事や旅行に気軽に出かけられないのはとても残念ですが、来られただけでもありがたいことですし、学べたことも成長できたことも多いので留学できて良かったと思っています。

最後に、聖公会大学の授業について説明します。授業は対面とオンラインで行われていますが、私が選択した授業はほとんど対面でした。大学の学生数が少なく、1クラスほぼ20人以下で行われていて、対面が多かったです。授業時間は1コマ3時間と、とても長いのが特徴的でした。先ほど先輩もおっしゃっていたように、同じ授業が1週間に2回あることもあり、日本との違いを感じました。

聖公会大学では留学生のための授業は用意されていません。ただ、私が所属している日本語学科に

は、日韓交流史や日本近現代史など、日本に関連する授業が多く、その点ではあまり難しいことはありませんでした。成績は、現地の学生と留学生では異なる方法で評価されるようです。語学堂ですが、聖公会大学では、今学期は留学生の数がとても少なかったため開催されていなかったと思います。以上です。ありがとうございました。

石坂（司会） ありがとうございました。今回の講演会ではコロナ禍における先輩たちの様子を聞くのがテーマの一つだったのですけれども、その点をとても詳しくお話してくださいました。次は、個人留学で韓国に行っている可知さんです。よろしくお願いします。

個人で行く語学堂留学 #漢陽大学 #個人留学

可知 はじめまして。経済学部経済政策学科4年次の可知愛と申します。私は細川さんや岩下さんとは違い、立教大学とは関係なく個人で留学しています。2017年度に大学に入学し、実質5年次です。昨年11月に韓国に入国して、1年1カ月ほど韓国に住んでいます。もともとは1年で帰国するつもりだったのですが、もう少し勉強しようと思いました。帰国時期などに関しては、個人留学は自由度が高いです。

まず、私がなぜ韓国に留学したかったのかと言いますと、小学6年生の時、韓国のアーティストグループ「ビッグバン」のファンになり、それから韓国ドラマを見て、新大久保で韓国料理を食べて……としているうちに、韓国そのものに興味を持ちました。高校生の時にハングルを読みたいと思い、書籍を買ったり、NHKのハングル講座を見たりして勉強を始めました。

立教大学に入ってから、言語Bで朝鮮語を選択し、必修科目修了後は自由科目で中級科目と上級科目を履修しました。2年次の夏休みに朝鮮語海外言語文化研修に参加し、石坂先生や細川さんと出会いました。それ以前にも韓国には旅行で何回か行ったことがあったのですが、朝鮮語を勉強しながら住むということがとても楽しく刺激的で、もっと長く留学して朝鮮語をマスターし、韓国人と意思疎通できるようになりたいと思い、留学を意識するようになりました。4年次になり、就職する前に留学を経験したいと考え、休学して留学に行くことを決意しました。



可知 愛さん

今は漢陽（ハニャン）大学の語学堂に通っています。入学手続きはすべて自分で行いました。どの語学堂に留学するか考えていた時、インターネットで調べたところ、漢陽大学は日本人が少なく中国人が多いと書いてありました。日本人が多いと朝鮮語を話す機会が減るだろうし、外国人の友人も作りたかったので漢陽大学に魅力を感じました。また、立地がよく、カンナムやミョンドンに30分以内で行ける点が気に入りました。大学が地下鉄の駅と直結しており、とても便利です。

留学するために準備したものは、大きく分けて、入学許可書と、ビザと、住居の3つです。まず、語学堂に書類を送って入学許可書

を受け取り、入学許可書を持ってビザ申請します。語学堂のホームページから志望理由書などの書類フォーマットが入手できるので、それに記入してスキャンしたものをメールで送り、何回かやり取りしたあと、入学許可書をもらいました。ビザを申請すると入国日が分かるので、それから住居を探すのですが、学生寮に住むのか、コシウォン（学生向けの簡易住居）に住むのか、ワンルームに住むのかによって手続きが異なります。私はワンルームで一人暮らしをしようと思いました。不動産の契約は扱う金額が大きく用語も難しいだろうと考え、日本の仲介業者を通して契約しました。入学許可書と住居探しを両方とも仲介業者に任せる人もいるのですが、それには何万円か費用がかかるため、できるだけ自分でやるようにしました。

朝鮮語海外言語文化研修で聖公会大学に行った時は、聖公会大学と協定を結んだ大学の学生しかいなかったのですが、語学堂にはいろいろな国の人がおり、年齢もさまざまです。授業中に議論したり意見交換をしたりする際、アジア圏でない学生は私が思いもつかないような意見を述べることもあり、興味深いです。日本の大学に通っているとなかなか経験できないのではないかと思います。語学堂に通う理由も人それぞれです。今はコロナ禍のためビザがないと韓国に入国できないので、ビザを手に入れたくて語学堂に来る人もいれば、交換留学生もいますし、韓国人と結婚して子どもの教育のために朝鮮語を勉強している人など、本当に多様で勉強になりました。

1学期は10週間で構成されています。その中で、中間試験と期末試験があります。出席率80%以上、成績も全教科70%以上などの基準を満たさなければビザが延長できません。ですから、語学堂に登録だけして勉強しないのは難しいように思います。みんなきちんとテストを受けていた印象です。漢陽大学の語学堂では、日によって、リスニングの日、ライティングの日、というようにまんべんなく勉強します。

実際に私がどのような生活をしているかを話します。学校のすぐ近くに住んでいますので、例えば9時から授業がある日は8時半に起き、9時から13時まで授業を受け、一度帰宅して昼食を済ませます。それから、家の近くにおしゃれなカフェが集まるソンスドンというエリアがあるのですが、クラスの友人とカフェで写真を撮ったりします。その後22時まで勉強して、22時過ぎに家に帰るというような1日を過ごしています。以前、アルバイトしていた時はカフェではなくアルバイトに行ったり、日によっては家で過ごすこともあります。学期が終わると2週間ほど休みがあるので、休みを利用してソウル以外の地域に旅行することもあります。カンヌンに旅行した時にはBTS(バンタン/防弾少年団)のアルバムジャケットのロケ地で写真を撮りました。

留学してみて感じたことは、住まないと分からないことがたくさんあるということです。日本にいたら多数派の1人ですが、外国でマイノリティとして生きると不便なこともあります。先ほど岩下さんもおっしゃっていましたが、身分証がないと銀行口座が開設できませんし、ビザの問題もあります。また、日本と韓国は外交的によくない状況であることは事実で、日本が嫌いな韓国人がいることも事実ですが、韓国に住んでみると、「日本が好きなのにコロナ禍で旅行に行けなくて残念」と言うてくれる人や、日本語を勉強している人が、想像以上に多いことに気付きます。朝鮮語を勉強してい

る日本人よりも、日本語を勉強している韓国人のほうが多いのではないかと思うほどです。

また、QRコードやワクチン接種の手続きがすべてオンラインやカカオトークで行われるなど、コロナ対応においても日本との違いを感じる事が多いです。以前、コロナ禍で規制されていた営業時間の制限が解除される日がありました。ところがその前日に急に感染者が増え、当日になって韓国政府は「制限は解除しない。延長する」という決断をしたのです。日本の政府だったら、このようなスピード感や強制力がある決断ができるのだろうかと考える機会もありました。

外国に住んだり、外国の友人と交流すると、いやでも日本とその国を比べることが多くなります。外国の友人と過ごしていると、日本人は遠慮深く空気を読むのだなと感じます。どれだけ韓国を好きでも、日本に生まれて日本で育った自分は日本人なのだと自覚し、自らのルーツに思いを馳せることもあります。私は留学で初めて一人暮らしをしているのですが、これまで家族にどれだけ助けてもらっていたか、自分がどのように育ててもらってきたかという、日本で暮らしていた時はあまり考えなかったようなことをも考えました。

当初は、就職に有利な英語を学べるよう英語圏に留学したほうがいいのではないか、韓国に留学しても意味がないのではないかと悩んだこともありましたが、せっかく行きたくて外国に行くのだから、目標を立てて、そこでどう過ごすか、どうやって目標を達成するかを考えて行動すれば、どんな国でも留学に意味はあると感じました。交換留学ではなく個人留学であることにも後悔はありません。以上です。ありがとうございました。

石坂 (司会) ありがとうございました。3人の方、それぞれ留学の条件が異なることは分かっていたのですが、話を聞いてみると、皆さん違うことを話してくださって良かったです。それでは質問を受けたいと思います。質問ある方、手を挙げてください。

質問者① 2月から留学に行きます。韓国の冬は日本より寒く、夏は日本のように暑くなると思います。服装について、どのようなものをどのくらい用意すべきか教えてください。

細川 私はファッションが好きで、留学にあたり洋服を4箱ほど送ったのですが、そんなに必要ありませんでした。韓国に来ればいつでも買えるので、最小限の荷物でいいと思います。それよりも、日本で愛用していた朝鮮語の勉強の本などのほうが大事だと思います。

可知 冬は気温がマイナスになります。そういうときに普通のスニーカーで外出すると足の裏が痛くなるので、ブーツがあったらいいのではないのでしょうか。ただ、韓国で何でも買えますし、例えば韓国の人々がロングペディンを着ていると自分も欲しくなりますから、現地で調達してもよいかと思います。

石坂 (司会) 私は寒い時期によく韓国に行くのですが、可知さんが言う通り、足元が寒いです。ですから厚い靴下など、足元に気を付けるといいですね。

質問者② 隔離期間にあったほうがいいものを教えてください。

岩下 薬でしょうか。新型コロナウイルスに感染しなくても、例えば食べ物が合わず腹痛を起こしたときでも隔離中は薬を買いに行けませんし、通販も使えません。ですから、普段服用している薬を日本から持っていくといいと思います。また、インスタント食品や日本の菓子があると心が休まります。それから、洗濯は手洗いになるので、粉末洗剤や、下着はたくさん用意しておいたほうが安心だと思います。

可知 毎日体温を測って連絡する必要があるのですが、体温計は持参したほうがいいです。友人は体温計がなくて焦っていました。また、飛行機を降りたあと、検疫で体温が高いと外に出られないので、飛行機を降りてから一度体温を測ったほうが安全かなと思います。

細川 私が持ってきて良かったと思うのは水筒です。お水は買ったり、もらえたりしたのですが、お湯はもらえませんでした。でも水筒を渡せばお湯を入れてもらえたので、あれば便利だと思います。

質問者③ 韓国に持って行って後悔したものがあれば教えてください。

岩下 私は荷物を最低限にし、トランク1つにまとめて出国したので、無駄だったものはありませんでした。

可知 韓国の人たちのファッションなどを見ていると韓国のものが欲しくなるので、服や化粧品や靴はあまり必要ないと思いました。私自身が買いたくなくなってしまいうタイプなので。

細川 私も服はあまり必要なかったなと思います。持っていったほうがいいのは隔離期間に必要なもの。それから、留学でできた友人たちにプレゼントできるような物があると、それがきっかけで仲良くなれたりするので、日本のお菓子などを持参して交流機会を広げるといいと思います。

質問者④ 私は聖公会大学に行く予定です。聖公会大学には寮が2つありますが、どちらがおすすめですか。

岩下 ミカエル寮とヘンボク寮があります。ミカエル寮は昔からある古めの寮で、ヘンボク寮は昨年から今年にできた新しい寮です。私は古いほうのミカエル寮に入っていますのでヘンボク寮には詳しくありませんが、きれいなのはヘンボク寮で、広い共同キッチンがあるようです。評判はとて面白いと聞いています。ただ、ミカエル寮も十分きれいです。私は3人部屋だった部屋を1人で使っているためとても広く、すべての設備が3つずつあるので、意外とミカエル寮のほうが充実している部分もあると思います。共同キッチンはやはり少し汚くはありますが、気にするほどではないので、個人的にはミカエル寮のほうがおすすめです。



石坂（司会） 自炊したいのならヘンボク寮のほうがいいですけども、あまり自炊しないならミカエル寮で十分。細かいことはまた聞いてください。

質問者⑤ 韓国では3本のコンセントプラグが主流だと思いますが、寮のコンセントや、普段どんなものを使っているか教えてください。

石坂（司会） 岩下さんは変換プラグを持っていますね。細川さんはどうですか？

細川 同じです。変換プラグは韓国のダイソーで安く買えるので、日本で準備していなくても大丈夫です。USBを挿せるものが多いです。

岩下 Apple製品はコンセントの先端だけ変えられます。

質問者⑥ 私は3年次で、就職活動をするつもりでしたが、そうではなく留学に行こうかと考えています。1年休学して大学5年目に行くことになると思うのですが、休学するにあたり、就職活動におけるマイナスイメージに不安はありませんでしたか。また、今後どのように就職活動をしていけるのでしょうか。

細川 まず就職に関しての不安ですが、経営学部には1年次からインターンに参加して積極的に就職活動する学生が多いので、そういう周りの学生たちと全く違うルートを進むことに、私も最初は大きな不安を感じていました。ですが、大学生生活を振り返るとやりたいことにはすべて挑戦してきたの

で、留学もその一つだと思ったのです。行かなければ後悔するし、行けばとてもいい経験になるはずだという確信が持てたので留学を決めました。

今後の就職活動に関しては、私自身は、大企業よりもベンチャーなど中小企業で自分の裁量を持って働くほうが性に合っていると思うので、スカウト型の活動で中小企業を見つけたり、企業を調べて自分からアプローチするなど、通常の新卒採用とは異なる方法で活動しようと考えています。韓国に留学はしましたが、就職においては韓国にかかわったり、朝鮮語を使ったりということにはこだわってはいません。興味があること、自分に向いていること、自分の能力などを組み合わせて考えていくつもりです。

可知 同級生はみんな就職して、留学しているのは私くらいですね。行く前は勇気が必要でしたが、留学してみると 20 代後半の学生もいますし、4 年で卒業して就職しなければいけないわけではないと感じました。就職活動はまだどうするか決めていません。韓国で就職したい気持ちもありますし、日本で経験を積んでから韓国に来るのもいいかもしれないと悩んでいます。

質問者⑦ 一人暮らしをしたことがなく、お金の管理についてよく分かりません。食費なども含めて 1 カ月でどれくらいかかりますか。

石坂 (司会) 住居費や寮費を含めると、1 カ月単位では計算しにくいかもしれませんが、できる範囲でお願いします。

岩下 私が住んでいる聖公会大学の寮費は 1 カ月で 2 万円から 2 万円を少し超える程度です。料理が下手なのでデリバリーを頼む機会が多く、1 食 1400 円近くかかってしまうこともあります。私はそれを 3 回に分けて食べます。平均すると食費は 1 カ月に 1 ~ 2 万円です。日用品は、はじめの 1 ~ 2 ヶ月は費用がかさんでしまい、3 万円近くかかる月もあったのですが、最近はそのままでお金がかかりません。交通費は、韓国はとても安いので月 5000 円あれば十分足りません。携帯料金は 1 カ月約 3600 円です。通販では浪費してしまいますね。

可知 1 カ月の生活費は約 12 万円です。多い月で 15 ~ 16 万円ほどです。そのうちの半分が家賃で、光熱費が約 5000 円、携帯代が約 2000 円、あとは食費でしょうか。

細川 食費や交遊費は節約しないほうがいいので、節約するなら固定費だと思います。そうすると、住居費と携帯代は重要ですね。私の携帯代は約 2500 円で 65GB 使えます。シンチョンの JK モバイルが便利です。私は寮、シェアハウス、一人暮らしとすべて経験しましたが、最も安いのはシェアハウスです。他人の音が気になることはあるものの、キッチン、シャワー、トイレなどの共用部分が比較的きれいなところも多いですし、今は人が少なく光熱費が安くなっている場合もあるので、シェアハウスも選択肢の一つとして調べてみるといいと思います。

石坂（司会） 発表者の皆さん、ありがとうございました。今日は私も知らなかったことを教えていただき、大変勉強になりました。韓国の寒さにも新型コロナウイルスにも気を付けて元気にお過ごしください。参加者の皆さんもありがとうございました。

全学共通科目／全学共通カリキュラム言語B 連続企画
世界を知ろう! 2021年度 講演会筆録

2022年3月25日発行

発行人 井川 充雄
発行所 立教大学 全学共通カリキュラム運営センター
印刷 ライオン企画株式会社



立教大学

全学共通カリキュラム運営センター